

解剖学

年次	学期	学則科目責任者
2年次	通年	近藤 信太郎 (解剖学 I)

学習目標 (G I O)	歯科医学の基礎となる人体の構造を理解し、一般的な形態を説明できる。 解剖実習において人体の個体差と変異を理解する。
担当教員	近藤 信太郎、佐々木 佳世子、松野 昌展、山下 由里子、金田 隆、坂巻 達夫、近藤 壽郎、※平山 晃康、河相 安彦、川良 美佐雄、大峰 浩隆、加藤 仁夫、丹羽 秀夫、※伊藤 泰司、※佐竹 隆、※白石 尚基
教科書	入門人体解剖学 藤田恒夫 南江堂 口腔解剖学 脇田 稔、山下靖雄監修 医歯薬出版 イラスト顎顔面解剖学 松村譲児、島田和幸 中外医学社 ヴォルフ カラー人体解剖学図譜 Peter Kopf-Maier 井上貴央 西村書店 解剖実習書 日本大学松戸歯学部解剖学 I 講座編
参考図書	歯科学のための解剖学 (第2版) ・リープゴット著・矢嶋俊彦、高野吉郎訳 西村書店 ネッター頭頸部・口腔顎顔面部の臨床解剖学アトラス 前田健康監訳 医歯薬出版 解剖学カラーアトラス 横地千仞 医学書院 グレイ解剖学 原著第2版 塩田浩平、瀬口春道、大谷浩、杉本哲夫 訳 エルゼビア・ジャパン プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部 坂井建雄、天野修 監訳 医学書院 プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第2版 井建雄、河田光博 監訳 医学書院
実習器材	頭蓋骨模型 (約13,000円)、解剖実習用白衣 (約7,000円)、解剖実習室用長靴 (約2,000円)、実習書 (未定)
評価方法 (E V)	評価方法 (E V) 【講義】2回の平常試験の合計によって評価する。ただし、1回目40%、2回目60%の比率とする。 【実習】2回の平常試験の合計によって評価する。ただし、平常試験は1回目40%、2回目60%とする。ただし、課題の未提出や遅提出および欠席を含む実習態度の不良が認められた場合は減点する。 講義と実習の評価を各50%として総合評価をする。講義・実習それぞれ1/5以上を欠席した場合、評価点は0-60点とする。なお、講義・実習のそれぞれについて合格点 (60点) に達しない者に対し、再試験を行うが、講義・実習を1/5以上欠席した場合、再試験の受験資格を与えない。また、講義・実習のいずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	前学期の講義の際に後学期実習に必要なサイズの確認と注文を行います。 キャップ、マスク、グローブ、メスの替刃などの消耗品も同時に注文します。 解剖学は医学・歯科医学の最も基本的で必須の知識である。解剖学を知らない者が臨床に携わることは許されない。全身の解剖学を学ぶために与えられた時間は少ない。十分に復習し、正確な知識を身につけて欲しい。後学期に行う解剖実習では実際にご遺体を解剖させていただくことにより前学期の座学で学んだ知識を確実なものとする。この実習では解剖学の知識を身につけると同時に医療者としての倫理観を学ぶ場でもある。諸君はご遺体に恥じぬよう真摯に学ばなくてはならない。 オフィスアワーは講義・実習の行われた日の授業後とする。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/03 (木) 1時限 09:00~10:30	人体解剖学総論	<p>【授業の一般目標】 人体解剖学を学ぶために、基本的な決まり、用語の使い方を習得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 細胞から器官系にいたる人体の階層構造を説明できる。 2. 人体の全身の区分を説明できる。 3. 医学・歯学で使われる人体の方向用語やその他の特殊な解剖用語を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 生物学で学んだ人体の構造に関する内容を復習する。 方向用語に関する教科書の図を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 c 守秘義務、プライバシーの尊重、法の遵守 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/03 (木) 1時限 09:00～10:30	人体解剖学総論	<p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-2 医の倫理 *③生と死に関わる倫理的問題を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-1) 身体の部位と方向用語 *①身体の部位を解剖学的に区別できる。 *②身体の方向用語を正確に用いることができる。</p>	近藤 信太郎
2014/04/07 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 総論	<p>【授業の一般目標】 全身の骨格を学ぶために骨格系の背景を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 骨の発生や形態、連結を学習し、骨の形態的特徴と機能的意味を説明できる。 2. 全身の骨格を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 骨の成分を説明できる。体の各部の骨を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 オ 上皮組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *②骨の基本構造と結合様式を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2014/04/07 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 脊柱	<p>【授業の一般目標】 全身の骨格を学ぶために脊柱の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 脊柱の構造を説明できる。 2. 椎骨の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 背骨の位置を触って説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p>	佐々木 佳世子
2014/04/10 (木) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨(1)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造を理解するために、頭蓋骨全体の各部の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 脳頭蓋・顔面頭蓋の違いを説明できる。 2. 頭蓋冠・頭蓋底の構造を説明できる。 3. 眼窩・鼻腔・副鼻腔の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 頭の骨を触って説明できる。頭を構成するの骨の数を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/10 (木) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨(1)	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨 (神経頭蓋、内臓頭蓋)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2014/04/14 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨(2)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造を理解するために、頭蓋骨を構成する各骨の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋の成長を説明できる。 2. 前頭骨, 後頭骨, 側頭骨, 蝶形骨の各骨の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 頭の骨を触って説明できる。頭を構成するの骨の数を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨 (神経頭蓋、内臓頭蓋)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2014/04/14 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 体幹・体肢	<p>【授業の一般目標】 全身の骨格を学ぶために胸郭、骨盤、体肢の各骨の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 胸郭と骨盤を構成する骨の構造を説明できる。 2. 上肢を構成する骨の構造を説明できる。 3. 下肢を構成する骨の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 肋骨と骨盤を触って説明できる。上腕前腕を触って説明できる。大腿下腿の骨を触って説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論</p>	佐々木 佳世子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/14 (月) 2時限 10:40~12:10	骨格系 体幹・四肢	<p>総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p>	佐々木 佳世子
2014/04/17 (木) 1時限 09:00~10:30	骨格系 頭蓋骨(3)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造を理解するために、頭蓋骨を構成する各骨の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 鼻骨, 涙骨, 頬骨, 篩骨, 鋤骨, 下鼻甲介の各骨の構造を説明できる。 2. 上顎骨, 口蓋骨の各骨の構造を説明できる。 3. 翼口蓋窩の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 眼窩・鼻腔を説明できる。頬骨弓を説明できる。口蓋を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨 (神経頭蓋、内臓頭蓋)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2014/04/21 (月) 1時限 09:00~10:30	骨格系 頭蓋骨(4)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造を理解するために、頭蓋骨を構成する各骨の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎骨の構造を説明できる。 2. 舌骨の構造を説明できる。 3. 顎関節の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 咀嚼を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨 (神経頭蓋、内臓頭蓋)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/21 (月) 2時限 10:40~12:10	筋系 総論	<p>【授業の一般目標】 全身の骨格筋を学ぶために筋の一般構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 筋の構造と機能について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 筋組織を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】</p>	佐々木 佳世子
2014/04/24 (木) 1時限 09:00~10:30	筋系 咀嚼筋	<p>【授業の一般目標】 骨学で学習した頭蓋骨に関する知識を基に、咀嚼筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咀嚼筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 下顎を動かしてみて運動の方向を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 イ 頭頸部の筋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	山下 由里子
2014/04/28 (月) 1時限 09:00~10:30	神経系 総論	<p>【授業の一般目標】 神経系の構成、区分、機能的分類などを説明できる。脊髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ニューロンと神経線維の種類を説明できる。 2. 白質と灰白質を説明できる。 3. 脊髄と神経節の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 頭蓋腔、脊柱の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/28 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 総論	<p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *②末梢神経系の機能分類 (体性神経系と自律神経系) を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 *⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2014/04/28 (月) 2時限 10:40～12:10	筋系 体幹の筋 (1)	<p>【授業の一般目標】 骨学で学習した脊柱や胸郭に関する知識を基に、背部、胸部に存在する筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 背部の筋の構造と機能を説明できる。 2. 胸部の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 胸を触って筋の感触を説明できる。背中を触って筋の感触を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】</p>	佐々木 佳世子
2014/05/08 (木) 1時限 09:00～10:30	筋系 舌骨筋群	<p>【授業の一般目標】 骨学で学習した頭蓋骨と体幹の骨の知識を基に、舌骨筋群の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 舌骨上筋群の構造と機能を説明できる。 2. 舌骨下筋群の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 下顎を動かしてみて運動の方向を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 イ 頭頸部の筋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	山下 由里子
2014/05/12 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 脳 (1)	<p>【授業の一般目標】 間脳と脳幹、小脳の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 延髄の構造と機能を説明できる。 2. 橋の構造と機能を説明できる。 3. 中脳の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/12 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 脳 (1)	<p>4. 間脳の構造と機能を説明できる。 5. 小脳の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 神経細胞を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】</p>	近藤 信太郎
2014/05/12 (月) 2時限 10:40～12:10	筋系 体幹の筋 (2)	<p>【授業の一般目標】 骨学で学習した脊柱などの知識を基に、横隔膜、腹部に存在する筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 横隔膜の構造と機能を説明できる。 2. 腹部の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 お腹を触って筋の感触を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】</p>	佐々木 佳世子
2014/05/15 (木) 1時限 09:00～10:30	筋系 表情筋	<p>【授業の一般目標】 骨学で学習した頭蓋骨に関する知識を基に、表情筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 表情筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顔を動かしてみてもその動きを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 イ 頭頸部の筋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育</p>	山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/15 (木) 1時限 09:00～10:30	筋系 表情筋	E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。	山下 由里子
2014/05/19 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨	【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造と臨床画像との関連を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋骨全体像を説明できる。 2. 頭蓋骨を断面像で説明できる。 【準備学習項目】 頭蓋骨の各名称を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨 (神経頭蓋、内臓頭蓋) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。	金田 隆
2014/05/19 (月) 2時限 10:40～12:10	筋系 体肢	【授業の一般目標】 骨学で学習した上肢の骨の知識を基に、上肢に存在する筋の構造と機能を説明できる。骨学で学習した下肢の骨の知識を基に、下肢に存在する筋の構造と機能を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 上肢の筋の構造と機能を説明できる。 2. 下肢の筋の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 腕を触って筋の感触を説明できる。脚を触って筋の感触を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】	佐々木 佳世子
2014/05/22 (木) 1時限 09:00～10:30	筋系 頸部	【授業の一般目標】 骨学で学習した頭蓋骨と体幹の骨の知識を基に、胸鎖乳突筋と頸部の深部の筋の構造と機能を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 胸鎖乳突筋の構造と機能を説明できる。 2. 斜角筋の構造と機能を説明できる。 3. 椎前筋の構造と機能を説明できる。	山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/22 (木) 1時限 09:00～10:30	筋系 頸部	<p>【準備学習項目】 頸部を触って筋の感触を説明できる。首を動かして頸部の動きを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 イ 頭頸部の筋</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】</p>	山下 由里子
2014/05/26 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験	<p>【授業の一般目標】 総論と運動器</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.解剖学の総論を説明できる。 2.全身の骨格系の構造を説明できる。 3.頭蓋骨の構造を説明できる。 4.全身の筋の構造と機能を説明できる。 5.頭頸部の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 解剖学の総論、骨格系筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、その他必要に応じて教室を使用する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-1) 身体の一部と方向用語 *①身体の一部を解剖学的に区別できる。 *②身体の一部を正確に用いることができる。 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 *②骨の基本構造と結合様式を説明できる。 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 山下 由里子
2014/05/26 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験	<p>【授業の一般目標】 総論と運動器</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.解剖学の総論を説明できる。 2.全身の骨格系の構造を説明できる。 3.頭蓋骨の構造を説明できる。 4.全身の筋の構造と機能を説明できる。 5.頭頸部の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 解剖学の総論、骨格系筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、その他必要に応じて教室を使用する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/26 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験	102教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系） 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-1) 身体の部位と方向用語 *①身体の部位を解剖学的に区別できる。 *②身体の方向用語を正確に用いることができる。 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 *②骨の基本構造と結合様式を説明できる。 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 山下 由里子
2014/05/29 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験	【授業の一般目標】 総論と運動器 【行動目標（SBOs）】 1.解剖学の総論を説明できる。 2.全身の骨格系の構造を説明できる。 3.頭蓋骨の構造を説明できる。 4.全身の筋の構造と機能を説明できる。 5.頭頸部の筋の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 解剖学の総論、骨格系筋の構造と機能を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、その他必要に応じて教室を使用する。 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系） 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-1) 身体の部位と方向用語 *①身体の部位を解剖学的に区別できる。 *②身体の方向用語を正確に用いることができる。 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 *②骨の基本構造と結合様式を説明できる。 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 山下 由里子
2014/06/02 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 脳 (2)	【授業の一般目標】 大脳半球の構造と機能を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1.大脳皮質の構造と機能を説明できる。 2.大脳基底核の構造と機能を説明できる。 3.大脳内の線維の走行を説明できる。 【準備学習項目】 ヒトと他の動物の脳の違いを説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(5) 神経系	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/02 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 脳 (2)	*④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能（呼吸、循環、体温）の調節中枢の働きを含む。】	近藤 信太郎
2014/06/02 (月) 2時限 10:40～12:10	消化器系 総論・ 口腔 (1)	<p>【授業の一般目標】 消化器系の構成を説明できる。口腔の構成、口唇、頬の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 消化器系の全体像を説明できる。 2. 口腔の区分を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 食べた物の流れを説明できる。唇や頬を触って説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 a 口腔の構造 (口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口〔腔〕底、唾液腺、頬、口唇、口峡、歯列) 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓 2 口腔・顎・顔面の構造 ア 口腔前庭 イ 固有口腔 キ 頬 ク 口唇</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *⑦構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。</p>	松野 昌展
2014/06/05 (木) 1時限 09:00～10:30	呼吸器系 総論・ 鼻・咽頭	<p>【授業の一般目標】 呼吸器系の概略と外鼻の構造を説明できる。鼻腔の構造を説明できる。咽頭の区分と粘膜上の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 気道の構造を説明できる。 2. 鼻の構造と機能を説明できる。 3. 咽頭の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 鼻を触って感触を説明できる。鼻の穴の内部を確認して状態を説明できる。鼻と口がつながっていることを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系 (鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支) の構造と機能を説明できる。</p>	山下 由里子
2014/06/09 (月)	神経系 末梢神経	【授業の一般目標】	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	神経系 末梢神経	末梢神経の構造と機能、自律神経の構造と分布、機能を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 末梢神経の構造と機能を説明できる。 2. 自律神経の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 無意識に体が行っている事を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *②末梢神経系の機能分類（体性神経系と自律神経系）を説明できる。 *③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎
2014/06/09（月） 2時限 10:40～12:10	消化器系 口腔	【授業の一般目標】 口蓋、口峽、口腔底、舌の構造を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 口蓋の構造と機能を説明できる。 2. 舌の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 鏡などで口の奥を確認して状態を説明できる。鏡などで舌を確認して状態を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 a 口腔の構造（口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口〔腔〕底、唾液腺、頬、口唇、口峽、歯列） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 ウ 口蓋 エ 舌 オ 口〔腔〕底 ケ 口峽 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *②舌の構造と機能を説明できる。 *⑦構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。	松野 昌展
2014/06/12（木） 1時限 09:00～10:30	呼吸器系 喉頭・ 気管・肺	【授業の一般目標】 喉頭の構造と機能を説明できる。気管、気管支の構造を説明できる。肺、胸膜の構造を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 喉頭の構造と機能を説明できる。 2. 気管、気管支の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 頸部の喉仏を触った感触を説明できる。頸部の気管を触った感触を説明できる。呼吸の際に動く構造を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室	山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/12 (木) 1時限 09:00～10:30	呼吸器系 喉頭・ 気管・肺	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系（鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支）の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</p>	山下 由里子
2014/06/16 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 脳神経 (1)	<p>【授業の一般目標】 脳神経Ⅰ～Ⅴの分布と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 嗅神経の構造と機能を説明できる。 2. 視神経の構造と機能を説明できる。 3. 眼球を動かす筋の神経支配を説明できる。 4. 三叉神経の分布と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 前・中頭蓋窩の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経（三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2014/06/16 (月) 2時限 10:40～12:10	消化器系 口腔 (3)・食道	<p>【授業の一般目標】 唾液腺の構造を説明できる。食道の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 唾液腺の構造と機能を説明できる。 2. 食道の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 唾液の性状の運動時、休憩時による違いを説明できる。蠕動を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 a 口腔の構造（口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口（腔）底、唾液腺、頬、口唇、口峽、歯列）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 カ 唾液腺</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管（咽頭、食道、胃、小腸、大腸）の基本構造と機能を説明できる。</p>	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/16 (月) 2時限 10:40～12:10	消化器系 口腔 (3)・食道	【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】	松野 昌展
2014/06/19 (木) 1時限 09:00～10:30	循環器系 総論・ 心臓	【授業の一般目標】 循環器系の概要を説明できる。心臓の構造を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 動脈と動脈血、静脈と静脈血の違いを説明できる。 2. 心臓の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 呼吸をする必要性を説明できる。胸部の構造を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *②肺循環と体循環の2系統を説明できる。 *③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。	山下 由里子
2014/06/23 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 脳神経 (2)	【授業の一般目標】 脳神経Ⅵ～Ⅻの分布と機能を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顔面神経の分布と機能を説明できる。 2. 内耳神経の分布と機能を説明できる。 3. 舌咽神経の分布と機能を説明できる。 4. 迷走神経の分布と機能を説明できる。 5. 副神経・舌下神経の分布と機能を説明できる。 【準備学習項目】 後頭蓋窩の構造を説明できる。末梢における自律神経細胞の特徴を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。	近藤 信太郎
2014/06/23 (月) 2時限 10:40～12:10	消化器系 胃・腸	【授業の一般目標】 胃の構造を説明できる。小腸、大腸の構造を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 胃の構造と機能を説明できる。 2. 小腸の構造と機能を説明できる。 3. 大腸の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 蠕動を説明できる。消化を説明できる。	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/23 (月) 2時限 10:40～12:10	消化器系 胃・腸	<p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】</p>	松野 昌展
2014/06/26 (木) 1時限 09:00～10:30	循環器系 血管・ 動脈 (1)	<p>【授業の一般目標】 血管の一般構造と心臓の構造を説明できる。体幹、体肢の動脈の分布領域を説明できる。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 血管の一般構造を説明できる。 2. 大動脈の枝を説明できる。 3. 体肢の動脈の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 手首で脈を触れる部位を確認し、皮膚で透けて見られる血管との違いを説明できる。全身で脈拍を触れる部位を説明できる</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。</p>	山下 由里子
2014/06/30 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 脊髄神経	<p>【授業の一般目標】 脊髄神経の一般構造を説明できる。頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢、尾骨神経叢の構造とその枝の分布と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 脊髄神経の一般構造を説明できる。 2. 頸部の筋を支配する神経を説明できる。 3. 体肢に分布する神経の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 頸部の筋を説明できる。骨盤の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 イ 頭頸部の筋 エ 頭頸部の神経</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/30 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 脊髄神経	C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *②末梢神経系の機能分類 (体性神経系と自律神経系) を説明できる。	近藤 信太郎
2014/06/30 (月) 2時限 10:40～12:10	消化器系 消化腺・ 腹膜	【授業の一般目標】 肝臓、胆嚢、膵臓の構造を説明できる。腹部漿膜の構造を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 肝臓の構造と機能を説明できる。 2. 膵臓の構造と機能を説明できる。 3. 腹膜の構造を説明できる。 【準備学習項目】 肝臓の機能を説明できる。腹腔という言葉の意味を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 *③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。	松野 昌展
2014/07/03 (木) 1時限 09:00～10:30	循環器系 動脈 (2)	【授業の一般目標】 頭頸部の動脈の分布領域を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 総頸動脈の枝の分布を説明できる。 2. 外頸動脈の枝の分布を説明できる。 【準備学習項目】 下顎骨の構造を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の脈管 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *③頭頸部の脈管系を説明できる。	山下 由里子
2014/07/07 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 伝導路・ 自律神経	【授業の一般目標】 中枢内部の情報の流れに関わる構造を説明できる。自律神経の分布を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 伝導路について説明できる。 2. 涙腺、唾液腺の神経支配を説明できる。 【準備学習項目】 手の痛みを「痛い」と感じる過程を説明できる。脳の構造を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/07 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 伝導路・自律神経	<p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 *②末梢神経系の機能分類 (体性神経系と自律神経系) を説明できる。 *③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】</p>	近藤 信太郎
2014/07/07 (月) 2時限 10:40～12:10	泌尿生殖器系	<p>【授業の一般目標】</p> <p>腎臓と膀胱の構造と排尿の経路を説明できる。男性生殖器の構造を説明できる。女性生殖器の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 腎臓の構造と機能を説明できる。 2. 排尿路を説明できる。 3. 男性生殖器の構造を説明できる。 4. 女性生殖器の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>便と尿の違いを説明できる。受精の過程を説明できる。妊娠の過程を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 カ 生殖器系</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路 (尿管、膀胱、尿道) の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (10) 生殖器系 *②男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】</p>	松野 昌展
2014/07/10 (木) 1時限 09:00～10:30	循環器系 静脈・リンパ	<p>【授業の一般目標】</p> <p>動脈とは異なる静脈の分布を説明できる。頭頸部の静脈の分布領域を説明できる。胎児の循環を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 上大静脈に吻合する静脈の分布を説明できる。 2. 下大静脈に吻合する静脈の分布を説明できる。 3. 門脈系の静脈の分布を説明できる。 4. 皮静脈の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>肝臓の構造を説明できる。消化管で吸収された物質の循環経路を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/10 (木) 1時限 09:00～10:30	循環器系 静脈・リンパ	<p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の脈管</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *③頭頸部の脈管系を説明できる。</p>	山下 由里子
2014/07/14 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 脳神経(3)	<p>【授業の一般目標】 脳神経の経路を理解するために頭蓋骨を観察し、脳神経の分布経路を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 頭蓋底と鼻腔の関係を説明できる。 2. 頭蓋底と眼窩の関係を説明できる。 3. 内頭蓋底と外頭蓋底の関係を説明できる。 4. 上顎骨周囲の神経の分布を説明できる。 5. 頭蓋底と下顎骨の関係を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 脳神経の分布と頭蓋底の名称を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第二実習室・頭蓋骨標本を使用</p> <p>【学習方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経（三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨（神経頭蓋、内臓頭蓋） 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 エ 頭頸部の神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2014/07/14 (月) 2時限 10:40～12:10	循環器系 リンパ 内分泌	<p>【授業の一般目標】 全身のリンパ組織とリンパ管の分布を説明できる。ホルモンを産生する内分泌腺の位置と構造を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. リンパ組織の分布を説明できる。 2. リンパ管の分布を説明できる。 3. 内分泌腺の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 内分泌腺と外分泌腺との構造の違いを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系</p>	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/14 (月) 2時限 10:40～12:10	循環器 リンパ 内分泌	<p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系> 3 免疫 ア 免疫系臓器、免疫担当細胞</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑥リンパの循環路とリンパ節の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】 C-2-3) - (11) 血液、造血器、リンパ性器官 *①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。</p>	松野 昌展
2014/07/17 (木) 1時限 09:00～10:30	循環器系 心臓の 臨床	<p>【授業の一般目標】 循環器系の構造と疾患の関連を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 心臓の構造を説明できる。 2. 血液の循環を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 胸郭・縦隔、心臓の各部屋と弁の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *②肺循環と体循環の2系統を説明できる。</p>	坂巻 達夫
2014/07/24 (木) 1時限 09:00～10:30	感覚器系	<p>【授業の一般目標】 視覚器、聴覚器、平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 眼球の構造を説明できる。 2. 聴覚器の構造を説明できる。 3. 平衡感覚器の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 耳鳴りと乗り物酔いの機序を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。 *④嗅覚器、味覚器の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2014/07/24 (木) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (4)	<p>【授業の一般目標】 脳神経の経路を理解するために頭蓋骨を観察し、脳神経の分布経路を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 内頭蓋底と外頭蓋底の関係を説明できる。</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/24 (木) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (4)	<p>【準備学習項目】 脳神経の分布と頭蓋底の名称を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアを併用</p> <p>【学習方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経（三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨（神経頭蓋、内臓頭蓋） 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 エ 頭頸部の神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2014/09/08 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験	<p>【授業の一般目標】 神経系、消化器系、呼吸器系、泌尿生殖器系、循環器系、内分泌系、感覚器系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 各器官系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 各器官系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 ウ 呼吸器系 エ 循環器系<脈管系> オ 泌尿器系 カ 生殖器系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> ク 感覚器系 ケ 内分泌系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激（興奮）伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3)-(5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能（呼吸、循環、体温）の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3)-(6) 消化器系 *①消化管（咽頭、食道、胃、小腸、大腸）の基本構造と機能を説明できる。【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 C-2-3)-(7) 呼吸器系 *①気道系（鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支）の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序と</p>	近藤 信太郎 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/08 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験	その調節系を含む。】 C-2-3) - (9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】	近藤 信太郎 松野 昌展 山下 由里子
2014/09/08 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験	【授業の一般目標】 神経系、消化器系、呼吸器系、泌尿生殖器系、循環器系、内分泌系、感覚器系の構造と機能を説明できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 各器官系の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 各器官系の構造と機能を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 ウ 呼吸器系 エ 循環器系<脈管系> オ 泌尿器系 カ 生殖器系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> ク 感覚器系 ケ 内分泌系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3) - (5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能をを含む。】 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】 C-2-3) - (9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】	近藤 信太郎 松野 昌展 山下 由里子
2014/09/11 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験	【授業の一般目標】 神経系、消化器系、呼吸器系、泌尿生殖器系、循環器系、内分泌系、感覚器系の構造と機能を説明できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 各器官系の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 各器官系の構造と機能を説明できる。 【学習場所・媒体等】 102教室 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌	近藤 信太郎 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/11 (木) 1時限 09:00~10:30	平常試験	<p>尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 ウ 呼吸器系 エ 循環器系<脈管系> オ 泌尿器系 カ 生殖器系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> ク 感覚器系 ケ 内分泌系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3) - (5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】 C-2-3) - (9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】</p>	近藤 信太郎 松野 昌展 山下 由里子
2014/09/29 (月) 3時限 13:00~14:30	解剖実習と倫理	<p>【授業の一般目標】 人体構造の知識を深めるため、解剖実習を行うが、そのための法律や倫理観など、これからの実習で「ヒトとして」とるべき行動について考え、歯科学生としてあるべき姿を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 献体について説明できる。 2. 解剖に関連する法律を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ご遺体に対してとるべき態度を考えておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室・マルチメディア併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 c 守秘義務、プライバシーの尊重、法の遵守</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-2 医の倫理 *③生と死に関わる倫理的問題を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2014/09/29 (月) 4時限 14:40~16:10	解剖実習 ガイダンス・体表解剖	<p>【授業の一般目標】 解剖実習を行うための準備として使用する器具の確認を行う。ご遺体に触れ、体表から観察できる構造を目安として今後に活用できるように、知識として習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 器具の名称と使用方法を説明できる。 2. 体表で観察できる構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 骨の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第二実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/29 (月) 4時限 14:40～16:10	解剖実習 ガイダンス・体表解剖	<p>総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/09/30 (火) 3時限 13:00～14:30	皮膚の構造 後面	<p>【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造に関する知識を、観察することにより習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 皮膚の層状構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 組織学で学んだ皮膚の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第二実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 オ 上皮組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/09/30 (火) 4時限 14:40～16:10	皮膚の構造 後面	<p>【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造に関する知識を、観察することにより習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 皮膚の層状構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 組織学で学んだ皮膚の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第二実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 オ 上皮組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/06 (月) 3時限 13:00～14:30	皮膚の構造 前面	<p>【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造に関する知識を、観察することにより習得する。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/06 (月) 3時限 13:00~14:30	皮膚の構造 前面	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 皮膚の層状構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 組織学で学んだ皮膚の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 オ 上皮組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/06 (月) 4時限 14:40~16:10	皮膚の構造 前面	<p>【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造に関する知識を、観察することにより習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 皮膚の層状構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 組織学で学んだ皮膚の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 オ 上皮組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/07 (火) 3時限 13:00~14:30	前面浅層 (1) 表情筋・腹部の筋・下肢の皮静脈	<p>【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 眼裂周囲の表情筋の構造と機能を説明できる。 2. 頸部の表情筋の構造と機能を説明できる。 3. 腹部浅層の筋の構造と機能を説明できる。 4. 大腿部の皮静脈の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 表情筋の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子 佐竹 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07 (火) 3時限 13:00~14:30	前面浅層(1)表情筋・腹部の筋・下肢の皮静脈	<p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋(表情筋・咀嚼筋の種類)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子 佐竹 隆
2014/10/07 (火) 4時限 14:40~16:10	前面浅層(1)表情筋・腹部の筋・下肢の皮静脈	<p>【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 眼裂周囲の表情筋の構造と機能を説明できる。 2. 頸部の表情筋の構造と機能を説明できる。 3. 腹部浅層の筋の構造と機能を説明できる。 4. 大腿部の皮静脈の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 表情筋の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第二実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋(表情筋・咀嚼筋の種類)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/14 (火) 3時限 13:00~14:30	前面浅層(2)表情筋・胸部の筋・下肢の皮下組織	<p>【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 口裂周囲の表情筋の構造と機能を説明できる。 2. 胸部浅層の筋の構造と機能を説明できる。 3. 下肢の皮下組織の状態を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 表情筋の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第二実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/14 (火) 3時限 13:00～14:30	前面浅層(2)表情筋・胸部の筋・下肢の皮下組織	<p>6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/14 (火) 4時限 14:40～16:10	前面浅層(2)表情筋・胸部の筋・下肢の皮下組織	<p>【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 口裂周囲の表情筋の構造と機能を説明できる。 2. 胸部浅層の筋の構造と機能を説明できる。 3. 下肢の皮下組織の状態を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 表情筋の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/20 (月) 3時限 13:00～14:30	前面浅層(3)側頭部・頸部の神経・腹部の中間層の筋・大腿部浅層の筋	<p>【授業の一般目標】 各部浅層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 側頭部の動脈と知覚神経の分布を説明できる。 2. 側頭筋の構造と機能を説明できる。 3. 頸部の知覚神経と運動神経を説明できる。 4. 腹部の中間層の筋の構造と機能を説明できる。 5. 大腿三角を構成する筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 三叉神経と顔面神経を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/20 (月) 3時限 13:00~14:30	前面浅層 (3) 側頭部・頸部の神経・腹部の中間層の筋・大腿部浅層の筋	<p>ア 骨格・筋系<運動器系> 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類) f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *③頭頸部の脈管系を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/20 (月) 4時限 14:40~16:10	前面浅層 (3) 側頭部・頸部の神経・腹部の中間層の筋・大腿部浅層の筋	<p>【授業の一般目標】 各部浅層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 側頭部の動脈と知覚神経の分布を説明できる。 2. 側頭筋の構造と機能を説明できる。 3. 頸部の知覚神経と運動神経を説明できる。 4. 腹部の中間層の筋の構造と機能を説明できる。 5. 大腿三角を構成する筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 三叉神経と顔面神経を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類) f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *③頭頸部の脈管系を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/21 (火) 3時限 13:00~14:30	前面浅層 (4) 頸部中間層の筋・腹部の深層の筋・上腕の皮下組織・大腿深層の筋	<p>【授業の一般目標】 各部浅層~中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 舌骨筋群の構造と機能を説明できる。 2. 腹部の深層の筋の構造と機能を説明できる。 3. 上腕の皮静脈の分布を説明できる。 4. 大腿部深層の筋の構造と機能と血管の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 舌骨上筋群と舌骨下筋群を復習する。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/21 (火) 3時限 13:00~14:30	前面浅層(4) 頸部中間層の筋・腹部の深層の筋・上腕の皮下組織・大腿深層の筋	<p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 イ 頭頸部の筋</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *③頭頸部の脈管系を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/21 (火) 4時限 14:40~16:10	前面浅層(4) 頸部中間層の筋・腹部の深層の筋・上腕の皮下組織・大腿深層の筋	<p>【授業の一般目標】 各部浅層~中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 舌骨筋群の構造と機能を説明できる。 2. 腹部の深層の筋の構造と機能を説明できる。 3. 上腕の皮静脈の分布を説明できる。 4. 大腿部深層の筋の構造と機能と血管の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 舌骨上筋群と舌骨下筋群を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 イ 頭頸部の筋</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/21 (火) 4時限 14:40～16:10	前面浅層(4) 頸部中間層の筋・腹部の深層の筋・上腕の皮下組織・大腿深層の筋	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>*②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>C-2-3)-(2) 運動器系</p> <p>*①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>*③頭頸部の脈管系を説明できる。</p> <p>*④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>C-2-3)-(3) 循環器系</p> <p>*⑤主な動脈と静脈を列挙できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/27 (月) 3時限 13:00～14:30	前面浅層(5) 頸部深層の神経と血管・胸部の中間層の筋・前腕の皮下組織	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <p>1. 頸部深層の神経の分布と機能を説明できる。</p> <p>2. 総頸動脈と内頸静脈の分布を説明できる。</p> <p>3. 胸部中間層の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>4. 前腕の皮静脈の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>頸神経と交感神経幹を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>第三実習室</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能</p> <p>1 頭頸部の構造</p> <p>エ 頭頸部の神経</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能</p> <p>2 器官系</p> <p>ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>イ 口腔・顎顔面の構造・機能</p> <p>f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経)</p> <p>g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈)</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能</p> <p>2 器官系</p> <p>エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>C-2-3)-(2) 運動器系</p> <p>*①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>*③頭頸部の脈管系を説明できる。</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>C-2-3)-(3) 循環器系</p> <p>*⑤主な動脈と静脈を列挙できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/27 (月) 4時限 14:40～16:10	前面浅層(5) 頸部深層の神経と血管・胸部の中間層の筋・前腕の皮下組織	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <p>1. 頸部深層の神経の分布と機能を説明できる。</p> <p>2. 総頸動脈と内頸静脈の分布を説明できる。</p> <p>3. 胸部中間層の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>4. 前腕の皮静脈の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>頸神経と交感神経幹を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>第三実習室</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/27 (月) 4時限 14:40～16:10	前面浅層(5) 頸部深層の神経と血管・胸部の中間層の筋・前腕の皮下組織	<p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *③頭頸部の脈管系を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/28 (火) 3時限 13:00～14:30	耳下腺、顔面神経と顎関節の構造と歯科臨床 前面浅層(6) 表情筋と顔面神経・胸部の深層の筋・上腕の屈筋群	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 表情筋に分布する顔面神経を説明できる。 2. 胸部深層の筋の構造と機能を説明できる。 3. 上腕屈筋群の構造と機能、神経・血管の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顔面神経を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第3実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系> 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類) 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 イ 頭頸部の筋 2 口腔・顎・顔面の構造 カ 唾液腺</p>	近藤 壽郎 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/28 (火) 3時限 13:00~14:30	耳下腺、顔面神経と顎関節の構造と歯科臨床 前面浅層(6)表情筋と顔面神経・胸部の深層の筋・上腕の屈筋群	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>C-2-3)-(2) 運動器系</p> <p>*①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p> <p>C-2-3)-(3) 循環器系</p> <p>*⑤主な動脈と静脈を列挙できる。</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>*②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。</p> <p>*④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p> <p>E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能</p> <p>*⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】</p>	近藤 壽郎 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/10/28 (火) 4時限 14:40~16:10	前面浅層(6)表情筋と顔面神経・胸部の深層の筋・上腕の屈筋群	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <p>1. 表情筋に分布する顔面神経を説明できる。</p> <p>2. 胸部深層の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>3. 上腕屈筋群の構造と機能、神経・血管の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>顔面神経を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>第三実習室</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能</p> <p>1 頭頸部の構造</p> <p>エ 頭頸部の神経</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能</p> <p>2 器官系</p> <p>ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>イ 口腔・顎顔面の構造・機能</p> <p>f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経)</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能</p> <p>2 器官系</p> <p>エ 循環器系<脈管系></p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>イ 口腔・顎顔面の構造・機能</p> <p>d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類)</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能</p> <p>1 頭頸部の構造</p> <p>イ 頭頸部の筋</p> <p>2 口腔・顎・顔面の構造</p> <p>カ 唾液腺</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>C-2-3)-(2) 運動器系</p> <p>*①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p> <p>C-2-3)-(3) 循環器系</p> <p>*⑤主な動脈と静脈を列挙できる。</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>*②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。</p> <p>*④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p> <p>E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能</p> <p>*⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/11/04 (火) 3時限 13:00~14:30	背部浅層(1)僧帽筋・広背筋・殿部	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <p>1. 背部の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>2. 坐骨神経の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>僧帽筋を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>第三実習室</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/04 (火) 3時限 13:00~14:30	背部浅層(1) 僧帽筋・広背筋・殿部	<p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/11/04 (火) 4時限 14:40~16:10	背部浅層(1) 僧帽筋・広背筋・殿部	<p>【授業の一般目標】 各部浅層~深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。実習の記録・評価の一部として剖出終了後にスケッチを行う。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 背部の筋の構造と機能を説明できる。 2. 坐骨神経の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 僧帽筋を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/11/10 (月) 3時限 13:00~14:30	背部浅層(2) 後頭部・背部中間層の筋・上肢の皮下組織・下腿の皮下組織	<p>【授業の一般目標】 各部浅層~中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 後頭部の筋の構造と機能、神経、血管の分布を説明できる。 2. 背部の筋の構造と機能を説明できる。 3. 上肢帯、上腕伸筋の構造と機能を説明できる。 4. 下腿の皮下組織の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 外頸動脈を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/10 (月) 3時限 13:00～14:30	背部浅層(2)後頭部・背部中間層の筋・上肢の皮下組織・下腿の皮下組織	キ 神経系<中枢・末梢神経系> エ 循環器系<脈管系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/11/10 (月) 4時限 14:40～16:10	背部浅層(2)後頭部・背部中間層の筋・上肢の皮下組織・下腿の皮下組織	【授業の一般目標】 各部浅層～中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 後頭部の筋の構造と機能、神経、血管の分布を説明できる。 2. 背部の筋の構造と機能を説明できる。 3. 上肢帯、上腕伸筋の構造と機能を説明できる。 4. 下腿の皮下組織の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 外頸動脈を復習する。 【学習場所・媒体等】 第三実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> エ 循環器系<脈管系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/11/11 (火) 3時限 13:00～14:30	背部深層(1)脊柱起立筋・大腿	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 背部の筋の構造と機能を説明できる。 2. 大腿部の筋の構造と機能、神経血管の分布を説明できる。 【準備学習項目】 脊柱起立筋を復習する。 【学習場所・媒体等】 第三実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> エ 循環器系<脈管系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/11 (火) 4時限 14:40～16:10	背部深層(1) 脊 柱起立筋・大腿	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 背部の筋の構造と機能を説明できる。 2. 大腿部の筋の構造と機能、神経血管の分布を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 脊柱起立筋を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第3実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/11/17 (月) 3時限 13:00～14:30	平常試験	<p>【授業の一般目標】 全身の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 頭頸部の構造を説明できる。 2. 胸腹部の構造を説明できる。 3. 体枝の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 これまでに実習で学習したことを復習する。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3)-(5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 C-2-3)-(11) 血液、造血器、リンパ性器官 *①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 *③頭頸部の脈管系を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/11/17 (月) 4時限 14:40～16:10	平常試験	<p>【授業の一般目標】 全身の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 頭頸部の構造を説明できる。 2. 胸腹部の構造を説明できる。 3. 体枝の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 これまでに実習で学習したことを復習する。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/17 (月) 4時限 14:40～16:10	平常試験	<p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3)-(5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 C-2-3)-(11) 血液、造血器、リンパ性器官 *①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 *③頭頸部の脈管系を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/11/18 (火) 3時限 13:00～14:30	平常試験	<p>【授業の一般目標】 全身の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 頭頸部の構造を説明できる。 2. 胸腹部の構造を説明できる。 3. 体枝の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 これまでに実習で学習したことを復習する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3)-(5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 C-2-3)-(11) 血液、造血器、リンパ性器官 *①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 *③頭頸部の脈管系を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/11/18 (火) 4時限 14:40～16:10	平常試験	<p>【授業の一般目標】 全身の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 頭頸部の構造を説明できる。 2. 胸腹部の構造を説明できる。 3. 体枝の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 これまでに実習で学習したことを復習する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/18 (火) 4時限 14:40～16:10	平常試験	<p>C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3) - (5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 C-2-3) - (11) 血液、造血器、リンパ性器官 *①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 *③頭頸部の脈管系を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/11/25 (火) 3時限 13:00～14:30	深層の構造 (1) 耳下腺神経叢、顔面動脈・頸部深層・腕神経叢、上肢取り外し	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顔面神経の分布と機能を説明できる。 2. 顔面動脈の分布を説明できる。 3. 斜角筋群と頸神経叢を説明できる。 4. 腕神経叢の構造と分布を説明できる。 5. 上肢帯の筋を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顔面動脈の分布を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> キ 神経系<中枢・末梢神経系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の脈管 エ 頭頸部の神経</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *③頭頸部の脈管系を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構築を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/11/25 (火) 4時限 14:40～16:10	深層の構造 (1) 耳下腺神経叢、顔面動脈・頸部深層・腕神経叢、上肢取り外し	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顔面神経の分布と機能を説明できる。 2. 顔面動脈の分布を説明できる。 3. 斜角筋群と頸神経叢を説明できる。 4. 腕神経叢の構造と分布を説明できる。 5. 上肢帯の筋を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顔面動脈の分布を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子 伊藤 泰司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/25 (火) 4時限 14:40~16:10	深層の構造 (1) 耳下腺神経叢、顔 面動脈・頸部深層・ 腕神経叢、上肢取 り外し	<p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、 顎動脈)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌 下神経)</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> キ 神経系<中枢・末梢神経系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の脈管 エ 頭頸部の神経</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *③頭頸部の脈管系を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子 伊藤 泰司
2014/12/01 (月) 3時限 13:00~14:30	深層の構造 (2) 咀嚼筋・開胸・前 腕屈筋	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咬筋と側頭筋の構造と機能を説明できる。 2. 腰部内臓の位置関係を説明できる。 3. 前腕屈筋浅層の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 咀嚼筋の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 イ 頭頸部の筋</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *②咀嚼筋、表情筋、前頭筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子 白石 尚基
2014/12/01 (月) 4時限 14:40~16:10	深層の構造 (2) 咀嚼筋・開胸・前 腕屈筋	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咬筋と側頭筋の構造と機能を説明できる。 2. 腰部内臓の位置関係を説明できる。 3. 前腕屈筋浅層の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/01 (月) 4時限 14:40～16:10	深層の構造 (2) 咀嚼筋・開胸・前腕屈筋	<p>【準備学習項目】 咀嚼筋の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第3実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 イ 頭頸部の筋</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/02 (火) 3時限 13:00～14:30	脳の構造と臨床 深層の構造 (3) 咀嚼筋、三叉神経・ 胸部内臓・下腿屈筋	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 三叉神経の分布と機能を説明できる。 2. 咬筋と側頭筋の構造と機能を説明できる。 3. 胸部内臓の位置関係を説明できる。 4. 下腿屈筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 三叉神経の分布を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第3実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 イ 頭頸部の筋 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能</p>	平山 晃康 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/02 (火) 3時限 13:00~14:30	脳の構造と臨床 深層の構造 (3) 咀嚼筋、三叉神経・ 胸部内臓・下腿屈 筋	C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 C-2-3)-(7) 呼吸器系 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。	平山 晃康 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/02 (火) 4時限 14:40~16:10	脳の構造と臨床 深層の構造 (3) 咀嚼筋、三叉神経・ 胸部内臓・下腿屈 筋	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 三叉神経の分布と機能を説明できる。 2. 咬筋と側頭筋の構造と機能を説明できる。 3. 胸部内臓の位置関係を説明できる。 4. 下腿屈筋の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 三叉神経の分布を復習する。 【学習場所・媒体等】 第三実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 イ 頭頸部の筋 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系 エ 循環器系<脈管系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 C-2-3)-(7) 呼吸器系 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。	平山 晃康 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/08 (月) 3時限 13:00~14:30	深層の構造 (4) 頭蓋冠、脳・胸郭、 肺・手掌・下腿屈 筋	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋骨と脳の関係を説明できる。 2. 胸部内臓の位置関係を説明できる。 3. 下腿屈筋の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 髄膜の構造を復習する。 【学習場所・媒体等】 第三実習室 【学習方略 (LS)】 実習	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/08 (月) 3時限 13:00～14:30	深層の構造 (4) 頭蓋冠、脳・胸郭、 肺・手掌・下腿屈 筋	<p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/08 (月) 4時限 14:40～16:10	深層の構造 (4) 頭蓋冠、脳・胸郭、 肺・手掌・下腿屈 筋	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋骨と脳の関係の説明ができる。 2. 胸部内臓の位置関係を説明できる。 3. 下腿屈筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 髄膜の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第3実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序と</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/08 (月) 4時限 14:40～16:10	深層の構造 (4) 頭蓋冠、脳・胸郭、 肺・手掌・下腿屈 筋	その調節系を含む。】 C-2-3)-(5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/09 (火) 3時限 13:00～14:30	深層の構造 (5) 頭蓋底、脳・開腹、 腹膜・手掌・前腕 屈筋	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋底の構造を説明できる。 2. 脳表面の構造を説明できる。 3. 腹部臓器の位置関係を説明できる。 4. 前腕屈筋深部の構造を説明できる。 【準備学習項目】 頭蓋底の構造を復習する。 【学習場所・媒体等】 第3実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系> イ 消化器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3)-(6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/09 (火) 4時限 14:40～16:10	深層の構造 (5) 頭蓋底、脳・開腹、 腹膜・手掌・前腕 屈筋	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋底の構造を説明できる。 2. 脳表面の構造を説明できる。 3. 腹部臓器の位置関係を説明できる。 4. 前腕屈筋深部の構造を説明できる。 【準備学習項目】 頭蓋底の構造を復習する。 【学習場所・媒体等】 第3実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/09 (火) 4時限 14:40～16:10	深層の構造 (5) 頭蓋底、脳・開腹、 腹膜・手掌・前腕 屈筋	2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系> イ 消化器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能（呼吸、循環、体温）の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管（咽頭、食道、胃、小腸、大腸）の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/15 (月) 3時限 13:00～14:30	深層の構造 (6) 頭蓋底、脳・後胸 壁	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋底の構造を説明できる。 2. 脳内部の構造を説明できる。 3. 後胸壁の構造を説明できる。 【準備学習項目】 頭蓋底の構造を復習する。 【学習場所・媒体等】 第3実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能（呼吸、循環、体温）の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 *⑥リンパの循環路とリンパ節の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/15 (月) 4時限 14:40～16:10	深層の構造 (6) 頭蓋底、脳・後胸 壁	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋底の構造を説明できる。 2. 脳内部の構造を説明できる。 3. 後胸壁の構造を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/15 (月) 4時限 14:40～16:10	深層の構造 (6) 頭蓋底、脳・後胸壁	<p>【準備学習項目】 頭蓋底の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第3実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 *⑥リンパの循環路とリンパ節の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/16 (火) 3時限 13:00～14:30	深層の構造 (7) 頸部離断・心臓・手掌・下腿伸筋	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頸部の構造を説明できる。 2. 心臓の構造を説明できる。 3. 手掌の構造を説明できる。 4. 下腿伸筋の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 頸部の神経、血管を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第3実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/16 (火) 3時限 13:00～14:30	深層の構造 (7) 頸部離断・心臓・ 手掌・下腿伸筋	C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/16 (火) 4時限 14:40～16:10	深層の構造 (7) 頸部離断・心臓・ 手掌・下腿伸筋	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 頸部の構造を説明できる。 2. 心臓の構造を説明できる。 3. 手掌の構造を説明できる。 4. 下腿伸筋の構造を説明できる。 【準備学習項目】 頸部の神経、血管を復習する。 【学習場所・媒体等】 第三実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/22 (月) 3時限 13:00～14:30	個々の臓器の構造 (1) 咽頭・上腹部 部・下腿屈筋深部	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 咽頭壁の構造を説明できる。 2. 腹腔動脈の枝と関連する臓器の関係を説明できる。 3. 下腿屈筋深部、足底の構造を説明できる。 【準備学習項目】 咽頭収縮筋を復習する。 【学習場所・媒体等】 第三実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/22 (月) 3時限 13:00~14:30	個々の臓器の構造 (1) 咽頭・上腹部・下腿屈筋深部	C-2-3)-(6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/22 (月) 4時限 14:40~16:10	個々の臓器の構造 (1) 咽頭・上腹部・下腿屈筋深部	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 咽頭壁の構造を説明できる。 2. 腹腔動脈の枝と関連する臓器の関係を説明できる。 3. 下腿屈筋深部、足底の構造を説明できる。 【準備学習項目】 咽頭収縮筋を復習する。 【学習場所・媒体等】 第二実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3)-(6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2014/12/25 (木) 3時限 13:00~14:30	個々の臓器の構造 (2) 頭部半切・腸間膜・前腕伸筋	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 頭頸部断面の構造を説明できる。 2. 下腿屈筋深部、足底の構造を説明できる。 3. 腸間膜内の血管の分布と関連する臓器の構造を説明できる。 4. 前腕伸筋の構造を説明できる。 【準備学習項目】 頭頸部の正中断面図を復習する。 【学習場所・媒体等】 第二実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> ウ 呼吸器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3)-(6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 C-2-3)-(7) 呼吸器系	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子 伊藤 泰司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/25 (木) 3時限 13:00～14:30	個々の臓器の構造 (2) 頭部半切・ 腸間膜・前腕伸筋	*①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子 伊藤 泰司
2014/12/25 (木) 4時限 14:40～16:10	個々の臓器の構造 (2) 頭部半切・ 腸間膜・前腕伸筋	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。実習の記録・評価の一部として剖出終了後にスケッチを行う。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 頭頸部断面の構造を説明できる。 2. 下腿屈筋深部、足底の構造を説明できる。 3. 腸間膜内の血管の分布と関連する臓器の構造を説明できる。 4. 前腕伸筋の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 頭頸部の正中断面図を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第二実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> ウ 呼吸器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/01/13 (火) 3時限 13:00～14:30	喉頭の構造と発音 に関連する構造 個々の臓器の構造 (3) 口腔底、喉 頭・後腹壁・下腿 伸筋	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 口腔底深部の構造を説明できる。 2. 喉頭の構造を説明できる。 3. 後腹壁の構造を説明できる。 4. 下腿伸筋の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 舌神経を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第二実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> ウ 呼吸器系 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能</p>	河相 安彦 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子 白石 尚基

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/13 (火) 3時限 13:00~14:30	喉頭の構造と発音 に関連する構造 個々の臓器の構造 (3) 口腔底、喉 頭・後腹壁・下腿 伸筋	C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。	河相 安彦 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子 白石 尚基
2015/01/13 (火) 4時限 14:40~16:10	個々の臓器の構造 (3) 口腔底、喉 頭・後腹壁・下腿 伸筋	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 口腔底深部の構造を説明できる。 2. 喉頭の構造を説明できる。 3. 後腹壁の構造を説明できる。 4. 下腿伸筋の構造を説明できる。 【準備学習項目】 舌神経を復習する。 【学習場所・媒体等】 第2実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> ウ 呼吸器系 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/01/19 (月) 3時限 13:00~14:30	顎骨の臨床解剖学 個々の臓器の構造 (4) 下顎骨、眼 窩・固有背筋・腹 部消化管・手背	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 下顎骨内部の構造を説明できる。 2. 眼窩と頭蓋底の関係を説明できる。 3. 胃・腸の構造を説明できる。 4. 手背の構造を説明できる。 【準備学習項目】 下顎骨の構造を復習する。 【学習場所・媒体等】 第2実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨(神経頭蓋、内臓頭蓋) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系>	大峰 浩隆 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/19 (月) 3時限 13:00~14:30	顎骨の臨床解剖学 個々の臓器の構造 (4) 下顎骨、眼窩・固有背筋・腹部消化管・手背	<p>総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経</p> <p>総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	大峰 浩隆 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/01/19 (月) 4時限 14:40~16:10	個々の臓器の構造 (4) 下顎骨、眼窩・固有背筋・腹部消化管・手背	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎骨内部の構造を説明できる。 2. 眼窩と頭蓋底の関係を説明できる。 3. 胃・腸の構造を説明できる。 4. 手背の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 下顎骨の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第二実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨 (神経頭蓋、内臓頭蓋)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/01/20 (火) 3時限 13:00~14:30	顎運動 個々の臓器の構造 (5) 咀嚼筋、顎動脈、眼窩・脊髄・腹部消化腺・股関節	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 深部咀嚼筋の構造と機能を説明できる。 2. 顎動脈の分布を説明できる。 3. 眼窩内部の構造を説明できる。 4. 脊髄の構造を説明できる。 5. 肝臓・膵臓の構造を説明できる。 6. 股関節の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顎動脈の分布を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p>	川良 美佐雄 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/20 (火) 3時限 13:00~14:30	顎運動 個々の臓器の構造 (5) 咀嚼筋、顎 動脈、眼窩・脊髄・ 腹部消化腺・股関節	<p>第三実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> ウ 呼吸器系 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3) - (6) 消化器系 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 *③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 *③頭頸部の脈管系を説明できる。</p>	川良 美佐雄 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/01/20 (火) 4時限 14:40~16:10	個々の臓器の構造 (5) 咀嚼筋、顎 動脈、眼窩・脊髄・ 腹部消化腺・股関節	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 深部咀嚼筋の構造と機能を説明できる。 2. 顎動脈の分布を説明できる。 3. 眼窩内部の構造を説明できる。 4. 脊髄の構造を説明できる。 5. 肝臓・膵臓の構造を説明できる。 6. 股関節の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顎動脈の分布を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> ウ 呼吸器系 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3) - (6) 消化器系 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/20 (火) 4時限 14:40～16:10	個々の臓器の構造 (5) 咀嚼筋、顎 動脈、眼窩・脊髄・ 腹部消化腺・股関 節	*③脾臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 *③頭頸部の脈管系を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/01/26 (月) 3時限 13:00～14:30	歯科インプラント の臨床解剖 個々の臓器の構造 (6) 顎関節、軟 口蓋・脊髄・椎間 円板、脾臓、腎臓・ 肩関節	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節の構造を説明できる。 2. 軟口蓋の構造と機能を説明できる。 3. 椎間円板の構造を説明できる。 4. 脾臓の構造と機能を説明できる。 5. 腎臓の構造と機能を説明できる。 6. 肩関節の構造を説明できる。 【準備学習項目】 顎関節の構造を復習する。 【学習場所・媒体等】 第三実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 h 顎関節の構成 (下顎頭、下顎窩、関節円板、関節包、関節結節、靭帯) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 a 口腔の構造 (口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口(腔)底、唾液腺、頬、 口唇、口峡、歯列) f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌 下神経) 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (11) 血液、造血器、リンパ性器官 *①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 *⑤顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *⑦構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。	加藤 仁夫 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/01/26 (月) 4時限 14:40～16:10	個々の臓器の構造 (6) 顎関節、軟 口蓋・脊髄・椎間 円板、脾臓、腎臓・ 肩関節	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節の構造を説明できる。 2. 軟口蓋の構造と機能を説明できる。 3. 椎間円板の構造を説明できる。 4. 脾臓の構造と機能を説明できる。 5. 腎臓の構造と機能を説明できる。 6. 肩関節の構造を説明できる。 【準備学習項目】 顎関節の構造を復習する。 【学習場所・媒体等】 第三実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/26 (月) 4時限 14:40~16:10	個々の臓器の構造 (6) 顎関節、軟 口蓋・脊髄・椎間 円板、脾臓、腎臓・ 肩関節	第3実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 h 顎関節の構成 (下顎頭、下顎窩、関節円板、関節包、関節結節、靭帯) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 a 口腔の構造 (口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口〔腔〕底、唾液腺、頬、 口唇、口峽、歯列) f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌 下神経) 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (11) 血液、造血器、リンパ性器官 *①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 *⑤顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *⑦構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/01/27 (火) 3時限 13:00~14:30	個々の臓器の構造 (7) 外頸動脈、 上顎洞・外生殖器・ 膝関節	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 外頸動脈の分布を説明できる。 2. 上顎洞の構造を説明できる。 3. 会陰部の外生殖器の構造を説明できる。 4. 膝関節の構造を説明できる。 【準備学習項目】 外頸動脈の分布を復習する。 【学習場所・媒体等】 第3実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、 顎動脈) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> エ 循環器系<脈管系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌 下神経) 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系 ウ 呼吸器系 カ 生殖器系	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/27 (火) 3時限 13:00~14:30	個々の臓器の構造 (7) 外頸動脈、 上顎洞・外生殖器・ 膝関節	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>C-2-3) - (2) 運動器系</p> <p>*①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p> <p>C-2-3) - (7) 呼吸器系</p> <p>*①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。</p> <p>C-2-3) - (10) 生殖器系</p> <p>*①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>*③頭頸部の脈管系を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/01/27 (火) 4時限 14:40~16:10	個々の臓器の構造 (7) 外頸動脈、 上顎洞・外生殖器・ 膝関節	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外頸動脈の分布を説明できる。 2. 上顎洞の構造を説明できる。 3. 会陰部の外生殖器の構造を説明できる。 4. 膝関節の構造を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>外頸動脈の分布を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>第三実習室</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>イ 口腔・顎顔面の構造・機能</p> <p>g 頭頸部の動脈(総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅲ 人体の正常構造と機能</p> <p>2 器官系</p> <p>ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>エ 循環器系<脈管系></p> <p>総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能</p> <p>1 頭頸部の構造</p> <p>エ 頭頸部の神経</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>イ 口腔・顎顔面の構造・機能</p> <p>f 頭頸部の神経(三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経)</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅲ 人体の正常構造と機能</p> <p>2 器官系</p> <p>オ 泌尿器系</p> <p>ウ 呼吸器系</p> <p>カ 生殖器系</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p> <p>C-2-3) - (2) 運動器系</p> <p>*①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。</p> <p>C-2-3) - (7) 呼吸器系</p> <p>*①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。</p> <p>C-2-3) - (10) 生殖器系</p> <p>*①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>*③頭頸部の脈管系を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/02/02 (月) 3時限 13:00~14:30	鼻腔の臨床解剖 個々の臓器の構造 (8) 翼突下顎縫 線、翼口蓋窩・内 生殖器・肘関節	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 翼突下顎縫線の構造を説明できる。 2. 翼口蓋窩の構造と通過する神経、血管の分布を説明できる。 3. 骨盤内部の泌尿器、生殖器の構造を説明できる。 4. 肘関節の構造を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>上顎神経の分布を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>第三実習室</p>	丹羽 秀夫 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/02 (月) 3時限 13:00~14:30	鼻腔の臨床解剖 個々の臓器の構造 (8) 翼突下顎縫 線、翼口蓋窩・内 生殖器・肘関節	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系 ウ 呼吸器系 カ 生殖器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①身体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。 C-2-3)-(10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *③頭頸部の脈管系を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。</p>	丹羽 秀夫 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/02/02 (月) 4時限 14:40~16:10	個々の臓器の構造 (8) 翼突下顎縫 線、翼口蓋窩・内 生殖器・肘関節	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 翼突下顎縫線の構造を説明できる。 2. 翼口蓋窩の構造と通過する神経、血管の分布を説明できる。 3. 骨盤内部の泌尿器、生殖器の構造を説明できる。 4. 肘関節の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 上顎神経の分布を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系 ウ 呼吸器系</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/02 (月) 4時限 14:40~16:10	個々の臓器の構造 (8) 翼突下顎縫線、翼口蓋窩・内生殖器・肘関節	カ 生殖器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *③頭頸部の脈管系を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/02/03 (火) 3時限 13:00~14:30	個々の臓器の構造 (9) 下顎神経、顔面神経、眼筋・骨盤半切・足根関節	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 下顎神経と卵円孔の関係を説明できる。 2. 顔面神経管の構造を説明できる。 3. 眼筋の構造を説明できる。 4. 骨盤内部の泌尿器、生殖器の構造を説明できる。 5. 足根関節の構造を説明できる。 【準備学習項目】 顔面神経の分布を復習する。 【学習場所・媒体等】 第三実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経(三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系 カ 生殖器系 ク 感覚器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/02/03 (火) 4時限 14:40~16:10	個々の臓器の構造 (9) 下顎神経、顔面神経、眼筋・骨盤半切・足根関節	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 下顎神経と卵円孔の関係を説明できる。 2. 顔面神経管の構造を説明できる。 3. 眼筋の構造を説明できる。 4. 骨盤内部の泌尿器、生殖器の構造を説明できる。 5. 足根関節の構造を説明できる。 【準備学習項目】 顔面神経の分布を復習する。 【学習場所・媒体等】 第三実習室	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/03 (火) 4時限 14:40~16:10	個々の臓器の構造 (9) 下顎神経、 顔面神経、眼筋・ 骨盤半切・足根関 節	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 エ 頭頸部の神経 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系 カ 生殖器系 ク 感覚器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/02/05 (木) 3時限 13:00~14:30	個々の臓器の構造 (10) 視覚器、聴 覚器、平衡覚器・ 骨盤内臓・手根関 節	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 眼球の構造を説明できる。 2. 側頭骨内部の感覚器の構造を説明できる。 3. 骨盤内部の泌尿器、生殖器の構造を説明できる。 4. 手根関節の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 側頭骨内部の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> オ 泌尿器系 カ 生殖器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/02/05 (木) 4時限	個々の臓器の構造 (10) 視覚器、聴	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
14:40~16:10	覚器、平衡覚器・骨盤内臓・手根関節	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 眼球の構造を説明できる。 2. 側頭骨内部の感覚器の構造を説明できる。 3. 骨盤内部の泌尿器、生殖器の構造を説明できる。 4. 手根関節の構造を説明できる。 <p>【準備学習項目】 側頭骨内部の構造を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> オ 泌尿器系 カ 生殖器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	松野 昌展 山下 由里子
2015/02/09 (月) 3時限 13:00~14:30	平常試験	<p>【授業の一般目標】 全身の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部の構造を説明できる。 2. 胸腹部の構造を説明できる。 3. 体肢の構造を説明できる。 <p>【準備学習項目】 これまでの講義、実習で学んだ内容を総復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室集合、待機・第三実習室にて試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系 (鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支) の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路 (尿管、膀胱、尿道) の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (10) 生殖器系</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/09 (月) 3時限 13:00～14:30	平常試験	*①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子
2015/02/09 (月) 4時限 14:40～16:10	納棺	<p>【授業の一般目標】 解剖実習を通じて学んだ人体構造に関する知識と倫理観を再確認する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 献体を説明できる。 2. 人間の尊厳を説明できる。 3. 生と死について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 献体、人間の尊厳、生と死について復習しておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第三実習室。御遺体に供える花束を準備しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 c 守秘義務、プライバシーの尊重、法の遵守</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-2 医の倫理 *③生と死に関わる倫理的問題を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 山下 由里子

生理学

年次	学期	学則科目責任者
2年次	通年	吉垣 純子 (生理学)

学習目標 (G I O)	人体は約60兆個の細胞から構成され、細胞同士が互いにコミュニケーションをとることにより、調和的に働いて恒常性が保たれている。恒常性の破綻としての疾病を理解するためには、正常な人体がどのように恒常性を維持しているかを理解しなければならない。そのために、1つのまとまった働きをする器官系の概念を理解し、構造と機能を学ぶ。さらに、器官系の調節機構としての神経と内分泌の働きを理解する。
担当教員	吉垣 純子、加藤 治、横山 愛、※澁川 義幸、※櫻井 健、※山崎 利哉、※佐藤 慶太郎、※伊藤 洋子、※稲井 哲司、※近藤 美佳、※齋藤 正夫、※澤田 勝、※杉谷 博士、※瀬川 正臣、※泉福 英信、※高尾 正巳、※中井 邦夫、※成田 貴則、※根岸 哲夫、※福島 英一、福島 美和子、※藤田 義彦、※横田 祐司
教科書	ビジュアル生理学・口腔生理学 第2版 和泉博之・浅沼直和 編集 学建書院
参考図書	基礎歯科生理学 第6版 森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編 医歯薬出版
評価方法 (E V)	平常点: 講義中に行うプレテスト, ポストテストの成績を平常点として成績に反映させる。 講義点: 4回の平常試験 (前期2回, 後期2回) の平均を講義点とする。 実習点: 実習については, プレテスト, 実習態度, 提出課題を評価する。実習成績は実習に出席することが前提となる。 最終評価は平常点5%, 講義点70%, 実習点25%で決定する。 ただし, 授業時間数 (講義・実習) の1/5以上を欠席した場合には, 最終評価は0 - 60点とする。 なお, 平常試験の再試験は行わない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	生理学は基本的な知識の上に, 次の知識を積み重ねていく学問です。したがって, わからないことを放置してしまうと, 次の講義の内容もわからなくなってしまう。1回の講義でわからなかったところは, なるべくその日のうちに解決しましょう。気軽に質問に来て下さい。e-mail での質問も受け付けています (physiol.md.ml@nihon-u.ac.jp)。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/03 (木) 2時限 10:40~12:10	生理学概論	<p>【授業の一般目標】 生理学における生体の恒常性の概念を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 人体の恒常性を説明できる。 2. 体液の量, 区分および体液の組成を説明できる。 3. 細胞膜における情報の受容, 物質の輸送を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 細胞の構造と細胞内小器官の機能を復習しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系, 筋系, 消化器系, 呼吸器系, 循環器系 (脈管系), 泌尿器系, 生殖器系, 神経系, 感覚器系, 内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞, 組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3 身体を構成する組織, 器官 C-2-3-(5) 神経系 *③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸, 循環, 体温) の調節中枢の働きを含む。】</p>	吉垣 純子
2014/04/03 (木) 3時限 13:00~14:30	血液1: 血液の成分と役割	<p>【授業の一般目標】 血液を構成する成分とそれぞれの役割を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 血液の成分を列挙できる。 2. 血液の役割を列挙できる。 3. 血液の基準値を述べられる。</p> <p>【準備学習項目】 体液の区分と組成の違いを調べておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/03 (木) 3時限 13:00~14:30	血液1:血液の成分と役割	<p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(11) 血液、造血器、リンパ性器官 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。</p>	吉垣 純子
2014/04/10 (木) 2時限 10:40~12:10	血液2:血漿	<p>【授業の一般目標】 血漿の成分と役割を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 血漿の成分と役割を説明できる。 2. 膠質浸透圧を説明できる。 3. 浮腫の原因を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 浸透圧の定義を復習しておく。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(11) 血液、造血器、リンパ性器官 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。</p>	吉垣 純子
2014/04/10 (木) 3時限 13:00~14:30	血液3:赤血球	<p>【授業の一般目標】 赤血球の役割とその異常によって起こる疾病を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 赤血球の役割を説明できる。 2. 赤血球の新生と破壊について説明できる。 3. 貧血について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 人体における酸素の役割を理解しておく。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(11) 血液、造血器、リンパ性器官 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。</p>	吉垣 純子
2014/04/17 (木) 2時限 10:40~12:10	血液4:白血球	<p>【授業の一般目標】 免疫における白血球の役割を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 白血球の種類と役割を説明できる。 2. 先天免疫と獲得免疫を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 血球の種類を復習しておく。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/17 (木) 2時限 10:40～12:10	血液4：白血球	<p>総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1 1) 血液、造血器、リンパ性器官 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。</p>	吉垣 純子
2014/04/17 (木) 3時限 13:00～14:30	血液5：血小板	<p>【授業の一般目標】 止血における血小板の役割を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 止血のステップを説明できる。 2. 血小板の活性化を説明できる。 3. 血液凝固反応を説明できる。 4. 血液凝固反応におけるビタミンKの役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 血管の構造について調べておく。 血漿タンパク質の種類を復習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1 1) 血液、造血器、リンパ性器官 *④止血と血液凝固の機序を説明できる。【線溶系を含む。】</p>	吉垣 純子
2014/04/24 (木) 2時限 10:40～12:10	細胞膜の電気現象 1：膜電位	<p>【授業の一般目標】 神経が信号を伝えるメカニズムを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. イオンチャンネルが説明できる。 2. 静止膜電位の成立を説明できる。 3. 活動電位の発生機序を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 受動輸送と能動輸送について調べる。 平衡電位について復習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *⑧神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明できる。</p>	吉垣 純子
2014/04/24 (木) 3時限 13:00～14:30	細胞膜の電気現象 2：興奮の伝導と伝達	<p>【授業の一般目標】 神経が信号を伝えるメカニズムを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 興奮伝導が説明できる。 2. 全か無かの法則が説明できる。 3. リガンド依存性チャンネルが説明できる。 4. 興奮伝達機構が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 イオンチャンネルとポンプの違いを理解しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/24 (木) 3時限 13:00~14:30	細胞膜の電気現象 2:興奮の伝導と伝達	2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *⑧神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明できる。 *⑨シナプスにおける興奮伝達を概説できる。	吉垣 純子
2014/05/08 (木) 2時限 10:40~12:10	筋肉1:骨格筋の収縮機構	【授業の一般目標】 骨格筋の構造と機能を学び、収縮機構を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1.筋の分類を説明できる。 2.骨格筋の特徴を説明できる。 3.骨格筋の収縮機構を説明できる。 【準備学習項目】 骨格筋線維の構造を調べておく。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】	吉垣 純子
2014/05/08 (木) 3時限 13:00~14:30	筋肉2:興奮収縮連関	【授業の一般目標】 骨格筋の収縮力の調節機構を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1.運動神経について説明できる。 2.神経筋単位について説明できる。 3.筋肉における神経支配比を説明できる。 4.強縮のメカニズムを説明できる。 【準備学習項目】 興奮伝達のメカニズムを復習する。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】	吉垣 純子
2014/05/15 (木) 2時限 10:40~12:10	実習1:骨格筋の収縮	【授業の一般目標】 骨格筋の収縮機構を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1.神経細胞における興奮伝導機序を説明できる。 2.骨格筋の興奮 - 収縮連関を説明できる。 3.強縮が起こるメカニズムが説明できる。 4.疲労の原因を列挙できる。 【準備学習項目】 活動電位の発生機序と骨格筋の収縮機序を復習しておく。 【学習場所・媒体等】 2つのグループに分かれ、実習1と2を行う。 カエルの神経筋標本を用い、神経に対して電気刺激を与え、骨格筋の収縮高を測定する。 【学習方略 (LS)】 実習	吉垣 純子 加藤 治 藤山 愛 横山 健 櫻井 利哉 山崎 慶太郎 佐藤 洋子 伊藤 哲司 稲井 美佳 近藤 正夫 藤齋 勝 澤田 博 田谷 正臣 杉谷 正信 瀬川 英 泉福 正 高尾 正巴 中井 邦夫 成田 貴則 根岸 哲夫 福島 英一 福島 美和子 藤田 義彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/15 (木) 2時限 10:40~12:10	実習1：骨格筋の収縮	<p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】</p>	横田 祐司
2014/05/15 (木) 3時限 13:00~14:30	実習2：血液	<p>【授業の一般目標】 血液の測定値で得られる情報を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.血液測定値の測定方法と原理を説明できる。 2.血液測定で検出される異常を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 血液に関する基準値を調べておく。 血球の種類と機能を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 採取した血液を用い、成分や組成を測定する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1.1) 血液、造血器、リンパ性器官 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。</p>	吉垣 純子 加藤 治 藤山 愛 横山 健 櫻井 利哉 山崎 慶太郎 佐藤 洋子 伊藤 哲司 稲井 美佳 近藤 正夫 齋藤 勝 藤田 博士 杉谷 博 瀬川 正臣 泉 英信 高尾 正巳 中井 邦夫 成田 貴則 根岸 哲夫 福島 英一 福島 美和子 藤田 義彦 横田 祐司
2014/05/22 (木) 2時限 10:40~12:10	実習1：骨格筋の収縮	<p>【授業の一般目標】 骨格筋の収縮機序を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.神経の興奮伝導機序を説明できる。 2.骨格筋の興奮 - 収縮連関を説明できる。 3.強縮が起こるメカニズムを説明できる。 4.疲労の原因を列挙できる。</p> <p>【準備学習項目】 活動電位の発生機序と骨格筋の収縮機序を復習しておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 グループを交代し、実習1および2を行う。</p> <p>カエルの神経筋標本を用い、神経に対して電気刺激を与え、骨格筋の収縮高を測定する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】</p>	吉垣 純子 加藤 治 藤山 愛 横山 健 櫻井 利哉 山崎 慶太郎 佐藤 洋子 伊藤 哲司 稲井 美佳 近藤 正夫 齋藤 勝 藤田 博士 杉谷 博 瀬川 正臣 泉 英信 高尾 正巳 中井 邦夫 成田 貴則 根岸 哲夫 福島 英一 福島 美和子 藤田 義彦 横田 祐司
2014/05/22 (木) 3時限 13:00~14:30	実習2：血液	<p>【授業の一般目標】 血液の測定値で得られる情報を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.血液測定値の測定方法と原理を説明できる。 2.血液測定値で検出される異常を説明できる。</p>	吉垣 純子 加藤 治 藤山 愛 横山 健 櫻井 利哉 山崎 慶太郎 佐藤 洋子 伊藤 洋子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/22 (木) 3時限 13:00~14:30	実習2:血液	<p>【準備学習項目】 血液に関する基準値を調べておく。 血球の種類と機能を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 採取した血液を用い、成分や組成を測定する。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(11) 血液、造血器、リンパ性器官 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。</p>	稲井 哲司 近藤 美佳 藤田 正夫 澤田 勝 杉谷 博士 瀬川 正臣 泉福 英信 高尾 正巳 中井 邦夫 成田 貴則 根岸 夫一 福島 英 福島 美和子 藤田 義彦 横田 祐司
2014/05/29 (木) 2時限 10:40~12:10	平常試験1	<p>【授業の一般目標】 生理学概論、血液、細胞膜の電気現象、および筋肉の講義・実習内容について試験を行う。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 恒常性を説明できる。 2. 血液の成分と役割を説明できる。 3. 静止膜電位と活動電位を説明できる。 4. 興奮伝達を説明できる。 5. 骨格筋の収縮機構を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 実習の内容も含め、理解しておくこと。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】 C-2-3)-(11) 血液、造血器、リンパ性器官 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 *④止血と血液凝固の機序を説明できる。【線溶系を含む。】 C-2-3)-(5) 神経系 *⑧神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明できる。 *⑨シナプスにおける興奮伝達を概説できる。</p>	吉垣 純子
2014/05/29 (木) 3時限 13:00~14:30	解説1	<p>【授業の一般目標】 平常試験1についての解説講義を行う。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 恒常性を説明できる。 2. 血液の成分と役割を説明できる。 3. 静止膜電位と活動電位を説明できる。 4. 興奮伝達を説明できる。 5. 骨格筋の収縮機構を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 自身の解答を把握しておくこと。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/29 (木) 3時限 13:00~14:30	解説 1	C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】 C-2-3) - (11) 血液、造血器、リンパ性器官 *②赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 *④止血と血液凝固の機序を説明できる。【線溶系を含む。】 C-2-3) - (5) 神経系 *⑧神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明できる。 *⑨シナプスにおける興奮伝達を概説できる。	吉垣 純子
2014/06/05 (木) 2時限 10:40~12:10	神経 1 : 神経の分類	【授業の一般目標】 生体内における神経系の役割を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 中枢神経と末梢神経を説明できる。 2. 求心性神経と遠心性神経を説明できる。 3. 体性神経と自律神経を説明できる。 【準備学習項目】 神経線維の構造を復習する。 神経伝達のメカニズムを復習する。 【学習場所・媒体等】 102教室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *②末梢神経系の機能分類 (体性神経系と自律神経系) を説明できる。	吉垣 純子
2014/06/05 (木) 3時限 13:00~14:30	神経 2 : 中枢神経の役割	【授業の一般目標】 中枢神経の構造と役割を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 中枢神経の種類と構造と説明できる。 2. 大脳皮質の役割を説明できる。 3. 視床の役割を説明できる。 4. 視床下部の役割を説明できる。 5. 小脳の役割を説明できる。 6. 脳幹の役割を説明できる。 【準備学習項目】 神経線維の構造を復習する。 【学習場所・媒体等】 102教室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】	吉垣 純子
2014/06/12 (木) 2時限 10:40~12:10	神経 3 : 自律神経	【授業の一般目標】 自律神経による恒常性維持を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 自律神経の二重支配を説明できる。 2. 自律反射の種類と反射弓を説明できる。 【準備学習項目】 神経の分類を復習しておく。 【学習場所・媒体等】 102教室	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/12 (木) 2時限 10:40～12:10	神経3：自律神経	<p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室、第1 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 *⑥反射、半自動運動、随意運動の発現と調節の機序を説明できる。</p>	吉垣 純子
2014/06/12 (木) 3時限 13:00～14:30	呼吸1：肺の構造と呼吸運動	<p>【授業の一般目標】 呼吸器の構造を理解し、その運動調節機構を理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1.呼吸器の構造を説明できる。 2.内呼吸と外呼吸を説明できる。 3.腹式呼吸と胸式呼吸を説明できる。 4.呼吸運動の調節機構を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 呼吸器の解剖学を理解しておく。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系 (鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支) の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</p>	加藤 治
2014/06/19 (木) 2時限 10:40～12:10	呼吸2：酸素の運搬と二酸化炭素の排泄	<p>【授業の一般目標】 酸素と二酸化炭素の輸送機構を理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1.ガス分圧を説明できる。 2.ヘモグロビン酸素解離曲線を説明できる。 3.血中pH調節を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 分圧, pHの意味を理解しておく。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系 (鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支) の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</p>	加藤 治
2014/06/19 (木) 3時限 13:00～14:30	循環1：血圧調節	<p>【授業の一般目標】 血圧の意義と調節機構を理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1.血圧を説明できる。 2.血圧調節因子を列挙できる。 3.最高血圧と最低血圧の違いを説明できる。 4.高血圧の基準を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	加藤 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/19 (木) 3時限 13:00~14:30	循環1: 血圧調節	<p>血圧調節の意義を考えておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。 *④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。</p>	加藤 治
2014/06/26 (木) 2時限 10:40~12:10	循環2: 血圧の神経性調節と体液性調節	<p>【授業の一般目標】 血圧の調節機構を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 心臓の調節を説明できる。 2. 血管の調節を説明できる。 3. 体液量の調節を説明できる。 4. 体位変化における血圧の変化を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 血圧調節因子 (心臓・血管・体液量) を理解しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。 *④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。</p>	加藤 治
2014/06/26 (木) 3時限 13:00~14:30	循環3: 心臓の構造と興奮	<p>【授業の一般目標】 心筋の興奮を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 心筋の分類と役割を述べられる。 2. 心筋の興奮の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 心臓の構造を理解しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】</p>	加藤 治
2014/07/03 (木) 2時限 10:40~12:10	循環4: 刺激伝導系と調節	<p>【授業の一般目標】 心臓の刺激伝導系と調節メカニズムを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 心臓における刺激伝導系を説明できる。 2. ペースメーカー電位を説明できる。 3. 房室遅延を説明できる。 4. 心拍数調節メカニズムを説明できる。 5. 心臓における自律神経の二重支配を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	佐藤 慶太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/03 (木) 2時限 10:40~12:10	循環4：刺激伝導系と調節	<p>活動電位の発生機序を理解しておく。 心筋の構造を復習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】</p>	佐藤 慶太郎
2014/07/03 (木) 3時限 13:00~14:30	循環5：心電図	<p>【授業の一般目標】 正常心電図の意味を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 心電図に現れる電気活動を説明できる。 2. 心電図から得られる情報を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 活動電位の発生機序を理解しておく。 刺激伝導系を復習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】</p>	佐藤 慶太郎
2014/07/10 (木) 2時限 10:40~12:10	実習3：心電図	<p>【授業の一般目標】 心電図に現れる電気活動を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 心電図が測定できる。 2. 心電図で検出される電気活動を説明できる。 3. 心電図から平均電気軸を求めることができる。</p> <p>【準備学習項目】 心臓の刺激伝導系を復習する。 心周期について理解しておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 2つのグループに分かれ、実習3および4を行う。 心電計を用いて、ヒト心電図を測定する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】</p>	吉垣 純子 加藤 治 横山 愛 櫻山 健 山崎 利哉 佐藤 慶太郎 伊藤 洋子 稲井 哲司 近藤 美佳 齋藤 正夫 澤田 勝 杉谷 博士 瀬川 正臣 泉福 英信 高尾 正巳 中井 邦夫 成田 貴則 根岸 哲夫 福島 英一 福島 美和子 藤田 義彦 横田 祐司
2014/07/10 (木) 3時限 13:00~14:30	実習4：呼吸・血圧	<p>【授業の一般目標】 呼吸および血圧の調節機構を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	吉垣 純子 加藤 治 横山 愛 櫻山 健

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/10 (木) 3時限 13:00~14:30	実習4:呼吸・血圧	<p>1. 血圧を測定できる。 2. 呼吸が促進される要因を説明できる。 3. 血圧の調節機構を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 血圧や血漿酸素分圧を感知する感覚器をまとめる。 血圧や呼吸を調節する反射を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 水銀血圧計を用いて血圧を測定する。 運動負荷による血圧、脈拍、および呼吸の変化を測定する。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(3) 循環器系 *④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 C-2-3)-(7) 呼吸器系 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</p>	山崎 利哉 藤 慶太郎 伊 洋子 藤 哲美 近 司佳 藤 正夫 齋 勝 藤 博士 澤 正臣 田 英信 谷 正巳 瀬 邦夫 川 真則 泉 哲夫 福 英一 高 和美 尾 和子 中 義彦 井 義 成 彦 田 祐 根 司 岸 義 福 美 島 和 福 義 島 彦 横 田 祐 横 田 司
2014/07/17 (木) 2時限 10:40~12:10	実習3:心電図	<p>【授業の一般目標】 心電図に現れる電気活動を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 心電図が測定できる。 2. 心電図で検出される電気活動を説明できる。 3. 心電図から平均電気軸を求めることができる。</p> <p>【準備学習項目】 心臓の刺激伝導系を復習する。 心周期について理解しておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 グループを交代し、実習3および4を行う。 心電計を用いて、ヒト心電図を測定する。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】</p>	吉垣 純子 加藤 治 横山 愛 横山 健 櫻井 利哉 山崎 慶太郎 佐藤 洋子 藤 哲美 伊 司佳 藤 正夫 近 勝 藤 博士 齋 正臣 藤 英信 澤 正巳 田 邦夫 谷 真則 瀬 哲夫 川 英一 泉 和美 福 和子 高 義彦 尾 義 中 彦 井 祐 成 司 田 義 根 美 岸 和 福 義 島 彦 福 義 島 彦 横 田 祐 横 田 司
2014/07/17 (木) 3時限 13:00~14:30	実習4:呼吸・血圧	<p>【授業の一般目標】 呼吸および血圧の調節機構を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 血圧を測定できる。 2. 呼吸が促進される要因を説明できる。 3. 血圧の調節機構を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 血圧や血漿酸素分圧を感知する感覚器をまとめる。 血圧や呼吸を調節する反射を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 水銀血圧計を用いて血圧を測定する。 運動負荷による血圧、脈拍、および呼吸の変化を測定する。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p>	吉垣 純子 加藤 治 横山 愛 横山 健 櫻井 利哉 山崎 慶太郎 佐藤 洋子 藤 哲美 伊 司佳 藤 正夫 近 勝 藤 博士 齋 正臣 藤 英信 澤 正巳 田 邦夫 谷 真則 瀬 哲夫 川 英一 泉 和美 福 和子 高 義彦 尾 義 中 彦 井 祐 成 司 田 義 根 美 岸 和 福 義 島 彦 福 義 島 彦 横 田 祐 横 田 司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/17 (木) 3時限 13:00~14:30	実習4:呼吸・血圧	<p>【場所(教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(3) 循環器系 *④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 C-2-3)-(7) 呼吸器系 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</p>	福島 美和子 藤田 義彦 横田 祐司
2014/09/11 (木) 2時限 10:40~12:10	平常試験2	<p>【授業の一般目標】 神経、呼吸、および循環の講義・実習内容について試験を行う。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 神経の分類と役割を説明できる。 2. 呼吸器の構造と調節機構を説明できる。 3. 循環の調節機構を説明できる。 4. 循環と呼吸の関連を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 実習の内容も含め、理解しておくこと。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系> キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 C-2-3)-(5) 神経系 *②末梢神経系の機能分類(体性神経系と自律神経系)を説明できる。 *③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 C-2-3)-(7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</p>	吉垣 純子 加藤 治
2014/09/11 (木) 3時限 13:00~14:30	解説2	<p>【授業の一般目標】 平常試験2についての解説講義を行う。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 神経の分類と役割を説明できる。 2. 呼吸器の構造と調節機構を説明できる。 3. 循環の調節機構を説明できる。 4. 循環と呼吸の関連を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 自身の解答を把握しておくこと。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系</p>	吉垣 純子 加藤 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/11 (木) 3時限 13:00~14:30	解説2	<p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系> キ 神経系<中枢・末梢神経系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 C-2-3) - (5) 神経系 *②末梢神経系の機能分類(体性神経系と自律神経系)を説明できる。 *③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</p>	吉垣 純子 加藤 治
2014/10/02 (木) 1時限 09:00~10:30	感覚1: 感覚の刺激と受容器	<p>【授業の一般目標】 感覚における刺激と受容器の関係を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 感覚の分類を説明できる。 2. 適刺激を説明できる。 3. 感覚の受容器を説明できる。 4. 起動電位を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 体性神経の分類を確認しておく。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *①皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。 *②深部感覚の受容器の構造と機能を説明できる。</p>	加藤 治
2014/10/02 (木) 2時限 10:40~12:10	感覚2: 感覚神経	<p>【授業の一般目標】 感覚を伝える神経経路を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 感覚神経を説明できる。 2. 痛みを伝える神経を説明できる。 3. 順応を説明できる。 4. 感覚点と二点弁別閾の違いを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 受容器と神経の関係を理解しておく。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *①皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。 *②深部感覚の受容器の構造と機能を説明できる。</p>	加藤 治
2014/10/09 (木) 1時限 09:00~10:30	感覚3: 歯の感覚	<p>【授業の一般目標】 歯における感覚の種類と成立機構を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯における神経分布を説明できる。 2. 歯髄感覚を説明できる。 3. 象牙質感覚を説明できる。 4. 前痛感覚について説明できる。</p>	澁川 義幸

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/09 (木) 1時限 09:00～10:30	感覚3：歯の感覚	<p>【準備学習項目】 神経線維と感覚の関係を復習する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髄の構造と機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *⑥歯痛の機序を説明できる。</p>	澁川 義幸
2014/10/09 (木) 2時限 10:40～12:10	感覚4：歯根膜感覚	<p>【授業の一般目標】 歯根膜感覚の種類と成立を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯根膜の感覚受容器を列挙できる。 2. 歯根膜感覚の種類を説明できる。 3. 歯根膜感覚の伝導路を説明できる。 4. 歯根膜感覚の閾値を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 皮膚感覚の受容器について学習する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 キ 歯根膜 <歯周靭帯></p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。</p>	澁川 義幸
2014/10/16 (木) 1時限 09:00～10:30	感覚5：口腔粘膜感覚	<p>【授業の一般目標】 口腔粘膜感覚の種類と成立を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口腔における感覚の分布を説明できる。 2. 口腔粘膜感覚と皮膚感覚の違いを説明できる。 3. 口腔粘膜感覚の伝導路を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 皮膚感覚の分類を確認しておく。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 セ 粘膜の感覚</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】</p>	加藤 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/16 (木) 2時限 10:40～12:10	感覚6：味覚	<p>【授業の一般目標】 味覚の種類と成立を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 味覚受容器を説明できる。 2. 味覚受容器の分布を説明できる。 3. 4基本味を列挙できる。 4. 味覚の伝導路を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔の構造を理解しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 シ 味覚</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】 *②舌の構造と機能を説明できる。</p>	加藤 治
2014/10/23 (木) 1時限 09:00～10:30	咬合・咀嚼1：顎運動と顎反射	<p>【授業の一般目標】 咬合咀嚼に必要な反射の経路を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 随意運動と不随意運動を説明できる。 2. 反射弓の構成を列挙できる。 3. 伸張反射を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 膝蓋腱反射, 屈曲反射を理解しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(4) 感覚器系 *②深部感覚の受容器の構造と機能を説明できる。 C-2-3)-(5) 神経系 *⑥反射、半自動運動、随意運動の発現と調節の機序を説明できる。</p>	加藤 治
2014/10/23 (木) 2時限 10:40～12:10	咬合・咀嚼2：顎運動と顎反射	<p>【授業の一般目標】 咬合咀嚼に必要な顎運動と反射を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎運動に関わる筋肉を列挙できる。 2. 下顎の運動範囲を説明できる。 3. 下顎張反射を説明できる。 4. 開口反射を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 骨格筋の調節機構を復習する。 筋紡錘の役割を復習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 サ 顎・口腔領域の反射</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	山崎 利哉

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/23 (木) 2時限 10:40~12:10	咬合・咀嚼2：顎運動と顎反射	E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *⑥下顎の随意運動の基本を説明できる。 *⑦下顎反射の機序を説明できる。	山崎 利哉
2014/10/30 (木) 1時限 09:00~10:30	咬合・咀嚼3：摂食と嚥下	【授業の一般目標】 摂食の過程と口腔ケアの大切さを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 摂食の5期を説明できる。 2. 咀嚼調節における顎反射の役割を説明できる。 3. 嚥下の過程を説明できる。 4. 誤嚥を説明できる。 【準備学習項目】 顎反射の種類と反射弓を理解しておく。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 カ 嚥下 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *⑧嚥下の機序を説明できる。 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。	山崎 利哉
2014/10/30 (木) 2時限 10:40~12:10	咬合・咀嚼4：歯根膜感覚による咀嚼調節	【授業の一般目標】 咀嚼調節における歯根膜感覚の役割を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯根膜の感覚受容器を列挙できる。 2. 歯根膜感覚受容器からの反射を説明できる。 3. 咀嚼における歯根膜の役割を説明できる。 【準備学習項目】 触圧覚受容器の種類を復習する。 閉口反射と開口反射を復習する。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。	櫻井 健
2014/11/06 (木) 1時限 09:00~10:30	実習5：咬合・咀嚼	【授業の一般目標】 咀嚼能率を決定する要因を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 咀嚼能率を測定できる。 2. 筋電図で検出される電気活動を説明できる。 【準備学習項目】 顎反射の種類を復習する。 咀嚼筋の収縮による下顎の動きを理解しておく。 【学習場所・媒体等】 2つのグループに分かれ、実習5および6を行う。 ピーナツの咀嚼により咀嚼能率を測定する。 咬筋の筋電図を測定する。	吉垣 純子 加藤 治 横山 愛 櫻井 健 山崎 利哉 佐藤 慶太郎 伊藤 洋子 稲井 哲司 近藤 美佳 齋藤 正夫 澤田 勝 杉谷 博士 瀬川 正臣 泉福 英信 高尾 正巳 中井 邦夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/06 (木) 1時限 09:00～10:30	実習5：咬合・咀嚼	<p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 サ 顎・口腔領域の反射</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。</p>	成根 貴則 福島 哲夫 福島 英一 福島 和子 藤田 美和 横田 義彦 横田 祐司
2014/11/06 (木) 2時限 10:40～12:10	実習6：口腔感覚	<p>【授業の一般目標】 味覚と歯根膜感覚の成立を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 4基本味を説明できる。 2. 味覚の検知閾値と認知閾値を説明できる。 3. Freyの刺激毛を使って歯根膜の圧覚閾値を測定できる。 4. 部位による閾値の違いを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 味覚と代表的な味物質を学習する。 歯根膜の部位による閾値の違いを学習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 味溶液をしみこませた濾紙を舌の各部位に置き、閾値を決定する。 Freyの刺激毛によって歯根膜圧覚の閾値を決定する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 シ 味覚</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 セ 粘膜の感覚</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。</p>	吉垣 純子 加藤 治 横山 愛 横山 健 櫻井 利哉 山崎 慶太郎 佐藤 洋子 藤田 慶太郎 伊藤 洋子 稲井 哲司 近藤 美佳 藤田 正夫 齋藤 勝 澤田 勝 田谷 博 杉谷 士 瀬川 正臣 川泉 英信 福高 正巳 尾中 邦夫 井田 貴則 成根 哲夫 岸田 英一 福島 和子 福島 美和 横田 義彦 横田 祐司
2014/11/13 (木) 1時限 09:00～10:30	実習5：咬合・咀嚼	<p>【授業の一般目標】 咀嚼能率を決定する要因を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 咀嚼能率を測定できる。 2. 筋電図で検出される電気活動を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顎反射の種類を復習する。 咀嚼筋の収縮による下顎の動きを理解しておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 グループを交代し、実習5および6を行う。</p> <p>ピーナツの咀嚼により咀嚼能率を測定する。 咬筋の筋電図を測定する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論</p>	吉垣 純子 加藤 治 横山 愛 横山 健 櫻井 利哉 山崎 慶太郎 佐藤 洋子 藤田 慶太郎 伊藤 洋子 稲井 哲司 近藤 美佳 藤田 正夫 齋藤 勝 澤田 勝 田谷 博 杉谷 士 瀬川 正臣 川泉 英信 福高 正巳 尾中 邦夫 井田 貴則 成根 哲夫 岸田 英一 福島 和子 福島 美和 横田 義彦 横田 祐司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/13 (木) 1時限 09:00～10:30	実習5：咬合・咀嚼	<p>総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 サ 顎・口腔領域の反射</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。</p>	<p>吉垣 純子 加藤 治 横山 愛 櫻井 健 山崎 利哉 佐藤 慶太郎 伊藤 洋子 稲井 哲司 近藤 美佳 齋藤 正夫 澤田 勝 杉谷 博士 瀬川 正信 川福 英信 高尾 正巳 中井 邦夫 成田 真則 根岸 哲夫 福島 英一 福島 美和子 藤田 義彦 横田 祐司</p>
2014/11/13 (木) 2時限 10:40～12:10	実習6：口腔感覚	<p>【授業の一般目標】 味覚と歯根膜感覚の成立を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 4基本味を説明できる。 2. 味覚の検知閾値と認知閾値を説明できる。 3. Freyの刺激毛を使って歯根膜の圧覚閾値を測定できる。 4. 部位による閾値の違いを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 味覚と代表的な味物質を学習する。 歯根膜の部位による閾値の違いを学習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 味溶液をしみこませた濾紙を舌の各部位に置き、閾値を決定する。 Freyの刺激毛によって歯根膜圧覚の閾値を決定する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 シ 味覚</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 セ 粘膜の感覚</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。</p>	<p>吉垣 純子 加藤 治 横山 愛 櫻井 健 山崎 利哉 佐藤 慶太郎 伊藤 洋子 稲井 哲司 近藤 美佳 齋藤 正夫 澤田 勝 杉谷 博士 瀬川 正信 川福 英信 高尾 正巳 中井 邦夫 成田 真則 根岸 哲夫 福島 英一 福島 美和子 藤田 義彦 横田 祐司</p>
2014/11/20 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験3	<p>【授業の一般目標】 感覚、咬合・咀嚼の講義・実習内容について試験を行う。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 感覚の種類を列挙できる。 2. 感覚伝導路を説明できる。 3. 歯根膜感覚の受容器と閾値を説明できる。 4. 味覚受容器の分布と神経支配を説明できる。 5. 顎反射の種類と反射弓を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 実習の内容も含め、理解しておくこと。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能</p>	<p>吉垣 純子 加藤 治</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/20 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験 3	<p>サ 顎・口腔領域の反射 シ 味覚</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *①皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。 *④嗅覚器、味覚器の構造と機能を説明できる。</p> <p>E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *⑦下顎反射の機序を説明できる。 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】</p>	吉垣 純子 加藤 治
2014/11/20 (木) 2時限 10:40～12:10	解説 3	<p>【授業の一般目標】 平常試験 3 についての解説講義を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 感覚の種類を列挙できる。 2. 感覚伝導路を説明できる。 3. 歯根膜感覚の受容器と閾値を説明できる。 4. 味覚受容器の分布と神経支配を説明できる。 5. 顎反射の種類と反射弓を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 自身の解答を把握しておくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 サ 顎・口腔領域の反射 シ 味覚</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *①皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。 *④嗅覚器、味覚器の構造と機能を説明できる。</p> <p>E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *⑦下顎反射の機序を説明できる。 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】</p>	吉垣 純子 加藤 治
2014/11/27 (木) 1時限 09:00～10:30	内分泌 1 : 液性調節とホルモン	<p>【授業の一般目標】 生体における液性調節を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ホルモンの種類と構造を説明できる。 2. 分泌腺と標的臓器の関係を説明できる。 3. ステロイドホルモンと核内受容体の関係を説明できる。 4. ペプチドホルモンと細胞膜受容体の関係を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 細胞膜の透過性について復習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】</p>	横山 愛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/27 (木) 1時限 09:00～10:30	内分泌1：液性調節とホルモン		横山 愛
2014/11/27 (木) 2時限 10:40～12:10	内分泌2：負のフィードバック調節	<p>【授業の一般目標】 内分泌における負のフィードバック調節機構を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ホルモンの視床下部 - 下垂体前葉系の調節について説明できる。 2. ストレス応答におけるホルモンの役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 脳の構造と役割を復習する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】</p>	横山 愛
2014/12/04 (木) 1時限 09:00～10:30	内分泌3：血糖値調節	<p>【授業の一般目標】 ホルモンによる血糖値の調節機構を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 血糖値を上昇させるホルモンを列挙できる。 2. 血糖値を低下させるホルモンを説明できる。 3. 体内において糖を蓄える場所を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 糖代謝を復習する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】</p>	横山 愛
2014/12/04 (木) 2時限 10:40～12:10	内分泌4：カルシウム調節	<p>【授業の一般目標】 ホルモンによる血漿カルシウム濃度の調節機構を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 血漿カルシウム濃度を上昇させるホルモンを上げられる。 2. 血漿カルシウム濃度を低下させるホルモンを上げられる。 3. 体内においてカルシウムを蓄える場所を説明できる。 4. 骨代謝におけるホルモンの役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 骨代謝に関わる細胞を復習する。 正常血漿カルシウム濃度を復習する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p>	横山 愛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/04 (木) 2時限 10:40～12:10	内分泌4：カルシウム調節	C-2-3)-(8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】	横山 愛
2014/12/11 (木) 1時限 09:00～10:30	内分泌5：体液調節	【授業の一般目標】 ホルモンによる体液調節機構を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 体液量を感知する受容器を上げられる。 2. 血漿浸透圧を感知する受容器を上げられる。 3. レニン-アンジオテンシン系を説明できる。 4. 血漿浸透圧におけるバソプレッシンの役割を説明できる。 【準備学習項目】 体液の種類と組成を復習する。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】	横山 愛
2014/12/11 (木) 2時限 10:40～12:10	内分泌6：生殖	【授業の一般目標】 生殖におけるホルモンの役割を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 生殖に関わるホルモンを列挙できる。 2. 性周期を説明できる。 【準備学習項目】 ステロイドホルモンの種類と構造を復習する。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 カ 生殖器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】	横山 愛
2014/12/18 (木) 1時限 09:00～10:30	排泄1：腎臓の構造と機能	【授業の一般目標】 腎臓の役割と尿の生成機構を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ネフロンを説明できる。 2. 尿によって排泄される物質を説明できる。 3. 糸球体濾過される物質とされない物質を説明できる。 4. 分泌と再吸収を説明できる。 【準備学習項目】 生体物質の分子量について学習しておく。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(9) 泌尿器系	横山 愛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/18 (木) 1時限 09:00～10:30	排泄1：腎臓の構造と機能	*②体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明できる。【ネフロン働き(濾過、再吸収、分泌)を含む。】	横山 愛
2014/12/18 (木) 2時限 10:40～12:10	排泄2：体液の調節	<p>【授業の一般目標】 腎臓の働きによる体液の調節機構を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.尿細管の分泌と再吸収を説明できる。 2.ホルモンによる再吸収の調節を説明できる。 3.クリアランスを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 血圧と体液量の関係を学習しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (9) 泌尿器系</p> <p>*②体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明できる。【ネフロン働き(濾過、再吸収、分泌)を含む。】</p>	横山 愛
2015/01/08 (木) 1時限 09:00～10:30	唾液1：唾液と唾液腺	<p>【授業の一般目標】 口腔における唾液の役割を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.唾液の成分と役割を説明できる。 2.唾液腺の種類と分泌唾液を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 外分泌と内分泌の違いを復習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ソ 唾液分泌</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能</p> <p>*④唾液の性状と役割を説明できる。【構成成分とその機能を含む。】 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】</p>	吉垣 純子
2015/01/08 (木) 2時限 10:40～12:10	唾液2：唾液の分泌調節	<p>【授業の一般目標】 唾液分泌の調節機構を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.唾液分泌における水分分泌とタンパク質分泌を説明できる。 2.唾液分泌における自律神経の二重支配を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 自律神経の二重支配を復習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ソ 唾液分泌</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能</p> <p>*⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】</p>	吉垣 純子
2015/01/15 (木) 1時限	消化・吸収1：消化管の構造と機能	<p>【授業の一般目標】 食物の消化と吸収過程を理解する。</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:00～10:30	消化・吸収1：消化管の構造と機能	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 消化管の構造を説明できる。 消化液の種類と成分を説明できる。 消化における神経調節の役割を説明できる。 栄養素の吸収過程を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>三大栄養素の代謝経路を復習しておく。</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管（咽頭、食道、胃、小腸、大腸）の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。</p>	吉垣 純子
2015/01/15 (木) 2時限 10:40～12:10	消化・吸収2：消化管ホルモン	<p>【授業の一般目標】</p> <p>ホルモンによる消化の調節機構を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 消化管ホルモンを列挙できる。 消化管ホルモンの役割を説明できる。 消化液の分泌調節を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>消化液の役割を復習する。</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管（咽頭、食道、胃、小腸、大腸）の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】</p>	吉垣 純子
2015/01/22 (木) 1時限 09:00～10:30	実習7：唾液	<p>【授業の一般目標】</p> <p>唾液の分泌調節と成分変化を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 唾液の分泌機序を説明できる。 唾液の分泌量と成分を変化させる要因を説明できる。 唾液のpH緩衝能を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>唾液の組成と役割を復習する。 唾液腺の種類を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>採唾シートを用いて唾液を採取し、分泌量を測定する。 アミラーゼモニターにより、負荷前後での唾液アミラーゼ量を測定する。 pHメーターにより、唾液のpHおよび緩衝能を測定する。</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ソ 唾液分泌</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *④唾液の性状と役割を説明できる。【構成成分とその機能を含む。】</p>	吉垣 純子 加藤 治 藤山 愛 横山 健 櫻井 利哉 山崎 慶太郎 佐藤 洋子 伊藤 洋司 稲井 哲司 近藤 美佳 藤原 正夫 齋藤 正勝 澤田 博士 杉谷 正臣 瀬川 正信 泉福 正巳 高尾 邦夫 中井 貴則 成田 哲夫 根岸 英一 岸 福島 福島 美和子 藤田 義彦 横田 祐司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/22 (木) 1時限 09:00~10:30	実習7:唾液	*⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】	吉垣 純子 加藤 治愛 横山 健利哉 櫻井 慶太郎 山崎 洋子 佐藤 哲司 藤井 美佳 伊藤 正夫 稲井 勝 近藤 澤田 齋藤 博 藤田 士 谷川 正臣 瀬川 英信 泉 正巳 高尾 邦夫 中井 真則 成田 哲夫 根岸 英一 岸 美和子 福島 義彦 島田 義彦 藤田 祐司 横山 祐司
2015/01/22 (木) 2時限 10:40~12:10	実習7:唾液	<p>【授業の一般目標】 唾液の分泌調節と成分変化を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 唾液の分泌機序を説明できる。 2. 唾液の分泌量と成分を変化させる要因を説明できる。 3. 唾液のpH緩衝能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 唾液の組成と役割を復習する。 唾液腺の種類を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 採唾シートを用いて唾液を採取し、分泌量を測定する。 アミラーゼモニターにより、負荷前後での唾液アミラーゼ量を測定する。 pHメーターにより、唾液のpHおよび緩衝能を測定する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ソ 唾液分泌</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *④唾液の性状と役割を説明できる。【構成成分とその機能を含む。】 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】</p>	吉垣 純子 加藤 治愛 横山 健利哉 櫻井 慶太郎 山崎 洋子 佐藤 哲司 藤井 美佳 伊藤 正夫 稲井 勝 近藤 澤田 齋藤 博 藤田 士 谷川 正臣 瀬川 英信 泉 正巳 高尾 邦夫 中井 真則 成田 哲夫 根岸 英一 岸 美和子 福島 義彦 島田 義彦 藤田 祐司 横山 祐司
2015/01/29 (木) 1時限 09:00~10:30	平常試験4	<p>【授業の一般目標】 内分泌、排泄、唾液、および消化器の講義・実習内容について試験を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ホルモンの種類と役割を説明できる。 2. ホルモンによる血糖値・血漿カルシウム濃度の調節を説明できる。 3. 腎臓における体液調節を説明できる。 4. 唾液の分泌調節を説明できる。 5. 食物の消化・吸収過程を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 実習の内容も含め、理解しておくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ソ 唾液分泌</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官</p>	吉垣 純子 横山 治愛

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/29 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験 4	<p>C-2-3)-(6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】</p> <p>C-2-3)-(8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *④唾液の性状と役割を説明できる。【構成成分とその機能を含む。】 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】</p>	吉垣 純子 横山 愛
2015/01/29 (木) 2時限 10:40～12:10	解説 4	<p>【授業の一般目標】 平常試験 4 についての解説講義を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ホルモンの種類と役割を説明できる。 2. ホルモンによる血糖値・血漿カルシウム濃度の調節を説明できる。 3. 腎臓における体液調節を説明できる。 4. 唾液の分泌調節を説明できる。 5. 食物の消化・吸収過程を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 自身の解答を把握しておくこと。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ソ 唾液分泌</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 C-2-3)-(8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *④唾液の性状と役割を説明できる。【構成成分とその機能を含む。】 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】</p>	吉垣 純子 横山 愛

組織・発生学

年次	学期	学則科目責任者
2年次	通年	岡田 裕之 (解剖学Ⅱ)

学習目標 (G I O)	<p>人体ならびに口腔を構成する器官の組織構造を理解する。 各器官の特徴を説明できるようにする。 構造と機能の関係を理解する。 人体の発生および歯の発生に出現する組織構造を理解し、発生機序を説明できるようにする。</p>
担当教員	<p>岡田 裕之、玉村 亮、鈴木 久仁博、※寒河江 登志朗、※阿部 達彦、※新美 寿英、※山本 仁、※赤石 茂、※老沼 博一、※菊地 亮、※佐藤 由紀江、※鈴木 仙一、※須藤 智子、※添田 博充、※高木 弘雄、※高橋 由里代、※田中 譲治、※千坂 英輝、※寺嶋 哲生、※早川 雅秀、※平山 勝憲、※星野 和正、※本田 知久、※三島 弘幸、※山本 正昭、※湯澤 浩樹</p>
教科書	<p>入門組織学 牛木辰男 南江堂 カラー エッセンシャル 口腔組織・発生学 高野吉郎 (監訳) 西村書店</p>
参考図書	<p>標準組織学 総論・各論 藤田尚男, 藤田恒夫 医学書院 Ten Cate 口腔組織学 川崎堅三 (監訳) 医歯薬出版 カラーアトラス口腔組織発生学 川崎堅三 わかば出版 ガートナー/ ハイアット組織学アトラス 松村譲児 (訳) メディカルサイエンスインターナショナル ムーア人体発生学 瀬口春道 (訳) 医歯薬出版 ラングマン人体発生学 安田峯生 (訳) メディカルサイエンスインターナショナル</p>
評価方法 (E V)	<p>【講義・実習】 講義・実習をそれぞれ1/5 以上欠席した場合、評価点は0 ~ 60 点とする。 講義：合格点 (4 回の平常試験の平均が60 点) に達しないものに対して再試験を行うこともあるが、講義を1/5 以上欠席した場合には再試験の受験資格を与えない。 実習：2 回の実習試験 (各40 点, 合計80 点) に各回の小テストおよび実習帳 (合計20 点) を加え、判定する。 実習試験において、合格点 (2 回の実習試験の平均が60 点) に達しないものに対しては再実習試験 (追実習試験を含む) を行うこともあるが、実習を1/5 以上欠席した場合には再実習試験の受験資格を与えない。 【最終評価】 最終評価は、講義 (50%)、実習 (50%) の割合とする。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>限られた授業時間を有効に活用するために予習復習を充分にすること。 理解の程度を確かめるために、授業で学生へ問いかけをする。 随時、講義ノート提出をすることでノートの整理をこまめに行うこと。 授業時に分からないことがあればその場で積極的に質問することが望まれる。 授業時以外の質問などはhistology.nusdm@gmail.com へメールで問い合わせるか、教員とアポイントをとること。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04 (金) 1時限 09:00~10:30	<p>組織学総論 細胞 1 細胞 2</p>	<p>【授業の一般目標】 細胞の構成要素・成分を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 人体の階層的構造と組織学の範疇および組織学的研究方法 (標本作製から観察まで) が説明できる。 2. 生命を構成する基本物質が説明できる。 3. 細胞の核の構造と機能が説明できる。 4. 遺伝子の構造と機能および遺伝の基本的機序が説明できる。 5. 細胞膜の構造と機能が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 細胞の構成要素・成分を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-3) 細胞の構造と機能 *①細胞膜、核および細胞内小器官の構造と機能を説明できる。 *②細胞の分泌と吸収機構を説明できる。</p>	<p>岡田 裕之 鈴木 久仁博</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04 (金) 1時限 09:00～10:30	組織学総論 細胞1 細胞2	C-1-2) 遺伝子と遺伝 *①遺伝子 (染色体) の構造とセントラルドグマを説明できる。	岡田 裕之 鈴木 久仁博
2014/04/04 (金) 2時限 10:40～12:10	細胞3 上皮・腺1	<p>【授業の一般目標】 上皮の分類、構成要素・成分を理解する。 腺の分類と構成要素を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 人体の階層的構造と組織学の範疇および組織学的研究方法 (標本作製から観察まで) が説明できる。 2. 細胞内小器官の構造と機能が説明できる。 3. 細胞骨格を説明できる。 4. 細胞の接着装置と表面形態の構造と機能が説明できる。 5. 細胞周期と細胞分裂を説明できる。 6. 細胞死の基本的機序を説明できる。 7. 組織分類が説明できる。 8. 上皮組織の形態的分類と機能的分類が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 上皮の分類、構成要素・成分を列挙できる。 腺の分類と構成要素を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織) d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-3) 細胞の構造と機能 *③細胞周期と細胞分裂を説明できる。 *④細胞死 (壊死とアポトーシス) の基本的機序を説明できる。 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *①上皮を形態的および機能的に分類できる。 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 *③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。</p>	鈴木 久仁博 岡田 裕之
2014/04/04 (金) 3時限 13:00～14:30	上皮・腺2	<p>【授業の一般目標】 人体を構成する組織を理解する。 上皮組織の形態学的分類と機能的分類を理解する。 上皮組織の形態学的分類と存在部位を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 組織分類が説明できる。 2. 上皮組織の形態的分類と機能的分類が説明できる。 3. 上皮組織の形態的分類と存在部位が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 人体を構成する組織を列挙できる。 上皮組織の形態学的分類と機能的分類を列挙できる。 上皮組織の形態学的分類と存在部位を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *①上皮を形態的および機能的に分類できる。 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 *③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。</p>	岡田 裕之
2014/04/04 (金) 4時限	実習説明 顕微鏡・標本の取	<p>【授業の一般目標】 スライド標本の取り扱い方・顕微鏡観察・スケッチの方法を理解する。</p>	岡田 裕之 玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
14:40~16:10	扱説明 細胞	<p>細胞の基本構造を理解する。 細胞分裂を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細胞の核、細胞膜および細胞内小器官の基本構造を説明できる。 2. 細胞分裂像を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 スライド標本の取り扱い方・顕微鏡観察・スケッチの方法を列挙できる。 細胞の基本構造を列挙できる。 細胞分裂各期を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織) d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-3) 細胞の構造と機能 *①細胞膜、核および細胞内小器官の構造と機能を説明できる。 *③細胞周期と細胞分裂を説明できる。</p>	鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 中田 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/04/11 (金) 1時限 09:00~10:30	上皮・腺3 結合組織1	<p>【授業の一般目標】 上皮組織の形態的分類および存在部位を理解する。 結合組織の細胞成分、線維成分および基質を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 上皮から腺の発生を説明できる。 2. 外分泌腺と内分泌腺を説明できる。(内分泌腺の詳細については5月に講義する。) 3. 結合組織の細胞成分、線維成分および基質を説明できる。 4. 膠原線維、弾性線維を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 上皮組織の形態的分類および存在部位を列挙できる。 結合組織の細胞成分、線維成分および基質を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *①上皮を形態的および機能的に分類できる。 *③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。 *④結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。</p>	岡田 裕之 寒河江 登志朗
2014/04/11 (金) 2時限 10:40~12:10	結合組織2 皮膚・付属器	<p>【授業の一般目標】 結合組織の細胞成分、線維成分、基質を理解する。 皮膚の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 結合組織の分類が説明できる。 2. 疎性結合組織と密性結合組織を説明できる。 3. 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 4. 皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。 5. 毛、脂腺および汗腺の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 結合組織の細胞成分、線維成分、基質を列挙できる。 皮膚の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p>	寒河江 登志朗 玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/11 (金) 2時限 10:40～12:10	結合組織 2 皮膚・付属器	<p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 オ 上皮組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *①上皮を形態的および機能的に分類できる。 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 *④結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。</p>	寒河江 登志朗 玉村 亮
2014/04/11 (金) 3時限 13:00～14:30	軟骨組織 1	<p>【授業の一般目標】 軟骨の種類、構造、細胞成分および基質成分を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 軟骨の種類、構造、細胞成分および基質成分が説明できる。 2. 硝子軟骨、弾性軟骨および線維軟骨の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 軟骨の種類、構造、細胞成分および基質成分が列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *⑤硝子軟骨、弾性軟骨および線維軟骨の特徴を説明できる。</p>	玉村 亮
2014/04/11 (金) 4時限 14:40～16:10	上皮組織	<p>【授業の一般目標】 上皮の形態学的分類を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 体表・体腔・臓器を覆う上皮組織の種類と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 上皮の形態学的分類を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *①上皮を形態的および機能的に分類できる。 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/04/18 (金) 1時限 09:00～10:30	軟骨組織 2 骨組織 1	<p>【授業の一般目標】 軟骨の種類、構造、細胞成分および基質成分を理解する。 骨の構造と機能を理解する。</p>	玉村 亮 岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/18 (金) 1時限 09:00～10:30	軟骨組織 2 骨組織 1	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 軟骨の発生が説明できる。 骨の構造と機能が説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>軟骨の種類、構造、細胞成分および基質成分が列挙できる。 骨の構造と機能を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *⑤硝子軟骨、弾性軟骨および線維軟骨の特徴を説明できる。 *⑥内軟骨性骨化と膜内骨化の機序と成長様式を説明できる。 *⑦硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。</p>	玉村 亮 岡田 裕之
2014/04/18 (金) 2時限 10:40～12:10	骨組織 2 血液・防衛系 1	<p>【授業の一般目標】</p> <p>骨髄の構造と機能を理解する。 血液の構成成分および機能を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 骨の発生が説明できる。 骨の改造現象と全身および局所因子による調節機構を概説できる。 血液の構成成分および機能を説明できる。 血漿と血清を説明できる。 血球の種類、構造および機能を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>骨髄の構造と機能を列挙できる。 血液の構成成分および機能を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 *②骨の基本構造と結合様式を説明できる。 *③骨の改造現象と全身および局所因子による調節機構を概説できる。</p>	岡田 裕之 鈴木 久仁博
2014/04/18 (金) 3時限 13:00～14:30	血液・防衛系 2	<p>【授業の一般目標】</p> <p>造血器の種類、構造および機能を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 造血器の種類、構造および機能を説明できる。 赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 血球の発生を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>造血器の種類、構造および機能を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p>	鈴木 久仁博

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/18 (金) 3時限 13:00~14:30	血液・防衛系 2	<p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織（上皮組織、支持組織（血液を含む）、筋組織、神経組織）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(11) 血液、造血器、リンパ性器官 *②造血器を説明できる。 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。</p>	鈴木 久仁博
2014/04/18 (金) 4時限 14:40~16:10	血管 皮膚	<p>【授業の一般目標】 血管および皮膚の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 血管（動脈、静脈、毛細血管および心臓）とリンパ管の種類、組織構造および機能を説明できる。 2. 皮膚と皮膚の付属物の組織構造、部位的变化および機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 血管および皮膚の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織（上皮組織、支持組織（血液を含む）、筋組織、神経組織）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫（自然免疫、獲得免疫）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(1) 組織（上皮組織、結合組織、筋組織）【神経組織の構造と機能はC-2-3)-(5) 神経系の項を参照】 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 謙治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 野田 知久 本 弘幸 三島 正昭 山本 浩樹 湯澤
2014/04/25 (金) 1時限 09:00~10:30	筋組織 1 筋組織 2	<p>【授業の一般目標】 筋の種類、構造および機能を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 筋の種類、構造および機能を説明できる。 2. 骨格筋の構造と機能を説明できる。 3. 筋の神経支配を説明できる。 4. 運動終板および筋紡錘を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 筋の種類、構造および機能を列挙できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織（上皮組織、支持組織（血液を含む）、筋組織、神経組織）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 キ 筋組織 ク 神経組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学</p>	新美 寿英 岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/25 (金) 1時限 09:00～10:30	筋組織 1 筋組織 2	C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *⑧筋組織の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (2) 運動器系 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】	新美 寿英 岡田 裕之
2014/04/25 (金) 2時限 10:40～12:10	神経組織 1 神経組織 2	【授業の一般目標】 神経組織の構成を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 神経組織の構成を説明できる。 2. 神経単位 (ニューロン) および神経線維を説明できる。 3. 神経膠 (グリア) の構造と機能を説明できる。 4. 髄鞘 (ミエリン鞘) とシュワン鞘を説明できる。 5. シナプスにおける興奮伝達を概説できる。 6. 神経節を説明できる。 【準備学習項目】 神経組織の構成を列挙できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ク 神経組織 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 *②末梢神経系の機能分類 (体性神経系と自律神経系) を説明できる。 *③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】	岡田 裕之
2014/04/25 (金) 3時限 13:00～14:30	中枢組織 1	【授業の一般目標】 脊髄と脳の基本的構造を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 脊髄と脳の基本的構造と機能局在を説明できる。 【準備学習項目】 脊髄と脳の基本的構造を列挙できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ク 神経組織 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】	鈴木 久仁博
2014/04/25 (金) 4時限 14:40～16:10	骨組織	【授業の一般目標】 骨の種類と分布を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 骨の種類、組成、基本構造、機能および分布を説明できる。 2. 軟骨内骨化および膜内骨化を説明できる。 3. 骨の改造を説明できる。 4. 骨髄の構成要素について説明できる。	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/25 (金) 4時限 14:40～16:10	骨組織	<p>【準備学習項目】 骨の種類と分布を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *⑥内軟骨性骨化と膜内骨化の機序と成長様式を説明できる。 C-2-3) - (2) 運動器系 *②骨の基本構造と結合様式を説明できる。 *③骨の改造現象と全身および局所因子による調節機構を概説できる。</p>	老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/05/09 (金) 1時限 09:00～10:30	中枢組織 2 循環器 1	<p>【授業の一般目標】 脳の基本的構造を理解する。 心臓の構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 脊髄の基本的構造と機能を説明できる。 2. 脳膜および髄膜を説明できる。 3. 脳脊髄液を説明できる。 4. 血液脳関門を説明できる。 5. 心臓の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 脳の基本的構造を列挙できる。 心臓の構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> エ 循環器系<脈管系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】</p>	鈴木 久仁博 岡田 裕之
2014/05/09 (金) 2時限 10:40～12:10	循環器 2 消化管 1	<p>【授業の一般目標】 動脈、毛細血管および静脈の構造を理解する。 消化管の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。 2. リンパ管およびリンパ節の構造と機能を説明できる。 3. 消化管 (食道、胃、小腸および大腸) の基本構造と機能を説明できる。 4. 消化管付属腺の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 動脈、毛細血管および静脈の構造を列挙できる。 消化管の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p>	岡田 裕之 寒河江 登志朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/09 (金) 2時限 10:40~12:10	循環器2 消化管1	講義 【場所(教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系> イ 消化器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(3) 循環器系 *③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 C-2-3)-(6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】	岡田 裕之 寒河江 登志朗
2014/05/09 (金) 3時限 13:00~14:30	消化管2	【授業の一般目標】 食道と胃の構造、およびそれらに附属する腺の構造を理解する。 胃腺の構造を理解する。 小腸、大腸、直腸および肛門の構造を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 食道および胃の構造と機能を説明できる。 2. 胃腺の構造を説明できる。 3. 小腸、大腸、直腸および肛門の構造と機能を説明できる。 4. 腹腔臓器を説明できる。 【準備学習項目】 食道と胃の構造、およびそれらに附属する腺の構造を列挙できる。 胃腺の構造を列挙できる。 小腸、大腸、直腸および肛門の構造を列挙できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 *③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。	寒河江 登志朗 岡田 裕之
2014/05/09 (金) 4時限 14:40~16:10	軟骨組織	【授業の一般目標】 軟骨の種類と分布を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 軟骨の種類(硝子、線維および弾性軟骨)、組成、組織構造、分布、機能および発生を説明できる。 【準備学習項目】 軟骨の種類と分布を列挙できる。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織(血液を含む)、筋組織、神経組織)	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 讓治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 秀秀 平山 勝憲 星野 和正

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/09 (金) 4時限 14:40～16:10	軟骨組織	<p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *⑤硝子軟骨、弾性軟骨および線維軟骨の特徴を説明できる。</p>	本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/05/16 (金) 1時限 09:00～10:30	消化腺 1 消化腺 2	<p>【授業の一般目標】 肝臓の構造を理解する。 膵臓の構造を理解する。 胆嚢の構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 肝臓の構造と機能、および胆汁の分泌を説明できる。 2. 膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。 3. 胆嚢の構造と機能を説明できる。 4. 胆汁と膵液の排出経路の構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 肝臓の構造を列挙できる。 膵臓の構造を列挙できる。 胆嚢の構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 *③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。</p>	岡田 裕之
2014/05/16 (金) 2時限 10:40～12:10	呼吸器 1 呼吸器 2	<p>【授業の一般目標】 気道系の構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 気道系 (鼻腔および副鼻腔) の構造と機能を説明できる。 2. 気道系 (肺内気管支および肺胞) の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 気道系の構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/16 (金) 2時限 10:40～12:10	呼吸器 1 呼吸器 2	C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】	玉村 亮
2014/05/16 (金) 3時限 13:00～14:30	内分泌 1	【授業の一般目標】 内分泌の構造を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 内分泌の基本構造を説明できる。 2. 視床下部-下垂体系の構造と機能を説明できる。 3. 松果体、甲状腺および上皮小体の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 内分泌の構造を列挙できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】	新美 寿英 岡田 裕之
2014/05/16 (金) 4時限 14:40～16:10	筋組織 神経組織	【授業の一般目標】 筋および神経組織の種類を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 横紋筋、心筋、平滑筋の組織構造、機能および分布を説明できる。 2. 神経組織の構成要素、構造、機能および分布を説明できる。 【準備学習項目】 筋および神経組織の種類を列挙できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 キ 筋組織 ク 神経組織 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *⑧筋組織の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 *②末梢神経系の機能分類 (体性神経系と自律神経系)を説明できる。 *③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 謙治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/05/23 (金) 1時限 09:00～10:30	内分泌 2 泌尿器 1	【授業の一般目標】 内分泌の構造を理解する。 泌尿器系の構造を理解する。	新美 寿英 岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	内分泌2 泌尿器1	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 副腎、睪丸および性腺の構造と機能を説明できる。 2. 腎臓、肝臓および胸腺の内分泌を説明できる。 3. 消化管内分泌を説明できる。 4. 泌尿器系の構造と機能を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>内分泌の構造を列挙できる。 泌尿器系の構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系） 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系 ケ 内分泌系</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3 身体を構成する組織、器官 C-2-3-(8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】 C-2-3-(9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路（尿管、膀胱、尿道）の構造と機能を説明できる。</p>	新美 寿英 岡田 裕之
2014/05/23（金） 2時限 10:40～12:10	泌尿器2 生殖器1	<p>【授業の一般目標】</p> <p>泌尿器系の構造を理解する。 男性生殖器の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 泌尿器系の構造と機能を説明できる。 2. 男性生殖器（精巣、輸精路、付属腺）の組織構造と機能を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>泌尿器系の構造を列挙できる。 男性生殖器の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系） 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系 カ 生殖器系</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3 身体を構成する組織、器官 C-2-3-(9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路（尿管、膀胱、尿道）の構造と機能を説明できる。 C-2-3-(10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】</p>	岡田 裕之 鈴木 久仁博
2014/05/23（金） 3時限 13:00～14:30	生殖器2	<p>【授業の一般目標】</p> <p>女性生殖器の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p>	鈴木 久仁博

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/23 (金) 3時限 13:00～14:30	生殖器2	<p>1. 女性生殖器（卵巣，輸卵管，付属腺）の組織構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 女性生殖器の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 カ 生殖器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】</p>	鈴木 久仁博
2014/05/23 (金) 4時限 14:40～16:10	血球・防御系 内分泌器官・組織・細胞	<p>【授業の一般目標】 血液の組成と血球の種類を理解する。 生体防御系に属する器官・組織・細胞を理解する。 内分泌器官・組織・細胞および内分泌中枢の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 液状組織である血液の組成，血球の種類，組織構造および機能を説明できる。 2. 造血器の種類，構造および機能を説明できる。 3. 造血の場の推移を説明できる。 4. 生体防御系に属する器官・組織・細胞の種類，組織構造および機能を説明できる。 5. 内分泌器官・組織・細胞と内分泌中枢の組織構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 血液の組成と血球の種類を列挙できる。 生体防御系に属する器官・組織・細胞を列挙できる。 内分泌器官・組織・細胞および内分泌中枢の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系） 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (11) 血液、造血器、リンパ性器官 *①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 *②造血器を説明できる。 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 C-2-3) - (8) 内分泌系 *④各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 藤添 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 讓治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本島 知久 山本 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/05/30 (金) 1時限 09:00～10:30	前学期 平常試験 1	<p>【授業の一般目標】 平常試験期間 組織・発生学：10:00～の予定</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p>	岡田 裕之 玉村 亮
2014/05/30 (金)	同上	【学習方略（LS）】	岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:40～12:10	同上	講義 【場所（教室/実習室）】 102教室	玉村 亮
2014/05/30（金） 3時限 13:00～14:30	試験解説（平常試験1）	【授業の一般目標】 組織・発生学：13:00～の予定 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室	岡田 裕之
2014/05/30（金） 4時限 14:40～16:10	同上	【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室	岡田 裕之
2014/06/06（金） 1時限 09:00～10:30	感覚器1 感覚器2	【授業の一般目標】 視覚器および聴覚・平衡感覚器の構造を理解する。 嗅覚器と味覚器および深部感覚受容器の構造を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 視覚器および聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。 2. 嗅覚器と味覚器および深部感覚受容器の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 視覚器および聴覚・平衡感覚器の構造を列挙できる。 嗅覚器と味覚器および深部感覚受容器の構造を列挙できる。 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。	玉村 亮
2014/06/06（金） 2時限 10:40～12:10	発生概論 人体発生1 人体発生2	【授業の一般目標】 人体発生の概略を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 人体発生を説明できる。 2. 各器官系の発生を説明できる。 【準備学習項目】 人体発生の概略を列挙できる。 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 生殖、初期発生 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 胎芽期 ウ 胎児期 ケ 骨格・筋系<運動器系> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。	鈴木 久仁博

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/06 (金) 3時限 13:00~14:30	人体発生 3	<p>【授業の一般目標】 人体発生の概略を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 各器官系の発生を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 人体発生の概略を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 生殖、初期発生</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 ケ 骨格・筋系<運動器系></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。</p>	鈴木 久仁博
2014/06/06 (金) 4時限 14:40~16:10	消化管 1 食道~胃	<p>【授業の一般目標】 消化管，特に食道および胃の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 食物の消化・吸収にはたらく消化管 (狭義) (食道および胃) の組織構造と機能を説明できる。 2. 消化管の付属腺について説明できる。 3. 口から咽頭までは実習の後半の口腔組織で行う。</p> <p>【準備学習項目】 消化管，特に食道および胃の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論III 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 談治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/06/13 (金) 1時限 09:00~10:30	口腔組織学概論 象牙質・歯髄 1	<p>【授業の一般目標】 口腔組織学で扱う器官を理解する。 象牙質・歯髄複合体の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔組織学で扱う器官の基本を説明できる。 2. 骨や歯など硬組織の観察方法を説明できる。 3. 象牙質・歯髄複合体の構造と機能を説明できる。 4. 象牙質の非脱灰標本において観察できる構造を説明できる。 5. 象牙細管，透明象牙質および球間象牙質を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔組織学で扱う器官を列挙できる。 象牙質・歯髄複合体の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能</p>	岡田 裕之 玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/13 (金) 1時限 09:00～10:30	口腔組織学概論 象牙質・歯髄1	イ 口腔・顎顔面の構造・機能 a 口腔の構造 (口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口〔腔〕底、唾液腺、頬、口唇、口峽、歯列) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯 (乳歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 *④歯髄の構造と機能を説明できる。	岡田 裕之 玉村 亮
2014/06/13 (金) 2時限 10:40～12:10	象牙質・歯髄2 象牙質・歯髄3	【授業の一般目標】 象牙質の構造を理解する。 歯髄の構造を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 象牙質の構造と機能を説明できる。 2. 象牙質の脱灰標本において観察できる構造を説明できる。 3. 成長線および球間網を説明できる。 4. 象牙質の形成を説明できる。 5. 象牙質の加齢変化を説明できる。 6. 歯髄の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 象牙質の構造を列挙できる。 歯髄の構造を列挙できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯 (乳歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 *④歯髄の構造と機能を説明できる。	玉村 亮 山本 仁
2014/06/13 (金) 3時限 13:00～14:30	象牙質・歯髄4	【授業の一般目標】 歯髄の基本構造を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯髄の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 歯髄の基本構造を列挙できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯 (乳歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 *④歯髄の構造と機能を説明できる。	山本 仁 玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/13 (金) 4時限 14:40～16:10	消化管 2 小腸～肛門	<p>【授業の一般目標】 消化管，特に小腸および大腸の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 十二指腸，空腸，回腸，盲腸，結腸，直腸，肛門の組織構造と機能を説明できる。 2. 消化管の付属腺について説明できる。 3. 口から咽頭までは実習の後半の口腔組織で行う。</p> <p>【準備学習項目】 消化管，特に小腸および大腸の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本三島 知久 山本 弘幸 湯澤 正昭 浩樹
2014/06/20 (金) 1時限 09:00～10:30	歯周組織 1 歯周組織 2	<p>【授業の一般目標】 歯周組織，特にセメント質および歯根膜の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周組織に含まれる構造を説明できる。 2. セメント質の構造と機能を説明できる。 3. 歯根膜の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周組織，特にセメント質および歯根膜の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成 (根尖歯周組織、辺縁歯周組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 オ セメント質 キ 歯根膜 <歯周靱帯></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯 (乳歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。</p>	岡田 裕之
2014/06/20 (金) 2時限 10:40～12:10	歯周組織 3 歯周組織 4	<p>【授業の一般目標】 歯槽骨および歯肉の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯槽骨の構造と機能を説明できる。 2. 歯肉の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯槽骨および歯肉の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能</p>	岡田 裕之 玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/20 (金) 2時限 10:40～12:10	歯周組織 3 歯周組織 4	ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成(根尖歯周組織、辺縁歯周組織) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ク 歯槽骨 カ 歯肉 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯(乳歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。	岡田 裕之 玉村 亮
2014/06/20 (金) 3時限 13:00～14:30	歯周組織 5	【授業の一般目標】 口腔粘膜の基本構造を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 口腔粘膜の構造と機能を説明できる。 2. 歯周組織の改変および加齢変化を説明できる。 【準備学習項目】 口腔粘膜の基本構造を列挙できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 a 口腔の構造(口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口(腔)底、唾液腺、頬、口唇、口峽、歯列) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯(乳歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。	玉村 亮
2014/06/20 (金) 4時限 14:40～16:10	消化腺 1 肝臓 胆嚢	【授業の一般目標】 肝臓および胆嚢の基本構造を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 消化液を産生する肝臓の組織構造と機能を説明できる。 2. 消化液を貯留する胆嚢の組織構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 肝臓および胆嚢の基本構造を列挙できる。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系(骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(6) 消化器系 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 *③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 謙治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/06/27 (金) 1時限 09:00～10:30	エナメル質 1 エナメル質 2	【授業の一般目標】 エナメル質の基本構造を理解する。 エナメル質の成長線を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. エナメル質の構造、組成および機能を説明できる。 2. エナメル小柱と小柱の走行構造を説明できる。 3. エナメル質の成長線を説明できる。 4. エナメル葉、エナメル叢およびエナメル紡錘を説明できる。	寒河江 登志朗 岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/27 (金) 1時限 09:00～10:30	エナメル質1 エナメル質2	<p>5. 周波条を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エナメル質の基本構造を列挙できる。 エナメル質の成長線を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯 (乳歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】</p>	寒河江 登志朗 岡田 裕之
2014/06/27 (金) 2時限 10:40～12:10	エナメル質3 顎関節	<p>【授業の一般目標】 エナメル質の加齢変化を理解する。 顎関節の構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. エナメル質の改変および加齢変化を説明できる。 2. 顎関節の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エナメル質の加齢変化を列挙できる。 顎関節の構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 h 顎関節の構成 (下顎頭、下顎窩、関節円板、関節包、関節結節、靭帯) 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 サ 顎関節 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *⑤顎関節の構造と機能を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯 (乳歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】</p>	寒河江 登志朗 岡田 裕之
2014/06/27 (金) 3時限 13:00～14:30	口蓋	<p>【授業の一般目標】 口蓋の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口蓋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口蓋の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能</p>	岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/27 (金) 3時限 13:00～14:30	口蓋	<p>a 口腔の構造 (口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口 {腔} 底、唾液腺、頬、口唇、口峽、歯列)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 ウ 口蓋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】</p>	岡田 裕之
2014/06/27 (金) 4時限 14:40～16:10	消化腺 2 膵臓 呼吸器	<p>【授業の一般目標】 消化腺の膵臓、および呼吸器の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 消化液を産生する膵臓の組織構造と機能を説明できる。 2. 呼吸器系 (鼻腔、副鼻腔、咽頭、気管および肺) の組織構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 消化腺の膵臓および呼吸器の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 ウ 呼吸器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系 (鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支) の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 由紀江 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/07/04 (金) 1時限 09:00～10:30	口腔粘膜 唾液腺 1 唾液腺 2	<p>【授業の一般目標】 唾液腺、特に耳下腺、顎下腺および舌下腺の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 唾液腺の基本構造を説明できる。 2. 大唾液腺である耳下腺、顎下腺および舌下腺の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 唾液腺、特に耳下腺、顎下腺および舌下腺の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 カ 唾液腺</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。</p>	岡田 裕之
2014/07/04 (金) 2時限	口腔粘膜 唾液腺 3	<p>【授業の一般目標】 小唾液腺の基本構造を理解する。</p>	岡田 裕之 阿部 達彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40~12:10	舌	<p>舌の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 小唾液腺の構造と機能を説明できる。 舌および舌乳頭の構造と機能を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>小唾液腺の基本構造を列挙できる。 舌の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 カ 唾液腺</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 エ 舌</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *②舌の構造と機能を説明できる。 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】</p>	岡田 裕之 阿部 達彦
2014/07/04 (金) 3時限 13:00~14:30	口唇 扁桃	<p>【授業の一般目標】</p> <p>口唇および扁桃の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 口唇および扁桃の構造と機能を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>口唇および扁桃の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 ク 口唇</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 ケ 口唇</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】</p>	阿部 達彦 岡田 裕之
2014/07/04 (金) 4時限 14:40~16:10	泌尿器 生殖器	<p>【授業の一般目標】</p> <p>泌尿器の基本構造を理解する。 生殖器の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 泌尿器系 (腎臓、尿管、膀胱および尿道) の組織構造と機能を説明できる。 生殖器系 (男性生殖器: 精巣, 女性生殖器: 卵巣) の組織構造と機能を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>泌尿器の基本構造を列挙できる。 生殖器の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/04 (金) 4時限 14:40~16:10	泌尿器 生殖器	<p>歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 カ 生殖器系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 藤添 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 讓治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/07/11 (金) 1時限 09:00~10:30	口腔領域の加齢変化 顔面の発生 1	<p>【授業の一般目標】 口腔組織の加齢変化を理解する。 歯の発生の概略を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔組織の加齢変化を説明できる。 2. 舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 3. 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を説明できる。 4. 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔組織の加齢変化を列挙できる。 歯の発生の概略を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化 ア 形態的变化</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化 i 口腔粘膜の変化 j 唾液腺の変化 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 b 上顎骨・下顎骨の成長発育の特徴</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 イ 顎、口蓋 ウ 舌 エ 唾液腺 オ 顎関節</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 *②一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。</p>	岡田 裕之 新美 寿英
2014/07/11 (金) 2時限 10:40~12:10	顔面の発生 2 歯の発生 1	<p>【授業の一般目標】 口腔・頭蓋・顎顔面領域における発生を理解する。 歯の発生を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常 (不正咬合) を説明できる。 2. 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。 3. 蕾状期歯胚および帽状期歯胚を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔・頭蓋・顎顔面領域における発生の概略を列挙できる。 歯の発生の概略を列挙できる。</p>	新美 寿英 岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/11 (金) 2時限 10:40～12:10	顔面の発生2 歯の発生1	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育 (歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 ア 顔面 カ 歯の形成・萌出</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 *②一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。</p>	新美 寿英 岡田 裕之
2014/07/11 (金) 3時限 13:00～14:30	歯の発生2	<p>【授業の一般目標】 歯胚、歯の形成および歯の萌出を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 鐘状期歯胚および石灰化期歯胚を説明できる。 2. 歯の萌出とその後の変化を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯胚、歯の形成および歯の萌出の概略を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 カ 歯の形成・萌出</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】</p>	岡田 裕之
2014/07/11 (金) 4時限 14:40～16:10	感覚器 指尖	<p>【授業の一般目標】 感覚器の基本構造を理解する。 指尖の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 感覚器の眼球および蝸牛の組織構造と機能を説明できる。 2. 指尖の組織構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 感覚器の基本構造を列挙できる。 指尖の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譚治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 星野 勝憲 山本 和正 三島 知久 山本 弘幸 湯澤 正昭 浩樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/11 (金) 4時限 14:40～16:10	感覚器 指尖	歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。 *①皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 藤添 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 讓治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/07/18 (金) 1時限 09:00～10:30	実習試験 1 (一般 組織学)	【授業の一般目標】 顕微鏡を用いた一般組織学の実習試験を行う。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英
2014/07/18 (金) 2時限 10:40～12:10	兼任講師による臨 床関連のまとめ講 義	【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室	岡田 裕之 菊地 亮 鈴木 仙一 田中 讓治 早川 雅秀 平山 勝憲
2014/07/18 (金) 3時限 13:00～14:30	同上	【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室	岡田 裕之 菊地 亮 鈴木 仙一 田中 讓治 早川 雅秀 平山 勝憲
2014/07/18 (金) 4時限 14:40～16:10	同上	【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室	岡田 裕之 菊地 亮 鈴木 仙一 田中 讓治 早川 雅秀 平山 勝憲
2014/09/12 (金) 1時限 09:00～10:30	前学期 平常試験 2	【授業の一般目標】 平常試験期間 組織・発生学: 10:00 ~の予定 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室	岡田 裕之 玉村 亮
2014/09/12 (金) 2時限 10:40～12:10	同上	【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室	岡田 裕之 玉村 亮
2014/09/12 (金) 3時限 13:00～14:30	試験解説 (平常試 験 2)	【授業の一般目標】 試験解説: 13:00 ~の予定 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室	岡田 裕之
2014/09/12 (金) 4時限 14:40～16:10	同上	【授業の一般目標】 但し、必要がある時は追・再試験を9/24 (水) -26 (金) に行うことがある。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室	岡田 裕之
2014/10/01 (水) 3時限 13:00～14:30	歯の研磨標本作製 1	【授業の一般目標】 顕微鏡観察用の歯の研磨標本の作製方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/01 (水) 3時限 13:00～14:30	歯の研磨標本作製 1	<p>1. 顕微鏡観察用の歯の研磨標本を作製できる。 2. 作製を通して歯の形態と構造・組織ごとの部位的な硬さの変化を実体験し、説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顕微鏡観察用の歯の研磨標本の作製方法を列挙できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質 エ 象牙質・歯髄複合体 オ セメント質</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 *③歯（乳歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】</p>	阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/10/01 (水) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p>	岡田 裕之 田村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/10/08 (水) 3時限 13:00～14:30	歯の研磨標本作製 2	<p>【授業の一般目標】 顕微鏡観察用の歯の研磨標本の作製方法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顕微鏡観察用の歯の研磨標本を作製できる。 2. 作製を通して歯の形態と構造・組織ごとの部位的な硬さの変化を実体験し、説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顕微鏡観察用の歯の研磨標本の作製方法を列挙できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質 エ 象牙質・歯髄複合体 オ セメント質</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能</p>	岡田 裕之 田村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/08 (水) 3時限 13:00~14:30	歯の研磨標本作製 2	*②歯種別の形態と特徴を説明できる。 *③歯(乳歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 嶋川 雅秀 早川 勝憲 平山 和正 野田 知久 本島 弘幸 三山 正昭 本湯 浩樹
2014/10/08 (水) 4時限 14:40~16:10	同上	【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 嶋川 雅秀 早川 勝憲 平山 和正 野田 知久 本島 弘幸 三山 正昭 本湯 浩樹
2014/10/15 (水) 3時限 13:00~14:30	象牙質・歯髄1	【授業の一般目標】 象牙質と歯髄の構造を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 象牙質と歯髄の構造を説明できる。 2. 硬組織である象牙質を非脱灰標本で観察し、構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 象牙質と歯髄の構造を列挙できる。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯(乳歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 *④歯髄の構造と機能を説明できる。	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 嶋川 雅秀 早川 勝憲 平山 和正 野田 知久 本島 弘幸 三山 正昭 本湯 浩樹
2014/10/15 (水) 4時限 14:40~16:10	同上	【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/15 (水) 4時限 14:40~16:10	同上	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p>	赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 野和 正久 本島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/10/22 (水) 3時限 13:00~14:30	象牙質・歯髄2	<p>【授業の一般目標】 象牙質と歯髄の構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 象牙質と歯髄の構造を説明できる。 2. 歯を脱灰標本で観察し、歯髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 象牙質と歯髄の構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯 (乳歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 *④歯髄の構造と機能を説明できる。</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 野和 正久 本島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/10/22 (水) 4時限 14:40~16:10	同上	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 野和 正久 本島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/10/29 (水) 3時限 13:00~14:30	セメント質 歯根膜	<p>【授業の一般目標】 セメント質と歯根膜の構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周組織のセメント質および歯根膜の組織構造、細胞成分、線維成分および機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 セメント質と歯根膜の構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/29 (水) 3時限 13:00~14:30	セメント質 歯根膜	第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成(根尖歯周組織、辺縁歯周組織) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 オ セメント質 キ 歯根膜 <歯周靭帯> 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯(乳歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。	高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/10/29 (水) 4時限 14:40~16:10	同上	【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/11/05 (水) 3時限 13:00~14:30	歯槽骨	【授業の一般目標】 歯槽骨の構造を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯周組織である歯槽骨の組織構造、細胞成分、線維成分および機能を説明できる。 2. 歯の交換期に出現する破歯細胞の構造と機能を説明できる。 【準備学習項目】 歯槽骨の構造を列挙できる。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成(根尖歯周組織、辺縁歯周組織) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ク 歯槽骨 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/11/05 (水) 4時限 14:40~16:10	同上	【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/05 (水) 4時限 14:40～16:10	同上	【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室	鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/11/12 (水) 3時限 13:00～14:30	歯肉	【授業の一般目標】 歯肉の構造を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周組織である歯肉の組織構造, 細胞成分, 線維成分および機能を説明できる。 【準備学習項目】 歯肉の構造を列挙できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成 (根尖歯周組織、辺縁歯周組織) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 カ 歯肉 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 須藤 仙一 添田 智子 高木 博充 高橋 弘雄 田中 由里代 千坂 譲治 寺嶋 英輝 早川 哲生 平山 雅秀 星野 勝憲 本田 和正 三島 知久 山本 弘幸 湯澤 正昭 浩樹
2014/11/12 (水) 4時限 14:40～16:10	同上	【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 須藤 仙一 添田 智子 高木 博充 高橋 弘雄 田中 由里代 千坂 譲治 寺嶋 英輝 早川 哲生 平山 雅秀 星野 勝憲 本田 和正 三島 知久 山本 弘幸 湯澤 正昭 浩樹
2014/11/19 (水) 3時限 13:00～14:30	後学期 平常試験 1	【授業の一般目標】 平常試験期間 組織・発生学: 10:00 ~の予定 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室	岡田 裕之 玉村 亮
2014/11/19 (水) 4時限 14:40～16:10	試験解説 (平常試験 1)	【授業の一般目標】 試験解説: 15:00 ~の予定 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】	岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/19 (水) 4時限 14:40～16:10	試験解説 (平常試験1)	102教室	岡田 裕之
2014/11/26 (水) 3時限 13:00～14:30	エナメル質	<p>【授業の一般目標】 エナメル質の構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯冠をつくるエナメル質の組成, 組織構造および機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エナメル質の構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 *③歯 (乳歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 沼地 博一 老菊 亮 菊地 由紀江 藤木 仙一 鈴木 智子 須藤 博充 添田 博 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 坂 哲生 嶋川 雅秀 早川 勝憲 平山 和正 山本 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/11/26 (水) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 沼地 博一 老菊 亮 菊地 由紀江 藤木 仙一 鈴木 智子 須藤 博充 添田 博 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 坂 哲生 嶋川 雅秀 早川 勝憲 平山 和正 山本 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/12/03 (水) 3時限 13:00～14:30	口唇 口蓋 咽頭	<p>【授業の一般目標】 口唇, 口蓋および咽頭の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口唇の組織構造を説明できる。 2. 硬口蓋, 軟口蓋の組織構造を説明できる。 3. 咽頭の組織構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口唇, 口蓋および咽頭の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 ク 口唇</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 ウ 口蓋</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 沼地 博一 老菊 亮 菊地 由紀江 藤木 仙一 鈴木 智子 須藤 博充 添田 博 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 坂 哲生 嶋川 雅秀 早川 勝憲 平山 和正 山本 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/03 (水) 3時限 13:00~14:30	口唇 口蓋 咽頭	E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 *③口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/12/03 (水) 4時限 14:40~16:10	同上	【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/12/10 (水) 3時限 13:00~14:30	舌 唾液腺	【授業の一般目標】 舌と唾液腺の基本構造を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 味覚器であり咀嚼器である舌の組織構造と機能を説明できる。 2. 唾液腺 (耳下腺, 顎下腺, 舌下腺および小唾液腺) の構造および機能を説明できる。 【準備学習項目】 舌と唾液腺の基本構造を列挙できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 エ 舌 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 カ 唾液腺 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/10 (水) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 讓治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/12/17 (水) 3時限 13:00～14:30	初期発生 顔面の発生	<p>【授業の一般目標】 人体発生および顔面発生の基本構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 人体の発生 (器官形成) と顔面の発生 (形成) について組織構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 人体発生および顔面発生の基本構造を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育 (歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 ア 顔面 イ 顎、口蓋</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 *②一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 讓治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/12/17 (水) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 讓治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/17 (水) 4時限 14:40～16:10	同上	【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室	本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/12/24 (水) 3時限 13:00～14:30	歯の発生 1	【授業の一般目標】 歯の発生の基本構造の理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の発生 (口腔上皮の肥厚, 歯堤の形成, 蕾状期, 帽状期および鐘状期) の構造を説明できる。 【準備学習項目】 歯の発生の基本構造の概略を説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育 (歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 カ 歯の形成・萌出 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2014/12/24 (水) 4時限 14:40～16:10	同上	【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2015/01/14 (水) 3時限 13:00～14:30	歯の発生 2 加齢変化	【授業の一般目標】 歯の発生を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の発生 (口腔上皮の肥厚, 歯堤の形成, 蕾状期, 帽状期および鐘状期) の構造を説明できる。 【準備学習項目】 歯の発生の概略を説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育 (歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 カ 歯の形成・萌出	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/14 (水) 3時限 13:00～14:30	歯の発生2 加齢変化	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-2 人体の構造と機能</p> <p>C-2-2) 個体発生、器官発生</p> <p>*①個体発生と器官発生を概説できる。</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能</p> <p>*①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】</p> <p>*⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2015/01/14 (水) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第2実習室</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英 山本 仁 赤石 茂 老沼 博一 菊地 亮 佐藤 由紀江 鈴木 仙一 須藤 智子 添田 博充 高木 弘雄 高橋 由里代 田中 譲治 千坂 英輝 寺嶋 哲生 早川 雅秀 平山 勝憲 星野 和正 本田 知久 三島 弘幸 山本 正昭 湯澤 浩樹
2015/01/21 (水) 3時限 13:00～14:30	実習試験2 (口腔 組織学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>顕微鏡を用いた口腔組織学の実習試験を行う</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第2実習室</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英
2015/01/21 (水) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第2実習室</p>	岡田 裕之 玉村 亮 鈴木 久仁博 寒河江 登志朗 阿部 達彦 新美 寿英
2015/01/28 (水) 3時限 13:00～14:30	後学期 平常試験2	<p>【授業の一般目標】</p> <p>平常試験期間 (2月3, 5, 6, 9日)</p> <p>但し、必要が有る時は追・再試験を2/24 (火)～27 (金) に行うことがある。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p>	岡田 裕之 玉村 亮
2015/01/28 (水) 4時限 14:40～16:10	試験解説 (平常試 験2)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>平常試験期間 (2月3日～9日)</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p>	岡田 裕之

医療行動科学3

年次	学期	学則科目責任者
2年次	前学期	伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学習目標 (G I O)	<p>本講義は、医学・歯学の進歩、疾病構造と医療構造の変化、そして国民の保健・医療全般にわたる意識の向上と価値観の多様化などの社会状況の変化に十分対応するために必要な知識と医の倫理を身につけることにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の権利を熟知し、その現状と問題点を理解する。 ・医療・歯科医療および医学・歯学研究における倫理の重要性を理解する。 ・歯科医師の義務と責任に関する基本的な知識、態度および考え方を理解する。 ・患者本位の医療を実践するための適切な説明について理解する。 ・医療事故は日常的に起こりうる事を認識し、安全で信頼される医療の提供について理解する。 ・実際に医療事故やニアミスが発生した場合の対処の仕方を理解する。 ・適切な医療の要件とその評価方法について理解する。 ・社会状況の変化と医療の係わりを理解する。 ・日本の伝統的倫理 (宗教) について理解する。 ・日本人の死生観について理解する。
担当教員	伊藤 孝訓、遠藤 弘康、那須 郁夫、青木 伸一郎、※江口 正尊、※梅里 良正、※辻 典明
教科書	「歯科医療面接アートとサイエンス」 伊藤孝訓編著 砂書房 (第2版)
参考図書	入門・医療倫理 I 赤林 朗編集 (劉草書房) すぐに役立つ外来での患者対応学 飯島克巳 (永井書店) 歯科医療人間科学へのいざない 新庄文明, 山崎久美子, 俣木志朗 (医歯薬出版)
実習器材	なし
評価方法 (E V)	<p>講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)、制作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) する。</p> <p>平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。</p> <p>受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。</p> <p>授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0~60点とする。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>本講義は、歯科ではあまり遭遇しない生命倫理的問題を含む事例を医学部講師より提供されるため、十分に理解を深め、自らの倫理観を確立して頂きたい。そして、さらに他者の価値観を共感をもって受け入れ、尊重できる柔軟な心を養うよう取り組んで下さい。</p> <p>E-mail (shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/07 (月) 3時限 13:00~14:30	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために医療倫理学を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 本講義の意義、目的、講義、内容、学習の仕方を説明できる。 2. 他者との接し方、態度教育の必要性を説明できる。 3. 医療プロフェッショナリズムについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 医療系大学生の志について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利と義務</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *①患者との信頼関係を築くことができる。 *②個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 *④患者に最も適した医療を説明できる。</p>	伊藤 孝訓
2014/04/14 (月) 3時限 13:00~14:30	歯科医師の法的義務	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために歯科医師の法的義務を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 患者に対する歯科医師の法的義務を説明できる。 2. 健康の概念について説明できる。</p>	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/14 (月) 3時限 13:00~14:30	歯科医師の法的義務	<p>【準備学習項目】 歯科医療について説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 e 医療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 a 歯科医師法 b 歯科衛生士法 c 歯科技工士法</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 *①健康の概念を説明できる。 B-2 健康と社会、環境 B-2-1) 歯科医師法・関係法規 *①歯科医師法を概説できる。 *②医療法を概説できる。 *③歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。</p>	那須 郁夫
2014/04/21 (月) 3時限 13:00~14:30	患者の権利と尊厳	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために患者の権利と尊厳を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医の倫理と生命倫理の歴史的経過と諸問題を説明できる。 2. 医の倫理に関する規範・国際規範を説明できる。 3. 基本的人権の尊重について概説できる。 4. 患者が自己決定出来ない場合の対応を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 患者の望む医療者の態度について説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、リスボン宣言、ヒポクラテスの誓い イ 歯科医師と患者・家族との関係 c 自己決定権</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-1 患者の尊厳 *①患者の権利を説明できる。 *②患者の自己決定権を説明できる。 *③患者が自己決定ができない場合の対応を説明できる。 A-2 医の倫理 *①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 *②医の倫理に関する規範・国際規範 (ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等) を概説できる。</p>	伊藤 孝訓
2014/04/28 (月) 3時限 13:00~14:30	医療倫理実践のためのコミュニケーション① ー医療倫理の考え方	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために医療倫理の考え方を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. Jonsen の「臨床倫理の4分割法」を説明できる。 2. 倫理的課題について解決する方法を実践できる。 3. コンプライアンスの重要性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 基本的な問題解決法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項</p>	遠藤 弘康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/28 (月) 3時限 13:00～14:30	医療倫理実践のためのコミュニケーション① ー医療倫理の考え方ー	1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利と義務 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *①患者との信頼関係を築くことができる。 *②個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 *④患者に最も適した医療を説明できる。	遠藤 弘康
2014/05/12 (月) 3時限 13:00～14:30	医療倫理実践のためのコミュニケーション② ー他文化圏のインフォームド・コンセントー	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために他文化圏のインフォームド・コンセントに関する知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. ICの定義と重要性を説明できる。 2. 歯科医師の裁量権と患者の自己決定権について説明できる。 3. ICの法的義務について説明できる。 4. 患者説明を行うための適切な時期・環境を説明できる。 5. 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮する必要性について説明できる。 6. 医学と歯学の医療における違いを概説できる。 【準備学習項目】 インフォームド・コンセントについて説明できる。 【学習場所・媒体等】 シネエデュケーション「米国におけるIC」 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利と義務 c 自己決定権 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 *②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 *③説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 *④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 *⑤患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。	伊藤 孝訓
2014/05/19 (月) 3時限 13:00～14:30	歯科医師の責務と裁量権① ー医療と研究に関する倫理ー事例検討 SGD	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために倫理事例の検証法を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 医療と研究における倫理的問題を説明できる。 2. 自己決定権を尊重した医師-患者関係のあり方を説明できる。 3. 臨床倫理の考え方としての「臨床倫理の4分割表」について実践できる。 【準備学習項目】 動物や人体による研究を説明できる。 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 c 自己決定権 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン b 患者の権利と義務 【コアカリキュラム】 A 基本事項	辻 典明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/19 (月) 3時限 13:00～14:30	歯科医師の責務と裁量権① －医療と研究に関する倫理－事例検討 SGD	A-1 患者の尊厳 *②患者の自己決定権を説明できる。 *③患者が自己決定ができない場合の対応を説明できる。 A-6 生涯学習 A-6-2) 研究マインドの涵養 ①研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。	辻 典明
2014/05/26 (月) 3時限 13:00～14:30	平常試験 1	【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 102教室	伊藤 孝訓 遠藤 弘康
2014/06/02 (月) 3時限 13:00～14:30	歯科医師の責務と裁量権② －生と死に関する倫理－事例検討 SGD	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために生と死に関する倫理を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 尊厳死、安楽死における倫理的問題を説明できる。 2. ターミナル・ケア (終末期医療) について説明できる。 3. 癌の告知と患者心理について説明できる。 4. リビング・ウィル (生前発効遺言) について説明できる。 【準備学習項目】 患者の人権について説明できる。 【学習方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利と義務 c 自己決定権 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-1 患者の尊厳 *①患者の権利を説明できる。 *②患者の自己決定権を説明できる。 *③患者が自己決定ができない場合の対応を説明できる。 A-2 医の倫理 *③生と死に関わる倫理的問題を説明できる。	辻 典明
2014/06/09 (月) 3時限 13:00～14:30	医療における質の保証 －適切な医療と医療評価－	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために医療における質の保証を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 適切な医療に求められる要件について説明できる。 2. 医療の質の評価について説明できる。 3. 病院機能評価について概説できる。 【準備学習項目】 一般的な評価について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 e 医療危機管理 <リスクマネージメント> 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 ア 医療の質の確保 a 患者満足度 b 患者説明文書 c 診療録開示 d クリニカルパス イ 医療事故の防止 g 医療安全対策 (医薬品・医療機器の安全管理) 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 A-5-1) 安全性の確保 *②実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。 *③医療上の事故等を防止するには、個人の注意力はもとより組織的なリスク	梅里 良正

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/09 (月) 3時限 13:00~14:30	医療における質の保証 —適切な医療と医療評価—	管理が重要であることを説明できる。 *④医療現場における報告・連絡・相談および診療録記載の重要性について説明できる。 *⑤医療の安全性に関する情報(薬剤等の副作用、薬害や医療過誤等の事例(経緯を含む)、やっつけはいけないこと、優れた取組事例等)を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。 *⑥医療機関における医療安全管理体制の在り方(事故報告書、インシデントレポート、リスク管理者、事故防止委員会、事故調査委員会等)を概説できる。 ⑦医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。	梅里 良正
2014/06/16 (月) 3時限 13:00~14:30	歯科医師の責務と裁量権③ —歯科医療に関する倫理— 事例検討 S G D	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために歯科医師の責務と裁量権(歯科医療に関する倫理)を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯科医療施行の際にみられる倫理的葛藤の例を列挙できる。 2. 患者から求められる適切なICについて説明できる。 3. 適切な説明の仕方の条件を列挙できる。 4. 事例に応じたジレンマを整理する過程を概説できる。 【準備学習項目】 患者の人権と歯科医療について説明できる。 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利と義務 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療 イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン c 自己決定権 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-1 患者の尊厳 *①患者の権利を説明できる。 *②患者の自己決定権を説明できる。 *③患者が自己決定ができない場合の対応を説明できる。 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。	遠藤 弘康
2014/06/23 (月) 3時限 13:00~14:30	歯科医師の責務と裁量権④ —歯科医療に関する倫理— 事例検討 S G D	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために歯科医師の責務と裁量権(歯科医療に関する倫理)を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯科医療施行の際にみられる倫理的葛藤の例を列挙できる。 2. 患者から求められる適切なICについて説明できる。 3. 適切な説明の仕方の条件を列挙できる。 4. 事例に応じたジレンマを整理する過程を概説できる。 【準備学習項目】 患者の人権と歯科医療について説明できる。 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利と義務 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療 イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン c 自己決定権 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-1 患者の尊厳 *①患者の権利を説明できる。 *②患者の自己決定権を説明できる。 *③患者が自己決定ができない場合の対応を説明できる。 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。	遠藤 弘康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/23 (月) 3時限 13:00~14:30	歯科医師の責務と裁量権④ ー歯科医療に関する倫理ー 事例検討 S G D		遠藤 弘康
2014/06/30 (月) 3時限 13:00~14:30	医療倫理実践のためのコミュニケーション③ ー患者中心の医療と医療面接ー	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために医療倫理を重視した患者中心の医療と医療面接を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 患者・家族との信頼関係を築くことの重要性を説明できる。 2. 個人的、社会的背景が異なる患者に、わけへだてなく対応するスキルを説明できる。 3. 患者の価値観が多様であることを認識し説明できる。 4. 病状や治療法について説明する際のスキルを列挙できる。</p> <p>【準備学習項目】 医療における患者と医療者の目的の違いを説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 a 医療情報の収集・提供 c 患者の指導、動機付け、治療への参加 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	青木 伸一郎
2014/07/07 (月) 3時限 13:00~14:30	国民から望まれる歯科医師像	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために国民から望まれる歯科医師像を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 日本の伝統的倫理 (宗教) を概説できる。 2. 日本人の公民の倫理について概説できる。 3. 人間の尊厳について概説できる。</p> <p>【準備学習項目】 医の倫理に関わる宣言を概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、リスボン宣言、ヒポクラテスの誓い</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-2 医の倫理 *①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 *②医の倫理に関する規範・国際規範 (ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等) を概説できる。 *③生と死に関わる倫理的問題を説明できる。</p>	江口 正尊
2014/07/14 (月) 3時限 13:00~14:30	歯科医療における安全性への配慮	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために歯科医療における安全性への配慮を修得する。</p>	伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	<p>－安全性の確保、医療倫理－</p>	<p>【行動目標（SBOs）】 1. 医療施設のリスク・マネージメントを説明できる。 2. フェイル・セーフの必要性を説明できる。 3. 医療機関における安全管理体制を概説できる。 4. 歯科医療事故とニアミスの違いを説明できる。 5. 歯科医療における事故の特異性を説明できる。 6. 医療事故やニアミスの事例の原因を分析し、防止対策を説明できる。 7. 医療事故やニアミス発生時の適切な対応を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エラーはどんな時に起こるかを説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 e 医療危機管理 <リスクマネージメント></p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 a 医療事故と医療過誤 b 医療事故の発生要因 f ヒヤリハット、アクシデント、インシデント、医療事故報告書、インシデントレポート</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 A-5-1) 安全性の確保 *①歯科医療における事故の特異性を説明できる。 A-5-2) 医療上の事故等への対処と予防 *①医療事故と医療過誤の違いを説明できる。 *②医療上の事故等（インシデント（ヒヤリハット）、医療過誤等を含む）の事例の原因を分析し、防止対策を説明できる。 *③医療上の事故等（インシデント（ヒヤリハット）、医療過誤等を含む）が発生した時の緊急処置や記録、報告について説明できる。 *④医療過誤に関連して歯科医師に科せられた社会的責任と罰則規定（行政処分、民事責任、刑事責任、司法解剖）の基本的事項を説明できる。</p>	伊藤 孝訓
<p>2014/07/24（木） 3時限 13:00～14:30</p>	<p>医療倫理実践のためのコミュニケーション④</p> <p>－倫理的ジレンマについて考える－</p>	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために倫理的ジレンマに関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 倫理的ジレンマを説明できる。 2. 医療倫理の4原則を説明できる。 3. 医療者と患者の立場を説明できる。 4. 考えをまとめて文章で論述できる。</p> <p>【準備学習項目】 これまでの学習内容を概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 シネエデュケーション「家で親を看取る」</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン b 患者の権利と義務 c 自己決定権</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-1 患者の尊厳 *①患者の権利を説明できる。 A-2 医の倫理 *③生と死に関わる倫理的問題を説明できる。 A-3 歯科医師の責務 *①患者との信頼関係を築くことができる。 *②個人的、社会的背景等異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 *④患者に最も適した医療を説明できる。</p>	伊藤 孝訓
<p>2014/09/08（月） 3時限</p>	<p>平常試験2</p>	<p>【学習方略（LS）】 その他</p>	<p>伊藤 孝訓 遠藤 弘康</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:00~14:30	平常試験 2	【場所（教室/実習室）】 102教室	伊藤 孝訓 遠藤 弘康

生化学

年次	学期	学則科目責任者
2年次	前学期	平塚 浩一 (生化学・分子生物学)

学習目標 (G I O)	臨床の場で出会う様々な疾患とその対処法を総合的に理解できるようになるために、生命現象のメカニズムを分子レベルで理解し、疾病は正常な生命活動の乱れによって引き起こされることが分かるようになる。
担当教員	平塚 浩一、パワー ル ウジャール、※青木 秀史、※寺尾 直人、※丸山 満博、※渡邊 信幸、小倉 直美、※安孫子 宜光、城座 映明
教科書	スタンダード口腔生化学 安孫子宜光他 学建書院
参考図書	ビジュアル生化学・分子生物学 安孫子宜光著 日本医事新報社 生命科学の基礎 城座映明 学建書院 生命科学 東京大学生命科学教科書編集委員会 羊土社
評価方法 (E V)	<p>【最終評価】 最終評価は「平常試験 (領域別試験) 評価点」50%、「実習評価点」25%、「平常点」25%、で決定する。ただし、全授業時間数の1/5以上を欠席した場合の最終評価は0-60点とする。</p> <p>【平常試験 (領域別試験) 評価点】 授業は「基礎生化学」、「一般生化学」、および「口腔生化学」の3領域に大別される。各領域終了後に行うマークシート方式による平常試験 (領域別試験) 1・2・3 (合計200問) の正答率をいう。</p> <p>【実習評価点】 毎回の「態度評価点」60%と、「実習 (総合) 試験」40%を併せて「実習評価点」とする。「態度評価点」は実習に出席し、実験結果・考察の記載内容と口頭試問が評価対象となる。</p> <p>【平常点】 毎回講義終了後に各自のPCを使用した「チェックテスト」の平均正答率を80%、配布した「生化学冊子」の予習項目の達成率を20%で評価する。「チェックテスト」成績が60点未満の場合は、当日の口頭試問で再評価を行い、合格すれば60点を与える。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水曜日9時から16~17時で行われる。 2. 授業は (予習) → 「講義・演習 (午前)」 → 「講義・演習 (午後)」 → 「チェックテスト」 → 「口頭試問」 → (復習) から構成される。 3. 予習項目は配布した「生化学冊子」に記載されており空欄に内容を記入。 4. 前日午後から翌日の講義プリントの配布が可能なので、必要なら「生化学・分子生物学講座」に取りに来ること。 5. 講義の一部と実習はA・Bの2班に分かれて行う。本シラバスはA班を主としている。オリエンテーションで詳細な説明をするので場所等間違えないように。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/09 (水) 1時限 09:00~10:30	生命を構成する基本物質 1	<p>【授業の一般目標】 生命を構成する基本物質を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質・ビタミン・ミネラルを学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 糖質の構造と機能を説明できる。 2. タンパク質の構造と機能を説明できる。 3. 脂質の構造と機能を説明できる。 4. ビタミンの構造と機能を説明できる。 5. ミネラルの役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 毎日の食事の際に並べられた食物が5大栄養素の何に当たるかを調査する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p>	城座 映明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/09 (水) 1時限 09:00~10:30	生命を構成する基本物質 1	<p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *①アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 *②糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 *③脂質の構造、機能および代謝を説明できる。</p>	城座 映明
2014/04/09 (水) 2時限 10:40~12:10	生命を構成する基本物質 1	<p>【授業の一般目標】 生命を構成する基本物質を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質・ビタミン・ミネラルを学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 糖質の構造と機能を説明できる。 2. タンパク質の構造と機能を説明できる。 3. 脂質の構造と機能を説明できる。 4. ビタミンの構造と機能を説明できる。 5. ミネラルの役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 毎日の食事の際に並べられた食物が5大栄養素の何に当たるかを調査する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *①アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 *②糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 *③脂質の構造、機能および代謝を説明できる。</p>	城座 映明
2014/04/09 (水) 3時限 13:00~14:30	生命を構成する基本物質 2	<p>【授業の一般目標】 生命を構成する基本物質を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質・ビタミン・ミネラルを学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 糖質の構造と機能を説明できる。 2. タンパク質の構造と機能を説明できる。 3. 脂質の構造と機能を説明できる。 4. ビタミンの構造と機能を説明できる。 5. ミネラルの役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 毎日の食事の際に並べられた食物が5大栄養素の何に当たるかを調査する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p>	城座 映明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/09 (水) 3時限 13:00~14:30	生命を構成する基本物質 2	<p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *①アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 *②糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 *③脂質の構造、機能および代謝を説明できる。</p>	城座 映明
2014/04/09 (水) 4時限 14:40~16:10	生命を構成する基本物質 2	<p>【授業の一般目標】 生命を構成する基本物質を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質・ビタミン・ミネラルを学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 糖質の構造と機能を説明できる。 2. タンパク質の構造と機能を説明できる。 3. 脂質の構造と機能を説明できる。 4. ビタミンの構造と機能を説明できる。 5. ミネラルの役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 毎日の食事の際に並べられた食物が5大栄養素の何に当たるかを調査する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *①アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 *②糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 *③脂質の構造、機能および代謝を説明できる。</p>	城座 映明
2014/04/16 (水) 1時限 09:00~10:30	物質代謝	<p>【授業の一般目標】 代謝異常の疾患を理解するために、生体内の物質代謝を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 糖質の代謝経路を説明できる。 2. タンパク質の代謝経路を説明できる。 3. 脂質の代謝経路を説明できる。 4. 核酸やビタミンの代謝経路を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 生体内における物質代謝を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	城座 映明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/16 (水) 1時限 09:00~10:30	物質代謝	<p>C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *①アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 *②糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 *③脂質の構造、機能および代謝を説明できる。</p>	城座 映明
2014/04/16 (水) 2時限 10:40~12:10	物質代謝	<p>【授業の一般目標】 代謝異常の疾患を理解するために、生体内の物質代謝を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 糖質の代謝経路を説明できる。 2. タンパク質の代謝経路を説明できる。 3. 脂質の代謝経路を説明できる。 4. 核酸やビタミンの代謝経路を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 生体内における物質代謝を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *①アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 *②糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 *③脂質の構造、機能および代謝を説明できる。</p>	城座 映明
2014/04/16 (水) 3時限 13:00~14:30	エネルギー代謝と代謝異常	<p>【授業の一般目標】 代謝異常の疾患を理解するために、エネルギー代謝経路を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ATP について説明できる。 2. 解糖系・TCA 回路・電子伝達系について説明できる。 3. 糖尿病の発症機序が説明できる。 4. 動脈硬化の発症機序を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 生体内におけるエネルギー代謝を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *④生体内におけるエネルギー利用を説明できる。</p>	城座 映明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/16 (水) 3時限 13:00~14:30	エネルギー代謝と代謝異常		城座 映明
2014/04/16 (水) 4時限 14:40~16:10	エネルギー代謝と代謝異常	<p>【授業の一般目標】 代謝異常の疾患を理解するために、エネルギー代謝経路を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ATP について説明できる。 2. 解糖系・TCA 回路・電子伝達系について説明できる。 3. 糖尿病の発症機序が説明できる。 4. 動脈硬化の発症機序を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 生体内におけるエネルギー代謝を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *④生体内におけるエネルギー利用を説明できる。</p>	城座 映明
2014/04/23 (水) 1時限 09:00~10:30	酵素・臨床検査	<p>【授業の一般目標】 正常機能のみだれにより異常値が出現することを理解するために、血液検査や尿検査の検査項目の検査の理論と生体メカニズムを学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 酵素の種類・構造・機能を説明できる。 2. 酵素の触媒能力の意義を説明できる。 3. 酵素の活性化調節機構を説明できる。 4. ミカエリス・メンテンの式の意味を説明できる。 5. Km と Vmax の意味を説明できる。 6. 阻害形式を説明できる。 7. 血液検査項目に基づいた生体の機能と病態を説明できる。 8. 尿検査項目に基づいた代謝排泄の機能と病態を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 血液検査や尿検査項目を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ウ 検体検査の種類 c 生化学検査 (糖質、糖、代謝関連物質、蛋白、含窒素成分、脂質代謝関連物質、電解質、酸塩基平衡、酵素、ホルモン)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ウ 検体検査の種類 a 一般臨床検査 (尿、穿刺液、関節液) b 血球検査、凝固・線溶、血液型・輸血関連検査、赤沈</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	青木 秀史
2014/04/23 (水) 2時限 10:40~12:10	酵素・臨床検査	<p>【授業の一般目標】 正常機能のみだれにより異常値が出現することを理解するために、血液検査や尿検査の検査項目の検査の理論と生体メカニズムを学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	青木 秀史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/23 (水) 2時限 10:40～12:10	酵素・臨床検査	<p>1. 酵素の種類・構造・機能を説明できる。 2. 酵素の触媒能力の意義を説明できる。 3. 酵素の活性化調節機構を説明できる。 4. ミカエリス・メンテンの式の意味を説明できる。 5. K_m と V_{max} の意味を説明できる。 6. 阻害形式を説明できる。 7. 血液検査項目に基づいた生体の機能と病態を説明できる。 8. 尿検査項目に基づいた代謝排泄の機能と病態を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 血液検査や尿検査項目を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ウ 検体検査の種類 c 生化学検査 (糖質、糖、代謝関連物質、蛋白、含窒素成分、脂質代謝関連物質、電解質、酸塩基平衡、酵素、ホルモン)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ウ 検体検査の種類 a 一般臨床検査 (尿、穿刺液、関節液) b 血球検査、凝固・線溶、血液型・輸血関連検査、赤沈</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	青木 秀史
2014/04/23 (水) 3時限 13:00～14:30	酵素に関する実習	<p>【授業の一般目標】 講義で学んだ酵素の特徴と反応の成り立ちを理解するために、酵素実習を通じて総合的に解釈できるようにする。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 酸性ホスファターゼの反応と反応生成物を説明できる。 2. 反応生成物の検量線を作成できる。 3. 3種類の合成基質を用いて、酸性ホスファターゼの基質特異性を確認する。 4. 実験結果から、酵素活性を酵素活性単位で表すことができる。 5. 酵素の至適pHを求め、酵素反応速度に与えるpHの影響を説明できる。 6. Lineweaver-Bulkのグラフを作成することができる。 7. K_m 値、V_{max} を求めることができる。 8. 酵素阻害物質の阻害形式を推定することができる。</p> <p>【準備学習項目】 1. 講義で学んだ酵素の特徴と反応の成り立ちを理解する。 2. 酵素反応速度論を理解し、酵素のK_m 値の意味を理解する。 3. 酵素反応次数を理解する。 4. 酵素阻害物質の酵素に対する作用機序を理解する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 生化学冊子</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	青木 秀史 寺尾 直人 小倉 直美 丸山 満博 渡邊 信幸
2014/04/23 (水) 4時限 14:40～16:10	酵素に関する実習	<p>【授業の一般目標】 講義で学んだ酵素の特徴と反応の成り立ちを理解するために、酵素実習を通じて総合的に解釈できるようにする。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 酸性ホスファターゼの反応と反応生成物を説明できる。 2. 反応生成物の検量線を作成できる。 3. 3種類の合成基質を用いて、酸性ホスファターゼの基質特異性を確認する。 4. 実験結果から、酵素活性を酵素活性単位で表すことができる。 5. 酵素の至適pHを求め、酵素反応速度に与えるpHの影響を説明できる。 6. Lineweaver-Bulkのグラフを作成することができる。 7. K_m 値、V_{max} を求めることができる。 8. 酵素阻害物質の阻害形式を推定することができる。</p> <p>【準備学習項目】 1. 講義で学んだ酵素の特徴と反応の成り立ちを理解する。 2. 酵素反応速度論を理解し、酵素のK_m 値の意味を理解する。 3. 酵素反応次数を理解する。 4. 酵素阻害物質の酵素に対する作用機序を理解する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 生化学冊子</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	青木 秀史 寺尾 直人 小倉 直美 丸山 満博 渡邊 信幸

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/23 (水) 4時限 14:40～16:10	酵素に関する実習	<p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	青木 秀史 寺尾 直人 小倉 直美 丸山 満博 渡邊 信幸
2014/05/07 (水) 1時限 09:00～10:30	細胞構造・染色体・ 核酸・複製	<p>【授業の一般目標】 遺伝情報を理解するために、染色体・遺伝子の基本構造とDNA複製機構を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.細胞の構造と細胞小器官の役割を説明できる。 2.染色体の構成成分を説明できる。 3.核酸の種類とその構造を説明できる。 4.テロメアと寿命の関係を説明できる。 5.複製機序を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 細胞の断面図を書き細胞小器官の模式図が書ける。 その他「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 a 遺伝子、染色体 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-2) 遺伝子と遺伝 *①遺伝子（染色体）の構造とセントラルドグマを説明できる。 *②DNA複製と修復の機序を説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/05/07 (水) 2時限 10:40～12:10	細胞構造・染色体・ 核酸・複製	<p>【授業の一般目標】 遺伝情報を理解するために、染色体・遺伝子の基本構造とDNA複製機構を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.細胞の構造と細胞小器官の役割を説明できる。 2.染色体の構成成分を説明できる。 3.核酸の種類とその構造を説明できる。 4.テロメアと寿命の関係を説明できる。 5.複製機序を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 細胞の断面図を書き細胞小器官の模式図が書ける。 その他「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 a 遺伝子、染色体 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-2) 遺伝子と遺伝</p>	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/07 (水) 2時限 10:40～12:10	細胞構造・染色体・ 核酸・複製	*①遺伝子(染色体)の構造とセントラルドグマを説明できる。 *②DNA複製と修復の機序を説明できる。	平塚 浩一
2014/05/07 (水) 3時限 13:00～14:30	遺伝子構造・転写・ 転写調節	<p>【授業の一般目標】 タンパク質合成を理解するために、遺伝子構造と遺伝子の転写を学ぶ。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.核酸の種類と違いを説明できる。 2.遺伝子の基本単位を説明できる。 3.基本転写因子と転写調節因子の違いを説明できる。 4.転写機序を説明できる。 5.転写調節を説明できる。 6.mRNAの成熟過程(キャップ構造・polyA構造・スプライシング)を説明できる。 7.スプライシングバリエントを説明できる。 8.エピジェネティクスを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 a 遺伝子、染色体</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-2) 遺伝子と遺伝 *③転写と転写調節の機序を説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/05/07 (水) 4時限 14:40～16:10	遺伝子構造・転写・ 転写調節	<p>【授業の一般目標】 タンパク質合成を理解するために、遺伝子構造と遺伝子の転写を学ぶ。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.核酸の種類と違いを説明できる。 2.遺伝子の基本単位を説明できる。 3.基本転写因子と転写調節因子の違いを説明できる。 4.転写機序を説明できる。 5.転写調節を説明できる。 6.mRNAの成熟過程(キャップ構造・polyA構造・スプライシング)を説明できる。 7.スプライシングバリエントを説明できる。 8.エピジェネティクスを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 a 遺伝子、染色体</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-2) 遺伝子と遺伝 *③転写と転写調節の機序を説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/05/14 (水) 1時限 09:00～10:30	翻訳・翻訳後修飾・ 原核生物と真核生物	<p>【授業の一般目標】 タンパク質の合成と活性化を理解するために、タンパク質の翻訳と翻訳後修飾を学ぶ。</p>	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	翻訳・翻訳後修飾・原核生物と真核生物	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アミノアシルtRNAの特徴を説明できる。 2. トリプレットコドン表の特徴を説明できる。 3. リボソームでの翻訳を説明できる。 4. 翻訳後修飾の種類とその意味を説明できる。 5. 原核生物と真核生物のタンパク質合成の違いを説明できる。 <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 a 遺伝子、染色体 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-2) 遺伝子と遺伝 *④翻訳の機序を説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/05/14 (水) 2時限 10:40～12:10	翻訳・翻訳後修飾・原核生物と真核生物	<p>【授業の一般目標】 タンパク質の合成と活性化を理解するために、タンパク質の翻訳と翻訳後修飾を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アミノアシルtRNAの特徴を説明できる。 2. トリプレットコドン表の特徴を説明できる。 3. リボソームでの翻訳を説明できる。 4. 翻訳後修飾の種類とその意味を説明できる。 5. 原核生物と真核生物のタンパク質合成の違いを説明できる。 <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 a 遺伝子、染色体 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-2) 遺伝子と遺伝 *④翻訳の機序を説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/05/14 (水) 3時限 13:00～14:30	遺伝子工学	<p>【授業の一般目標】 遺伝子組換えの有用性を理解するために、代表的な遺伝子組換え技術を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クローニングに必要な酵素の種類と特徴を説明できる。 2. ゲノムクローニングとcDNAクローニングの違いを説明できる。 3. ノックアウトマウスとトランスジェニックマウスの違いを説明できる。 4. 遺伝子増幅法 (PCR 法) の原理を説明できる。 5. その他代表的な分子生物学的実験法を説明できる。 	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/14 (水) 3時限 13:00~14:30	遺伝子工学	<p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一
2014/05/14 (水) 4時限 14:40~16:10	遺伝子工学	<p>【授業の一般目標】 遺伝子組換えの有用性を理解するために、代表的な遺伝子組換え技術を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クローニングに必要な酵素の種類と特徴を説明できる。 2. ゲノムクローニングとcDNAクローニングの違いを説明できる。 3. ノックアウトマウスとトランスジェニックマウスの違いを説明できる。 4. 遺伝子増幅法 (PCR 法) の原理を説明できる。 5. その他代表的な分子生物学的実験法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一
2014/05/21 (水) 1時限 09:00~10:30	遺伝子工学に関する実習	<p>【授業の一般目標】 遺伝子組換えの基本を理解するために、対象となる染色体を制限酵素で切断しプラスミドに挿入する模擬実習を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 制限酵素の作用を正しく理解し対象の染色体を切断できる。 2. 切断した染色体をプラスミドに挿入できる。 3. PCを使用したパブリックデータベースから目的の論文を検索できる。 4. 目的の遺伝子の塩基配列を検索し、アミノ酸に置き換えることができる。</p> <p>【準備学習項目】 遺伝子工学の講義を復習しておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 各自PCを必ず持参すること！</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	バワール ウジャー 平塚 浩一 丸山 満博 渡邊 信幸 小倉 直美
2014/05/21 (水) 2時限 10:40~12:10	遺伝子工学に関する実習	<p>【授業の一般目標】 遺伝子組換えの基本を理解するために、対象となる染色体を制限酵素で切断しプラスミドに挿入する模擬実習を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 制限酵素の作用を正しく理解し対象の染色体を切断できる。 2. 切断した染色体をプラスミドに挿入できる。 3. PCを使用したパブリックデータベースから目的の論文を検索できる。 4. 目的の遺伝子の塩基配列を検索し、アミノ酸に置き換えることができる。</p> <p>【準備学習項目】 遺伝子工学の講義を復習しておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 各自PCを必ず持参すること！</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p>	バワール ウジャー 平塚 浩一 丸山 満博 渡邊 信幸 小倉 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/21 (水) 2時限 10:40~12:10	遺伝子工学に関する実習	<p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	バワール ウジャール 平塚 浩一 丸山 満博 渡邊 信幸 小倉 直美
2014/05/21 (水) 3時限 13:00~14:30	細胞工学（再生医療）	<p>【授業の一般目標】 再生医療を理解するために、細胞工学の技術を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 体性・胚性幹細胞を説明できる。 2. 核のリプログラミング、エピジェネティクス、ゲノム インプリンティングを説明できる 3. 万能細胞（ES・EG・iPS）の種類と作製法を説明できる。 4. クローン動物の作成法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 再生医療の有用性を説明する。 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 a 遺伝子、染色体 c 組織（上皮組織、支持組織（血液を含む）、筋組織、神経組織） 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一
2014/05/21 (水) 4時限 14:40~16:10	細胞工学（再生医療）	<p>【授業の一般目標】 再生医療を理解するために、細胞工学の技術を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 体性・胚性幹細胞を説明できる。 2. 核のリプログラミング、エピジェネティクス、ゲノム インプリンティングを説明できる 3. 万能細胞（ES・EG・iPS）の種類と作製法を説明できる。 4. クローン動物の作成法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 再生医療の有用性を説明する。 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 a 遺伝子、染色体 c 組織（上皮組織、支持組織（血液を含む）、筋組織、神経組織） 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/28 (水) 1時限 09:00～10:30	第1回平常試験 (領域別試験1)	<p>【授業の一般目標】 「基礎生化学」領域全般の理解度を測るために、平常試験をおこなう。</p> <p>【準備学習項目】 範囲を良く復習し、理解しておくこと。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一 バワール ウジャー 青木 秀史 小倉 直美 城座 映明
2014/05/28 (水) 2時限 10:40～12:10	第1回平常試験 (領域別試験1)	<p>【授業の一般目標】 「基礎生化学」領域全般の理解度を測るために、平常試験をおこなう。</p> <p>【準備学習項目】 範囲を良く復習し、理解しておくこと。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一 バワール ウジャー 青木 秀史 城座 映明 小倉 直美
2014/05/28 (水) 3時限 13:00～14:30	第1回平常試験 (領域別試験1) 解説	<p>【授業の一般目標】 基礎生化学領域全般の理解を深めるために、平常試験解説をおこなう。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 考えの誤りを訂正する。</p> <p>【準備学習項目】 範囲を良く復習し、理解しておくこと。</p> <p>【学習場所・媒体等】 個人成績表</p> <p>【学習方略(LS)】 その他</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一 バワール ウジャー 青木 秀史 城座 映明 小倉 直美
2014/05/28 (水) 4時限 14:40～16:10	第1回平常試験 (領域別試験1) 解説	<p>【授業の一般目標】 基礎生化学領域全般の理解を深めるために、平常試験解説をおこなう。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 考えの誤りを訂正する。</p> <p>【準備学習項目】 範囲を良く復習し、理解しておくこと。</p> <p>【学習場所・媒体等】 個人成績表</p> <p>【学習方略(LS)】 その他</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一 バワール ウジャー 青木 秀史 城座 映明 小倉 直美
2014/06/04 (水) 1時限 09:00～10:30	情報伝達機構	<p>【授業の一般目標】 細胞間コミュニケーションを理解するために、細胞内、細胞間、細胞-細胞外マトリックス間の情報伝達の仕組みを学ぶ。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ホルモン、成長因子、サイトカインによる受容体を介した細胞間の情報伝達機構を説明できる。 2. 細胞内シグナル伝達機構を説明できる。 3. サイトカインの種類・構造・機能と生理作用や作用機序を説明できる。 4. サイトカインネットワークを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p>	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/04 (水) 1時限 09:00～10:30	情報伝達機構	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ウ 細胞間情報伝達機構</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-4) 細胞のコミュニケーション *①細胞の接着装置、細胞間と細胞・マトリックス間の接着分子を説明できる。 *②受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間、細胞内の情報伝達機構を概説できる。</p>	平塚 浩一
2014/06/04 (水) 2時限 10:40～12:10	情報伝達機構	<p>【授業の一般目標】 細胞間コミュニケーションを理解するために、細胞内、細胞間、細胞-細胞外マトリックス間の情報伝達の仕組みを学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ホルモン、成長因子、サイトカインによる受容体を介した細胞間の情報伝達機構を説明できる。 2. 細胞内シグナル伝達機構を説明できる。 3. サイトカインの種類・構造・機能と生理作用や作用機序を説明できる。 4. サイトカインネットワークを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ウ 細胞間情報伝達機構</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-4) 細胞のコミュニケーション *①細胞の接着装置、細胞間と細胞・マトリックス間の接着分子を説明できる。 *②受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間、細胞内の情報伝達機構を概説できる。</p>	平塚 浩一
2014/06/04 (水) 3時限 13:00～14:30	細胞外基質	<p>【授業の一般目標】 生体を構成する細胞外基質の役割を理解するために、細胞接着配列と細胞外基質の種類や特徴を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細胞-細胞外基質の接着の意味を説明できる。 2. 細胞接着配列を基盤とした情報伝達機構を説明できる。 3. コラーゲン・ラミニン・プロテオグリカンの特徴を説明できる。 4. コラーゲンの合成過程および分解過程を説明できる。 5. MMP の種類と特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ウ 細胞間情報伝達機構</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p>	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/04 (水) 3時限 13:00~14:30	細胞外基質	<p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-4) 細胞のコミュニケーション *③主な細胞外マトリックス分子の構造と機能を説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/06/04 (水) 4時限 14:40~16:10	細胞外基質	<p>【授業の一般目標】 生体を構成する細胞外基質の役割を理解するために、細胞接着配列と細胞外基質の種類や特徴を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細胞-細胞外基質の接着の意味を説明できる。 2. 細胞接着配列を基盤とした情報伝達機構を説明できる。 3. コラーゲン・ラミニン・プロテオグリカンの特徴を説明できる。 4. コラーゲンの合成過程および分解過程を説明できる。 5. MMP の種類と特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ウ 細胞間情報伝達機構</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-4) 細胞のコミュニケーション *③主な細胞外マトリックス分子の構造と機能を説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/06/11 (水) 1時限 09:00~10:30	炎症の分子メカニズム	<p>【授業の一般目標】 炎症の分子メカニズムを理解するために、炎症性ケミカルメディエーターの種類と特徴を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 炎症性ケミカルメディエーターの種類を列挙できる。 2. アミン類やキニン類の合成と特徴を説明できる。 3. サイトカインの定義を説明し、分類を説明できる。 4. 炎症に関わるサイトカインを説明できる。 5. エイコサノイドおよびPAF の合成を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 アラキドン酸カスケードの模式図を書き、どのようなエイコサノイドが産生されるか調べる。 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 エ 炎症の機序・病態</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 ア 炎症の概念 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-3) 細胞の構造と機能 *④細胞死 (壊死とアポトーシス) の基本的機序を説明できる。 C-4 病因と病態 C-4-4) 炎症 *①炎症の定義を説明できる。【発症機序を含む。】</p>	小倉 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/11 (水) 1時限 09:00～10:30	炎症の分子メカニズム	*②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。	小倉 直美
2014/06/11 (水) 2時限 10:40～12:10	炎症の分子メカニズム	<p>【授業の一般目標】 炎症の分子メカニズムを理解するために、炎症性ケミカルメディエーターの種類と特徴を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 炎症性ケミカルメディエーターの種類を列挙できる。 2. アミン類やキニン類の合成と特徴を説明できる。 3. サイトカインの定義を説明し、分類を説明できる。 4. 炎症に関わるサイトカインを説明できる。 5. エイコサノイドおよびPAFの合成を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 アラキドン酸カスケードの模式図を書き、どのようなエイコサノイドが産生されるか調べる。 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 エ 炎症の機序・病態</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 ア 炎症の概念 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-3) 細胞の構造と機能 *④細胞死 (壊死とアポトーシス) の基本的機序を説明できる。 C-4 病因と病態 C-4-4) 炎症 *①炎症の定義を説明できる。【発症機序を含む。】 *②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。</p>	小倉 直美
2014/06/11 (水) 3時限 13:00～14:30	骨リモデリング	<p>【授業の一般目標】 歯槽骨吸収や骨粗しょう症等を理解するために、骨リモデリング機構を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 生理的な血中カルシウム濃度の調節機構を説明できる。 2. 骨芽細胞の機能を説明できる。 3. 破骨細胞の形成機序を説明できる。 4. RANK-RANKL系の役割を説明できる。 5. 成熟破骨細胞の活性機序と抑制機序を説明できる。 6. 活性型破骨細胞の骨吸収機序を説明できる。 7. 骨芽細胞による骨形成機序を説明できる。 8. 骨芽細胞と破骨細胞のマーカーを列挙できる。</p> <p>【準備学習項目】 破骨細胞による骨吸収の様子を図示し説明を加える。 「生化学学習冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論III 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-4) 細胞のコミュニケーション *②受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間、細胞内の情報伝達機構を概説できる。</p>	小倉 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/11 (水) 4時限 14:40～16:10	骨リモデリング	<p>【授業の一般目標】 歯槽骨吸収や骨粗しょう症等を理解するために、骨リモデリング機構を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 生理的な血中カルシウム濃度の調節機構を説明できる。 2. 骨芽細胞の機能を説明できる。 3. 破骨細胞の形成機序を説明できる。 4. RANK-RANKL 系の役割を説明できる。 5. 成熟破骨細胞の活性機序と抑制機序を説明できる。 6. 活性型破骨細胞の骨吸収機序を説明できる。 7. 骨芽細胞による骨形成機序を説明できる。 8. 骨芽細胞と破骨細胞のマーカーを列挙できる。</p> <p>【準備学習項目】 破骨細胞による骨吸収の様子を図示し説明を加える。 「生化学学習冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 カ 支持組織</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-4) 細胞のコミュニケーション *②受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間、細胞内の情報伝達機構を概説できる。</p>	小倉 直美
2014/06/18 (水) 1時限 09:00～10:30	細胞周期・アポトーシス	<p>【授業の一般目標】 正常の細胞分裂における分子生物学的機構とがん化制御機構を理解するために、細胞周期とアポトーシスを学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細胞周期を説明できる。 2. チェックポイント機構を説明できる。 3. 生理的・病的アポトーシスの実際を説明できる。 4. ネクロシスとアポトーシスの違いを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-3) 細胞の構造と機能 *③細胞周期と細胞分裂を説明できる。 *④細胞死 (壊死とアポトーシス) の基本的機序を説明できる。</p>	パワー ル ウジャール
2014/06/18 (水) 2時限 10:40～12:10	細胞周期・アポトーシス	<p>【授業の一般目標】 正常の細胞分裂における分子生物学的機構とがん化制御機構を理解するために、細胞周期とアポトーシスを学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細胞周期を説明できる。 2. チェックポイント機構を説明できる。 3. 生理的・病的アポトーシスの実際を説明できる。 4. ネクロシスとアポトーシスの違いを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p>	パワー ル ウジャール

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/18 (水) 2時限 10:40～12:10	細胞周期・アポトーシス	<p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 イ 細胞の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-3) 細胞の構造と機能 *③細胞周期と細胞分裂を説明できる。 *④細胞死 (壊死とアポトーシス) の基本的機序を説明できる。</p>	バワール ウジャール
2014/06/18 (水) 3時限 13:00～14:30	発ガン機構	<p>【授業の一般目標】 正常細胞とがん細胞の違いを理解するために、癌細胞の特徴を学習する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. Rb やp53 などの癌遺伝抑制伝子の役割を説明できる。 2. 癌抑制伝子による細胞増殖調節の機序を説明できる。 3. プロト癌遺伝子 (癌原遺伝子)、癌遺伝子、癌抑制伝子の機能を説明できる。 4. 癌の多段階発癌機構を説明できる。 5. 癌細胞の増殖、分化、浸潤、転移の機序を説明できる。 6. 癌細胞における細胞周期の特徴とその調節機構を説明できる。 7. 発癌因子による発癌メカニズムを説明できる。 8. 癌の遺伝子診断と遺伝子治療を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 7 腫瘍 イ 腫瘍発生の病因</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *②腫瘍の病因を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	バワール ウジャール
2014/06/18 (水) 4時限 14:40～16:10	発ガン機構	<p>【授業の一般目標】 正常細胞とがん細胞の違いを理解するために、癌細胞の特徴を学習する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. Rb やp53 などの癌遺伝抑制伝子の役割を説明できる。 2. 癌抑制伝子による細胞増殖調節の機序を説明できる。 3. プロト癌遺伝子 (癌原遺伝子)、癌遺伝子、癌抑制伝子の機能を説明できる。 4. 癌の多段階発癌機構を説明できる。 5. 癌細胞の増殖、分化、浸潤、転移の機序を説明できる。 6. 癌細胞における細胞周期の特徴とその調節機構を説明できる。 7. 発癌因子による発癌メカニズムを説明できる。 8. 癌の遺伝子診断と遺伝子治療を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p>	バワール ウジャール

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/18 (水) 4時限 14:40～16:10	発ガン機構	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 7 腫瘍 イ 腫瘍発生の病因</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論III 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 エ 遺伝子、遺伝</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *②腫瘍の病因を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	バワール ウジャール
2014/06/25 (水) 1時限 09:00～10:30	第2回平常試験 (領域別試験2)	<p>【授業の一般目標】 「一般生化学」領域全般の理解度を測るために、平常試験をおこなう。</p> <p>【準備学習項目】 範囲を良く復習し、理解しておくこと。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、第一実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一 バワール ウジャール 青木 秀史 小倉 直美
2014/06/25 (水) 2時限 10:40～12:10	第2回平常試験 (領域別試験2) 解説	<p>【授業の一般目標】 「一般生化学」領域全般の理解を深めるために、平常試験解説をおこなう。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 考えの誤りを修正する。</p> <p>【準備学習項目】 範囲を良く復習し、理解しておくこと。</p> <p>【学習場所・媒体等】 個人成績表</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一 バワール ウジャール 青木 秀史 小倉 直美
2014/06/25 (水) 3時限 13:00～14:30	第1回平常試験追 再試験 (未定) お よび第2回試験口 頭試問	<p>【授業の一般目標】 知識の再確認をするために、追再試験および口頭試問をおこなう。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 考えの誤りを訂正する。</p> <p>【準備学習項目】 範囲を良く復習し、理解しておくこと。</p> <p>【学習場所・媒体等】 個人成績表</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一 バワール ウジャール 青木 秀史 小倉 直美
2014/06/25 (水) 4時限 14:40～16:10	第1回平常試験追 再試験 (未定) お よび第2回試験口 頭試問	<p>【授業の一般目標】 知識の再確認をするために、追再試験および口頭試問をおこなう。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	平塚 浩一 バワール ウジャール 青木 秀史 小倉 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/25 (水) 4時限 14:40～16:10	第1回平常試験追 再試験(未定)お よび第2回試験口 頭試問	1. 考えの誤りを訂正する。 【準備学習項目】 範囲を良く復習し、理解しておくこと。 【学習場所・媒体等】 個人成績表 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室、第1実習室 【国家試験出題基準(主)】 【コアカリキュラム】	平塚 浩一 バワール ウジャー 青木 秀史 小倉 直美
2014/07/02 (水) 1時限 09:00～10:30	唾液の成分とその 性状	【授業の一般目標】 口腔環境の維持を理解するために、唾液の成分と機能を学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 唾液の役割を説明できる。 2. 緩衝作用を説明できる。 3. 唾液の抗菌因子を列挙し、その抗菌機能を説明できる。 4. 唾液中の消化酵素について説明できる。 5. 唾液の粘性と血液型判定について説明できる。 【準備学習項目】 唾液が減少、もしくは完全に消失すると、どのような弊害が生ずるか考えて、 箇条書きに列挙しなさい。 「生化学冊子」に記載。 【学習場所・媒体等】 プリント配布 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 5 口腔の生態系 ア 唾液 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 エ 口腔の生態系 c 唾液の作用 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *④唾液の性状と役割を説明できる。【構成成分とその機能を含む。】	平塚 浩一
2014/07/02 (水) 2時限 10:40～12:10	唾液の成分とその 性状	【授業の一般目標】 口腔環境の維持を理解するために、唾液の成分と機能を学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 唾液の役割を説明できる。 2. 緩衝作用を説明できる。 3. 唾液の抗菌因子を列挙し、その抗菌機能を説明できる。 4. 唾液中の消化酵素について説明できる。 5. 唾液の粘性と血液型判定について説明できる。 【準備学習項目】 唾液が減少、もしくは完全に消失すると、どのような弊害が生ずるか考えて、 箇条書きに列挙しなさい。 「生化学冊子」に記載。 【学習場所・媒体等】 プリント配布 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 5 口腔の生態系 ア 唾液 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/02 (水) 2時限 10:40~12:10	唾液の成分とその性状	<p>エ 口腔の生態系 c 唾液の作用</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *④唾液の性状と役割を説明できる。【構成成分とその機能を含む。】</p>	平塚 浩一
2014/07/02 (水) 3時限 13:00~14:30	歯の硬組織・歯面堆積物	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織の機能を理解するために、エナメル質および象牙質に含有する成分を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. エナメル質および象牙質に含有するタンパク質を説明できる。 2. 歯の無機質の成分 (ヒドロキシアパタイト結晶) を説明できる。 3. ペリクルの成分と形成過程を説明できる。 4. プラークと歯石の成分、形成過程を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯と歯周組織の断面を図示し、名称を列挙しなさい。 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ケ 歯・歯列の機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質 オ セメント質 5 口腔の生態系 ウ プラーク<バイオフィルム> 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成 エ 口腔の生態系 d プラーク<口腔バイオフィルム></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯 (乳歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *⑤口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/07/02 (水) 4時限 14:40~16:10	歯の硬組織・歯面堆積物	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織の機能を理解するために、エナメル質および象牙質に含有する成分を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. エナメル質および象牙質に含有するタンパク質を説明できる。 2. 歯の無機質の成分 (ヒドロキシアパタイト結晶) を説明できる。 3. ペリクルの成分と形成過程を説明できる。 4. プラークと歯石の成分、形成過程を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯と歯周組織の断面を図示し、名称を列挙しなさい。 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ケ 歯・歯列の機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能</p>	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/02 (水) 4時限 14:40～16:10	歯の硬組織・歯面堆積物	<p>4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質 オ セメント質 5 口腔の生態系 ウ プラーク<バイオフィルム> 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成 エ 口腔の生態系 d プラーク<口腔バイオフィルム></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *③歯(乳歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *⑤口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/07/09 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周組織の特性と破壊(全身疾患)	<p>【授業の一般目標】 歯周病とそこから生じる全身疾患を理解するために、歯周病の発生機序を学習する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯周組織の代謝の特徴を説明できる。 2. 唾液と歯肉溝浸出液の成分の特徴を説明できる。 3. 感染から歯槽骨吸収までの流れを説明できる。 4. 歯周病と全身疾患の関連について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周病が引き起こす可能性がある全身疾患を挙げ、発生機序を説明しなさい。「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 コ 歯周病と全身疾患との関わり</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成(根尖歯周組織、辺縁歯周組織) 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 カ 歯肉</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/07/09 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周組織の特性と破壊(全身疾患)	<p>【授業の一般目標】 歯周病とそこから生じる全身疾患を理解するために、歯周病の発生機序を学習する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯周組織の代謝の特徴を説明できる。 2. 唾液と歯肉溝浸出液の成分の特徴を説明できる。 3. 感染から歯槽骨吸収までの流れを説明できる。 4. 歯周病と全身疾患の関連について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周病が引き起こす可能性がある全身疾患を挙げ、発生機序を説明しなさい。「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患</p>	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/09 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周組織の特性と破壊 (全身疾患)	<p>8 成人の歯周病 コ 歯周病と全身疾患との関わり</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成 (根尖歯周組織、辺縁歯周組織) 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 カ 歯肉</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/07/09 (水) 3時限 13:00～14:30	齶蝕の発生メカニズム・代用甘味料	<p>【授業の一般目標】 より良い歯科医師になるために、歯科二大疾患の1つである齶蝕の発生機序と予防法を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕の発生に関与する因子とそれらの相互作用を説明できる。 2. 齶蝕の発生要因を説明できる。 3. 主な代用甘味料とその予防メカニズムを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 *⑤口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。</p>	青木 秀史
2014/07/09 (水) 4時限 14:40～16:10	齶蝕の発生メカニズム・代用甘味料	<p>【授業の一般目標】 より良い歯科医師になるために、歯科二大疾患の1つである齶蝕の発生機序と予防法を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕の発生に関与する因子とそれらの相互作用を説明できる。 2. 齶蝕の発生要因を説明できる。 3. 主な代用甘味料とその予防メカニズムを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 「生化学冊子」に記載。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 *⑤口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。</p>	青木 秀史
2014/07/16 (水) 1時限	第3回平常試験 (領域別試験3)	<p>【授業の一般目標】 「口腔生化学」領域全般の理解度を測るために、平常試験をおこなう。</p>	平塚 浩一 パワー ウォール

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:00～10:30	第3回平常試験 (領域別試験3)	<p>【準備学習項目】 範囲を良く復習し、理解しておくこと。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、第一実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	青木 秀史 小倉 直美
2014/07/16(水) 2時限 10:40～12:10	第3回平常試験 (領域別試験3) 解説	<p>【授業の一般目標】 「口腔生化学」領域全般の理解を深めるために、平常試験解説をおこなう。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 考えの誤りを訂正する。</p> <p>【準備学習項目】 範囲を良く復習し、理解しておくこと。</p> <p>【学習場所・媒体等】 個人成績表</p> <p>【学習方略(LS)】 その他</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一 パワー ウジャー 青木 秀史 小倉 直美
2014/07/16(水) 3時限 13:00～14:30	硬組織・唾液・う 蝕に関する実習	<p>【授業の一般目標】 各自の唾液の緩衝作用の実験から、口腔内細菌の有機酸代謝と唾液緩衝作用の相互作用と蝕蝕の発生機序を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 唾液の緩衝能を測定し、個々のデータの違いから蝕蝕罹患の危険度を考察することができる。</p> <p>【準備学習項目】 「蝕蝕」の講義内容を十分に理解する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 生化学冊子</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	青木 秀史 寺尾 直人 丸山 満博 パワー ウジャー
2014/07/16(水) 4時限 14:40～16:10	硬組織・唾液・う 蝕に関する実習	<p>【授業の一般目標】 各自の唾液の緩衝作用の実験から、口腔内細菌の有機酸代謝と唾液緩衝作用の相互作用と蝕蝕の発生機序を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 唾液の緩衝能を測定し、個々のデータの違いから蝕蝕罹患の危険度を考察することができる。</p> <p>【準備学習項目】 「蝕蝕」の講義内容を十分に理解する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 生化学冊子</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	青木 秀史 寺尾 直人 丸山 満博 パワー ウジャー
2014/07/23(水) 1時限 09:00～10:30	平常試験(領域別 試験)2・3追再 試験(未定)	<p>【授業の一般目標】 知識の再確認をするために、追再試験をおこなう。</p> <p>【準備学習項目】 範囲を良く復習し、理解しておくこと。</p> <p>【学習方略(LS)】</p>	平塚 浩一 パワー ウジャー 青木 秀史 小倉 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/23 (水) 1時限 09:00～10:30	平常試験 (領域別試験) 2・3 追再試験 (未定)	講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室、第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	平塚 浩一 バワール ウジャー 青木 秀史 小倉 直美
2014/07/23 (水) 2時限 10:40～12:10	特別講義 (未来の歯科医療)	【授業の一般目標】 より良い歯科医師になるために、未来の歯科医療を学習する。 【準備学習項目】 特になし。 【学習場所・媒体等】 102教室 【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	安孫子 宜光
2014/07/23 (水) 3時限 13:00～14:30	歯周病に関する実習	【授業の一般目標】 歯周病の病態を分子レベルで解析・考察するために、PCR法やRT-PCR法を使用して患者歯肉のRNAを分析する実習を行う。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周病の病態を分子レベルで解析・考察できる。 2. PCR法、RT-PCR法を説明できる。 【準備学習項目】 「転写」、「遺伝子工学」と「歯周病」の講義内容を復習する。 【学習場所・媒体等】 生化学冊子 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	平塚 浩一 渡邊 信幸 小倉 直美
2014/07/23 (水) 4時限 14:40～16:10	歯周病に関する実習	【授業の一般目標】 歯周病の病態を分子レベルで解析・考察するために、PCR法やRT-PCR法を使用して患者歯肉のRNAを分析する実習を行う。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周病の病態を分子レベルで解析・考察できる。 2. PCR法、RT-PCR法を説明できる。 【準備学習項目】 「転写」、「遺伝子工学」と「歯周病」の講義内容を復習する。 【学習場所・媒体等】 生化学冊子 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	平塚 浩一 渡邊 信幸 小倉 直美
2014/09/10 (水) 1時限 09:00～10:30	実習総合試験	【授業の一般目標】 4回の実習内容のまとめ試験を行うことで、応用力をはかる。 【準備学習項目】 実習で行った全ての内容をよく理解しておく。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 102教室、第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	平塚 浩一 バワール ウジャー 青木 秀史 小倉 直美
2014/09/10 (水) 2時限	実習総合試験	【授業の一般目標】 4回の実習内容のまとめ試験を行うことで、応用力をはかる。	平塚 浩一 バワール ウジャー

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40~12:10	実習総合試験	<p>【準備学習項目】 実習で行った全ての内容をよく理解しておく。</p> <p>【学習方略（L S）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 1 0 2 教室、第 1 実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	青木 秀史 小倉 直美
2014/09/10（水） 3時限 13:00~14:30	実習総合試験解説	<p>【授業の一般目標】 4回の実習内容のまとめ試験を行うことで、応用力をはかる。</p> <p>【準備学習項目】 実習で行った全ての内容をよく理解しておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 特になし</p> <p>【学習方略（L S）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一 バワール ウジャー 青木 秀史 小倉 直美
2014/09/10（水） 4時限 14:40~16:10	実習総合試験解説	<p>【授業の一般目標】 4回の実習内容のまとめ試験を行うことで、応用力をはかる。</p> <p>【準備学習項目】 実習で行った全ての内容をよく理解しておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 特になし</p> <p>【学習方略（L S）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一 バワール ウジャー 青木 秀史 小倉 直美

微生物学(微生物学・免疫学)

年次	学期	学習ユニット責任者
2年次	前学期	續橋 治 (口腔微生物学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	ヒトに病原性を持つ微生物、ヒトの健康に密接に関連する微生物の基礎微生物学事項、感染、発症、予防、治療の機序と本態について学ぶ。さらには、1) 感染症はhost-parasite relationshipで成り立っているが、病原体が常在菌や平素無害菌の場合もあるので広く宿主-微生物関係として理解すること；2) 疾病の流行、病原体の感染源、感染経路などを理解するには、自然界において、微生物は突然変異などで、宿主は医学・科学を進歩させることなどで変遷してきたけれども、医学の進歩がすべて有益ということばかりでなく、同時に医療問題を起こす場合のあることも念頭におくところが大切であること；このような概念を踏まえて学ぶ。
担当教員	續橋 治、栗原 紀子、齋藤 真規、※平澤 正知、高田 和子
教科書	最新口腔微生物学 奥田克爾、石原和幸、加藤哲男 一世出版
参考図書	戸田新細菌学 改訂34 版 編集 吉田眞一、柳雄介、吉開泰信 南山堂 口腔内バイオフィルム 奥田克爾 医歯薬出版
評価方法 (EV)	平常試験 (30% x 2 回)、前・後半試験 (20% x 2 回) および学習態度等により総合的に評価する。講義を1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。なお、合格点 (60 点) に達しない者に対し、再試験を行う場合があるが、講義を1/5以上欠席した場合受験資格を与えない。最終評価は微生物学2/3および免疫学1/3の割合とし、学則科目名を微生物学・免疫学と表記する。
学生への メッセージ オフィスアワー	口腔における病原微生物による疾病、すなわち感染症の予防および治療に関する基本方針の樹立を目指し、口腔微生物学の講義がその基盤の助けとなればと考えている。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 1時限 09:00~10:30	感染症の変遷	<p>【授業の一般目標】 微生物と病気との係わり合いについて説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 感染症の変遷：歴史を理解し、病原微生物の狩人達の卓越した業績について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 微生物と病気との係わり合いについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】</p>	平澤 正知
2014/04/01 (火) 2時限 10:40~12:10	細菌の構造と機能	<p>【授業の一般目標】 細菌の基本的な構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 原核細胞と真核細胞の違いを説明できる。 2. 細菌の大きさや形態を説明できる。 3. 細菌の基本的な構造物の役割と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第2章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	栗原 紀子
2014/04/08 (火) 1時限 09:00~10:30	細菌の代謝と遺伝	<p>【授業の一般目標】 細菌の発育条件と遺伝について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細菌の増殖条件を説明できる。 2. 細菌の代謝経路を説明できる。 3. 呼吸と発酵の概念を説明できる。</p>	栗原 紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/08 (火) 1時限 09:00～10:30	細菌の代謝と遺伝	<p>4. 細菌の染色体複製、遺伝子発現について説明できる。 5. 細菌の変異について説明できる。 6. 細菌の遺伝子伝達について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第3章</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	栞原 紀子
2014/04/08 (火) 2時限 10:40～12:10	細菌の感染機構1	<p>【授業の一般目標】 感染と発症について学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 感染の成立から発症までのプロセスを説明できる。 2. 細菌の感染経路を説明できる。 3. 細菌の病原因子を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第6章</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 ア 感染の概念</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p>	栞原 紀子
2014/04/15 (火) 1時限 09:00～10:30	細菌の感染機構2	<p>【授業の一般目標】 感染の種類と宿主の自然抵抗性を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 日和見感染、院内感染、内因感染を説明できる。 2. 宿主の物理的・生物学的バリアーを説明できる。 3. 宿主の体液性・細胞性防御因子を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第6、33章</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 ウ 宿主側の因子</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。</p>	栞原 紀子
2014/04/15 (火) 2時限 10:40～12:10	滅菌と消毒	<p>【授業の一般目標】 滅菌と消毒の理論と方法を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 滅菌と消毒の違いを説明できる。 2. 主な滅菌法の理論と適応について説明できる。 3. 主な消毒法の理論と適応について説明できる。</p>	續橋 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/15 (火) 2時限 10:40～12:10	滅菌と消毒	<p>【準備学習項目】 教科書第7章</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ク 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *③清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。</p>	續橋 治
2014/04/22 (火) 1時限 09:00～10:30	化学療法	<p>【授業の一般目標】 微生物に対する化学療法薬の作用機序について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 細菌に対する化学療法薬の種類と作用機序を説明できる。 2. 真菌に対する化学療法薬の種類と作用機序を説明できる。 3. ウイルスに対する化学療法薬の種類と作用機序を説明できる。 4. 薬剤耐性化の機序を説明できる。 5. 副作用について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第8章</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ス 抗感染症薬</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *④化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。</p>	續橋 治
2014/04/22 (火) 2時限 10:40～12:10	前半試験	<p>【授業の一般目標】 細菌の総論についての理解度を確認する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 微生物学総論について説明できる。 2. 滅菌と消毒、化学療法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 試験範囲：微生物学総論、滅菌と消毒および化学療法</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ス 抗感染症薬 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ク 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 *③清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。</p>	續橋 治 栗原 紀子 齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/22 (火) 2時限 10:40～12:10	前半試験	*④化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。	續橋 治 栞原 紀子 齋藤 真規
2014/05/13 (火) 1時限 09:00～10:30	グラム陽性球菌感染症	<p>【授業の一般目標】 ブドウ球菌・レンサ球菌感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.ブドウ球菌、レンサ球菌の基本的性状について説明できる。 2.黄色ブドウ球菌の病原性について説明できる。 3.化膿レンサ球菌、肺炎球菌、B群レンサ球菌の病原性について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第16、17章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	續橋 治
2014/05/13 (火) 2時限 10:40～12:10	グラム陰性球菌感染症	<p>【授業の一般目標】 ナイセリア属菌の感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.淋菌の基本的性状と病原性を説明できる。 2.髄膜炎菌の基本的性状と病原性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ナイセリア属菌の感染症について説明できる。教科書第18章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p>	齋藤 真規
2014/05/20 (火) 1時限 09:00～10:30	グラム陽性桿菌感染症	<p>【授業の一般目標】 グラム陽性桿菌の感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.ジフテリア菌の基本的性状と病原性を説明できる。 2.リステリア菌の基本的性状と病原性を説明できる。 3.炭疽菌、セレウス菌の基本的性状と病原性を説明できる。 4.破傷風菌、ボツリヌス菌、ウェルシュ菌、デフィシル菌の基本的性状と病原性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 グラム陽性桿菌の感染症について説明できる。教科書20章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明で</p>	齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/20 (火) 1時限 09:00～10:30	グラム陽性桿菌感染症	きる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	齋藤 真規
2014/05/20 (火) 2時限 10:40～12:10	抗酸菌感染症	【授業の一般目標】 病原性グラム陽性桿菌の感染症について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1.ジフテリア菌の基本的性状と病原性を説明できる。 2. リステリア菌の基本的性状と病原性を説明できる。 3.炭疽菌、セレウス菌の基本的性状と病原性を説明できる。 4.破傷風菌、ボツリヌス菌、ウェルシュ菌、デیفイシル菌の基本的性状と病原性を説明できる。 【準備学習項目】 病原性グラム陽性桿菌の感染症について説明できる。教科書第19章 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	齋藤 真規
2014/05/27 (火) 1時限 09:00～10:30	平常試験1	【授業の一般目標】 微生物学各論(一般細菌)について理解度の確認をする。 【行動目標 (SBOs)】 1.微生物 (一般細菌) について述べるができる。 【準備学習項目】 試験範囲: グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陽性桿菌、抗酸菌 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	續橋 治 栞原 紀子 齋藤 真規
2014/05/27 (火) 2時限 10:40～12:10	平常試験1	【授業の一般目標】 試験 【行動目標 (SBOs)】 1.微生物 (一般細菌) について述べるができる。 【準備学習項目】 試験 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	續橋 治 栞原 紀子 齋藤 真規
2014/06/03 (火) 1時限 09:00～10:30	グラム陰性桿菌感染症	【授業の一般目標】 グラム陰性桿菌による感染症を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1.緑膿菌、百日咳菌、レジオネラ菌の基本的性状と病原性を説明できる。 2.腸内細菌科の基本的性状を説明できる。 3.下痢原性大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌群の病原性を説明できる。	齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/03 (火) 1時限 09:00～10:30	グラム陰性桿菌感染症	4. ペスト菌、腸炎エルシニア、コレラ菌、腸炎ビブリオの病原性を説明できる。 【準備学習項目】 グラム陰性桿菌による感染症を説明できる。教科書第21章 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	齋藤 真規
2014/06/03 (火) 2時限 10:40～12:10	スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア感染症	【授業の一般目標】 スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア感染症について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. スピロヘータの基本的性状とトレボネーマ、ボレリア、レプトスピラ感染症について説明できる。 2. マイコプラズマの基本的性状と感染症について説明できる。 3. リケッチアの基本的性状と感染症について説明できる。 【準備学習項目】 教科書第22、23、24章 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	平澤 正知
2014/06/10 (火) 1時限 09:00～10:30	クラミジア、真菌、原虫感染症	【授業の一般目標】 クラミジア、真菌、原虫の感染症を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. クラミジアの基本的性状と感染症について説明できる。 2. 真菌の基本的性状と感染症について説明できる。 3. 原虫の基本的性状と感染症について説明できる。 【準備学習項目】 教科書第24、32章 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	續橋 治
2014/06/10 (火) 2時限 10:40～12:10	ウイルスの概念と基本的構造	【授業の一般目標】 ウイルスの基本的構造を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. ウイルスの概念を説明できる。 2. ウイルスの基本的な構造を説明できる。	高田 和子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/10 (火) 2時限 10:40～12:10	ウイルスの概念と 基本的構造	<p>【準備学習項目】 教科書第25章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	高田 和子
2014/06/17 (火) 1時限 09:00～10:30	ウイルスの感染機 構	<p>【授業の一般目標】 ウイルスの増殖様式と予防ワクチンについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ウイルスの感染、増殖過程を説明できる。 2. ウイルスと標的細胞について説明できる。 3. 予防ワクチンについて説明できる。 4. 腫瘍ウイルスの種類を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第25、26章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p>	栗原 紀子
2014/06/17 (火) 2時限 10:40～12:10	ウイルス感染症1	<p>【授業の一般目標】 ヘルペスウイルス感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ヘルペスウイルスの基本的性状を説明できる。 2. ヘルペスウイルス感染症の初感染と回帰発症を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書第27章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p>	栗原 紀子
2014/06/24 (火) 1時限 09:00～10:30	ウイルス感染症2	<p>【授業の一般目標】 肝炎ウイルス、レトロウイルス感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 肝炎ウイルスの基本的性状を説明できる。 2. 肝炎ウイルスの病原性を説明できる。 3. 予防ワクチンを説明できる。 4. レトロウイルスの基本的性状を説明できる。 5. HIV、HTLV-1感染症を説明できる。</p>	栗原 紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/24 (火) 1時限 09:00～10:30	ウイルス感染症2	<p>【準備学習項目】 教科書第28、29章</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p>	栗原 紀子
2014/06/24 (火) 2時限 10:40～12:10	ウイルス感染症3	<p>【授業の一般目標】 様々なウイルス感染症について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. インフルエンザウイルス感染症を説明できる。 2. ポリオウイルス、コクサッキーウイルス感染を説明できる。 3. 麻疹ウイルス、風疹ウイルス感染症を説明できる。 4. ムンプスウイルス、出血熱ウイルス感染症を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 教科書30、31章</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p>	栗原 紀子
2014/07/01 (火) 1時限 09:00～10:30	後半試験	<p>【授業の一般目標】 微生物各論、ウイルスについて理解度の確認を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 微生物学各論(一般細菌)について述べる事ができる。 2. ウイルス総論、各論について述べる事ができる。</p> <p>【準備学習項目】 試験範囲：グラム陰性桿菌、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、真菌、ウイルス</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p>	續橋 治 栗原 紀子 齋藤 真規
2014/07/01 (火) 2時限 10:40～12:10	口腔内細菌の生態	<p>【授業の一般目標】 口腔内細菌叢について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔内各部位の細菌叢を説明できる。 2. ペリクルについて説明できる。</p>	齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/01 (火) 2時限 10:40～12:10	口腔内細菌の生態	3. プラーク形成過程を説明できる。 【準備学習項目】 教科書34章 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 エ 口腔の生態系 a 常在微生物叢 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。	齋藤 真規
2014/07/08 (火) 1時限 09:00～10:30	口腔レンサ球菌	【授業の一般目標】 口腔レンサ球菌について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔レンサ球菌群の分類と性状を説明できる。 2. ミュータンス菌群の齶蝕原性と病原因子を説明できる。 【準備学習項目】 口腔レンサ球菌群およびミュータンス菌群について説明できる。教科書35章 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 エ 口腔の生態系 d プラーク<口腔バイオフィルム> 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	齋藤 真規
2014/07/08 (火) 2時限 10:40～12:10	齶蝕症	【授業の一般目標】 齶蝕原性細菌と齶蝕発症機序について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕発症機序を説明できる。 2. 齶蝕予防法を説明できる。 【準備学習項目】 齶蝕の発症機序と予防法について説明できる。教科書41章 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 1 齶蝕の予防・管理 ア 齶蝕の原因 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	平澤 正知
2014/07/15 (火) 1時限 09:00～10:30	口腔グラム陰性桿菌とスピロヘータ	【授業の一般目標】 口腔内に生息するグラム陰性桿菌とスピロヘータについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 主な口腔グラム陰性桿菌の基本的性状を説明できる。 2. 口腔スピロヘータの基本的性状を説明できる。 【準備学習項目】 主な口腔グラム陰性桿菌とスピロヘータの基本的性状について説明できる。教	續橋 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/15 (火) 1時限 09:00～10:30	口腔グラム陰性桿菌とスピロヘータ	<p>科書37, 38章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 2 歯周病の予防・管理 ア 歯周病の病因</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p>	續橋 治
2014/07/15 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周病	<p>【授業の一般目標】 歯周病について細菌学的側面から理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 主な歯周病原性細菌の基本的性状と病原性を説明できる。 2. 歯周炎発症の局所的要因について説明できる、</p> <p>【準備学習項目】 主な歯周病原性細菌および歯周炎発症の局所要因について説明できる。教科書43章</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 2 歯周病の予防・管理 ア 歯周病の病因</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p>	續橋 治
2014/07/22 (火) 1時限 09:00～10:30	顎口腔領域に症状を呈する感染症 (齶蝕症・歯周病を除く)	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域に症状を呈する感染症 (齶蝕症・歯周病を除く) について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎放線菌症を説明できる。 2. 口腔カンジダ症を説明できる。 3. ウイルス感染症による特異的な口腔症状を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顎顔面領域に症状を呈する感染症 (齶蝕症・歯周病) を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ケ 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 16 口腔症状を呈する疾患 ア ウイルス感染症 イ 細菌感染症</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p>	齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/22 (火) 1時限 09:00~10:30	顎口腔領域に症状を呈する感染症(齶蝕症・歯周病を除く)	生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	齋藤 真規
2014/07/22 (火) 2時限 10:40~12:10	口腔細菌の全身疾患の関わり	<p>【授業の一般目標】 口腔常在菌と全身疾患への関わりについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細菌性心内膜炎の原因と発症機序を説明できる。 2. 誤嚥性肺炎の原因と発症機序を説明できる。 3. 歯周疾患と基質疾患との相互関係について説明できる。 4. 歯周疾患の妊婦への影響を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔常在菌と全身疾患への関わりについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 エ 感染症</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染</p> <p>*②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。</p>	齋藤 真規
2014/09/09 (火) 1時限 09:00~10:30	平常試験2	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 微生物学各論(口腔細菌)について説明できる。 2. 齶蝕および周病原性細菌について説明できる。 3. 口腔微生物と口腔・全身疾患の関与について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 試験範囲：口腔微生物、齶蝕症、歯周病、口腔微生物と全身疾患</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p>	續橋 治 菜原 紀子 齋藤 真規
2014/09/09 (火) 2時限 10:40~12:10	平常試験2	<p>【授業の一般目標】 試験</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 微生物学各論(口腔細菌)について説明できる。 2. 齶蝕および周病原性細菌について説明できる。 3. 口腔微生物と口腔・全身疾患の関与について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	續橋 治 菜原 紀子 齋藤 真規

医療行動科学 4

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学習目標 (G I O)	<p>医療は単に疾患だけを診るのではなく、生物・心理・社会的存在、すなわち、ひとりの人間としての患者を理解し、治療にあたる全人的医療の必要性が今日求められている。慢性疾患や生活習慣病の治療と予防、心身症、障害者、訪問診療など心理学的知識を必要とする健康問題はますます増加の一途をたどっているのが現状である。</p> <p>心理学はギリシャの哲学にさかのぼる伝統的な学問であるが、近年では実証科学として心に関する法則を得ようとしている。「心の科学」あるいは「行動の科学」と呼ばれており、人間の心や行動、対人関係などについて明らかにしようとする学問である。例えば、人間の知覚や認知、記憶や思考、感情や情動などの心的活動は言語的表現、表情やしぐさにあられ、生理反応として生じる。そのために心理学は行動科学とも称される。</p> <p>「ヒトの行動と心理」、すなわち「医療心理学」は、行動、価値観や態度といった情意領域に関して、将来の歯科医療を施行する医療人としての行動基盤とした「心理学的な見方」を習得することに目標をおいている。</p>
担当教員	伊藤 孝訓、多田 充裕、青木 伸一郎、大沢 聖子、※蝦名 直美、※佐治 量哉
教科書	講義内容に関連した資料を配布する
参考図書	「グラフィック認知心理学」 森 敏昭、井上 毅、松井孝雄 サイエンス社 「グラフィック社会心理学 (第2 版)」 池上知子、遠藤由美 サイエンス社 その他、随時紹介する。
実習器材	なし
評価方法 (E V)	講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)、製作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) とする。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の処置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0~60点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	より良い患者-医療者関係を構築するには、人の行動の背景心理である医療行動科学を学ぶ必要があります。その基盤となるのが心理学です。少し深く基本からそのメカニズムについて考えてみましょう。専門家の講義が含まれますので積極的に学んで下さい。 E-mail (shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/29 (月) 2時限 10:40~12:10	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために心理学の役割を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「医療心理学」について説明できる。 2. 人の行動と心理について説明できる。 3. 歯科医学における心理学の役割を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 いわゆる心理について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本</p>	伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/29 (月) 2時限 10:40~12:10	ガイダンス	E-1-1) 基本的診療技能 *③診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。	伊藤 孝訓
2014/10/06 (月) 2時限 10:40~12:10	認知心理	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために認知心理を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 知覚、認知について説明できる。 2. 思考、判断について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 認知の意味を概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 7 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *③診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	蝦名 直美
2014/10/20 (月) 2時限 10:40~12:10	学習・認知心理	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために学習・認知心理を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 記憶について説明できる。 2. 学習の動機付けについて概説できる。 3. 学習、行動変容について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 いわゆる学習の意味を概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 7 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。</p>	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/20 (月) 2時限 10:40～12:10	学習・認知心理	E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *⑩診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。	蝦名 直美
2014/10/27 (月) 2時限 10:40～12:10	社会心理	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために社会心理を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.感情、情動について説明できる。 2.欲求、動機付けについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 日本人観について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 8 医療面接 ア 意義、目的 c 患者の指導、動機付け、治療への参加 イ 面接のマナー f 感情面への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *②個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。</p>	蝦名 直美
2014/11/10 (月) 2時限 10:40～12:10	脳科学－脳機能－	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために脳科学を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.神経系の発生、分類と構造、働きについて説明できる。 2.脳科学の研究法 (非侵襲脳機能計測法) について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 脳の構造と機能を概略できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 2 機能の発達 イ 認知機能 エ 情緒・社会性 総論IX 検査 4 生体機能検査 ケ 脳波検査</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 *⑧神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明できる。 *⑨シナプスにおける興奮伝達を概説できる。</p>	佐治 量哉

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/17 (月) 2時限 10:40~12:10	平常試験1	【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 102教室	伊藤 孝訓 青木 伸一郎
2014/12/01 (月) 2時限 10:40~12:10	脳科学ー感性ー	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために情動、感情、理性と脳機能の関連を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 情動に関わる脳機能について概説できる。 2. 感情に関わる脳機能について概説できる。 3. 理性に関わる脳機能について概説できる。 【準備学習項目】 情動、感情と理性について概説できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー f 感情面への対応 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 2 機能の発達 イ 認知機能 エ 情緒・社会性 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 *⑩神経伝達物質の種類と機能を説明できる。	佐治 量哉
2014/12/08 (月) 2時限 10:40~12:10	脳科学ー脳の発達ー	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために発達脳科学を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 脳機能の障害と心の病について概説できる。 2. 脳と心の発達について概説できる。 【準備学習項目】 心身の発達と病気について概説できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 2 機能の発達 イ 認知機能 エ 情緒・社会性 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】 *⑤血液脳関門を説明できる。 *⑩神経伝達物質の種類と機能を説明できる。	佐治 量哉
2014/12/15 (月) 2時限 10:40~12:10	パーソナリティ	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するためにパーソナリティを修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 性格、パーソナリティについて説明できる。 2. コミュニケーションスタイルについて説明できる。	大沢 聖子 伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/15 (月) 2時限 10:40～12:10	パーソナリティ	<p>【準備学習項目】 性格と気質について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *③診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	大沢 聖子 伊藤 孝訓
2014/12/22 (月) 2時限 10:40～12:10	ストレスと健康	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するためにストレスと健康を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 全人的医療モデルと患者の理解について説明できる。 2. ストレスが招く心の病について説明できる。 3. 患者の不安、ストレスと心理について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ストレスと心の関係を概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントなどの配布資料</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 キ 心理、精神機能 総論Ⅹ 治療 10 その他の治療法 ケ 心身医学療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-5) 心因性疾患 *①心身相関を説明できる。 *②歯科心身症を説明できる。</p>	多田 充裕
2014/12/25 (木) 2時限 10:40～12:10	心理検査	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために心理検査を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ストレスについて説明できる。 2. YG心理検査、自己分析の演習ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/25 (木) 2時限 10:40～12:10	心理検査	<p>心理検査の特徴を概説できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-5) 心因性疾患 *④心理テストを説明できる。</p>	青木 伸一郎
2015/01/19 (月) 2時限 10:40～12:10	判断とエラー	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために判断とエラーの思考を修得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 注意について概説できる。 2. 判断にまつわるエラーの種類について説明できる。 3. 判断の心理学的背景について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 人の行為にはエラーがつきものということを概説できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *③診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	伊藤 孝訓
2015/01/26 (月) 2時限 10:40～12:10	心理とケア	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために高齢者の心理とケアを修得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 高齢者の心理について説明できる。 2. ケアの心理について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ライフサイクルによる心理傾向を概説できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健</p>	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/26 (月) 2時限 10:40～12:10	心理とケア	イ 高齢者の特性 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健 ア 現状、動向 ウ QOL <quality of life>、日常生活動作 <ADL> オ 地域支援事業 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑩摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。	蝦名 直美
2015/02/02 (月) 2時限 10:40～12:10	対人行動	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために対人行動を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 対人行動について説明できる。 2. メタ認知について説明できる。 3. コミュニケーションに関わる心理を説明できる。 4. 言語とコミュニケーションについて説明できる。 【準備学習項目】 行動を操作する心の働きの存在を概説できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション) e プライバシーの保護 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓
2015/02/05 (木) 2時限 10:40～12:10	会話行動を分析する	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために会話行動分析を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 医療における特異的な人間関係について説明できる。 2. 言語とメタメッセージについて説明できる。 3. 非言語コミュニケーションと心理について説明できる。 【準備学習項目】 人の行動と心理を概説できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション) e プライバシーの保護 f 感情面への対応 【コアカリキュラム】	青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/05 (木) 2時限 10:40～12:10	会話行動を分析する	F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。	青木 伸一郎
2015/02/09 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験 2	【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 102教室	伊藤 孝訓 青木 伸一郎

歯科医学総合講義 2

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	2年次学年教育主任

学習目標 (GIO)	社会の要請に答える創造性と人間性豊かで自律する全人的な歯科医療となるため、これまで講義や実習で学んだ内容を統合し、松戸歯学部 student doctor として必要な態度・知識・技能を修得する。
担当教員	伊藤 孝訓、平塚 浩一、吉垣 純子、落合 智子、三枝 禎、久山 佳代、西山 典宏、近藤 信太郎、岡田 裕之、金田 隆、小椋 一朗、青木 伸一郎、遠藤 弘康、高田 和子、瀧橋 治、瀧澤 智美、松野 昌展
教科書	各科目の教科書に準ずる
評価方法 (EV)	定期試験によって評価点とする。但し、当該学年に配置された全科目のうち、授業時間数の1/5以上を欠席した科目が1科目以上ある者の成績は、0~60点とする。(60点を超す場合であっても60点とする) 再試験は実施する。但し、当該学年に配置された全科目のうち、授業時間の1/5以上を欠席した科目が1科目以上ある者は、再試験を受ける資格が与えられない。追試験は、正当な理由を証明する書類の提出後、審議の上、受験資格の有無は決定される。
学生へのメッセージ オフィスアワー	1年次の基礎生命科学、2年次で学習する授業内容について、自身の得意、不得意分野を把握すること。また、授業を通して効果的な自学自習の行い方を身につけて欲しい。 注意：本講義は、各科目のまとめなので講義日を遅らせ、昨年同様に12月1日から開始し、最終は2月12/13/14日に集中講義で行う。10/11月は休講とする。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/29 (月) 1時限 09:00~10:30	歯の解剖学 振替日:12月1日 (月) 09:00-10:30	<p>【授業の一般目標】 科目のGIOに準ずる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる</p> <p>【準備学習項目】 1年次で学んだ「歯の解剖学」の復習を行う。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 a 歯の形態 (歯種の鑑別)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 b 歯式 c 歯の構造・組成 d 歯周組織の構造・組成 (根尖歯周組織、辺縁歯周組織) 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態 イ 歯式</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	近藤 信太郎 松野 昌展
2014/10/06 (月) 1時限 09:00~10:30	歯の解剖学 振替日:12月8日 (月) 09:00-10:30	<p>【授業の一般目標】 科目のGIOに準ずる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる</p> <p>【準備学習項目】 1年次で学んだ「歯の解剖学」の復習を行う。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p>	近藤 信太郎 松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/06 (月) 1時限 09:00～10:30	歯の解剖学 振替日:12月8日 (月) 09:00-10:30	<p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 3 歯の異常 エ 異常咬頭・結節</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 コ 歯列 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 イ 咬合接触、咬合様式</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 3 歯の異常 ア 過剰歯 イ 歯の先天欠如 オ 歯内歯 ク タウロドント ケ 歯根の異常</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。</p>	近藤 信太郎 松野 昌展
2014/10/20 (月) 1時限 09:00～10:30	医療行動科学 (医療倫理学) 振替日:12月15日 (月) 09:00-10:30	<p>【授業の一般目標】</p> <p>科目のGIOに準ずる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 科目のSBOsに準ずる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>2年次で学んだ「医療倫理学」の復習をする。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 c 自己決定権</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 基本事項 A-1 患者の尊厳 *①患者の権利を説明できる。 *②患者の自己決定権を説明できる。 A-2 医の倫理 *②医の倫理に関する規範・国際規範 (ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等)を概説できる。 *③生と死に関わる倫理的問題を説明できる。 A-3 歯科医師の責務 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 *⑤歯科医師の法的義務を列挙できる。 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。</p>	伊藤 孝訓 遠藤 弘康
2014/10/27 (月) 1時限 09:00～10:30	生理学 振替日:12月22日 (月) 09:00-10:30	<p>【授業の一般目標】</p> <p>科目のGIOに準ずる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 科目のSBOsに準ずる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>2年次で学んだ「生理学」の復習を行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/27 (月) 1時限 09:00～10:30	生理学 振替日:12月22日 (月) 09:00-10:30	】 C-2-3) - (3) 循環器系 *④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 C-2-3) - (4) 感覚器系 *①皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。 C-2-3) (5) 神経系 *②末梢神経系の機能分類(体性神経系と自律神経系)を説明できる。 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】 C-2-3) - (8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】 C-2-3) - (11) 血液、造血器、リンパ性器官 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 *④止血と血液凝固の機序を説明できる。【線溶系を含む。】	吉垣 純子
2014/11/10 (月) 1時限 09:00～10:30	生化学 振替日:平成27年1 月19日(月) 09:00 -10:30	【授業の一般目標】 科目のGI0に準ずる。 【行動目標(SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる。 【準備学習項目】 2年次で学んだ「生化学」の復習を行う。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 a 遺伝子、染色体 b 細胞・細胞内小器官の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成 エ 口腔の生態系 c 唾液の作用 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質 イ 細胞の構造・機能 エ 遺伝子、遺伝 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 5 口腔の生態系 ア 唾液 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 ア 炎症の概念 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *④生体内におけるエネルギー利用を説明できる。 *⑤酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。 C-1-2) 遺伝子と遺伝 *①遺伝子(染色体)の構造とセントラルドグマを説明できる。 *②DNA複製と修復の機序を説明できる。 *③転写と転写調節の機序を説明できる。 *④翻訳の機序を説明できる。 C-1-3) 細胞の構造と機能 *③細胞周期と細胞分裂を説明できる。 *④細胞死(壊死とアポトーシス)の基本的機序を説明できる。 C-1-4) 細胞のコミュニケーション *①細胞の接着装置、細胞間と細胞・マトリックス間の接着分子を説明できる。 *③主な細胞外マトリックス分子の構造と機能を説明できる。	平塚 浩一
2014/11/17 (月) 1時限 09:00～10:30	解剖学 振替日:平成27年1 月26日(月) 09:00 -10:30	【授業の一般目標】 科目のGI0に準ずる。 【行動目標(SBOs)】 1. 科目 【準備学習項目】 2年次で学んだ「解剖学」の復習を行う。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準(主)】	近藤 信太郎 松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/17 (月) 1時限 09:00~10:30	解剖学 振替日:平成27年1月26日(月) 09:00-10:30	<p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 e 頭蓋を構成する骨 (神経頭蓋、内臓頭蓋)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 a 口腔の構造 (口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口 {腔} 底、唾液腺、頬、口唇、口峽、歯列) d 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋の種類) f 頭頸部の神経 (三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経) g 頭頸部の動脈 (総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈)、舌動脈、顔面動脈、顎動脈) h 顎関節の構成 (下顎頭、下顎窩、関節円板、関節包、関節結節、靭帯) 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 ア 頭頸部の骨 イ 頭頸部の筋 ウ 頭頸部の脈管 エ 頭頸部の神経 オ 頭頸部の内臓</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 *③頭頸部の脈管系を説明できる。 *④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 *⑤顎関節の構造と機能を説明できる。 *⑥下顎の随意運動の基本を説明できる。 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *②舌の構造と機能を説明できる。 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】 *⑦構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 松野 昌展
2014/12/01 (月) 1時限 09:00~10:30	組織・発生学 振替日:平成27年2月2日(月) 09:00-10:30	<p>【授業の一般目標】 科目のGI0に準ずる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる。</p> <p>【準備学習項目】 2年次で学んだ「組織・発生学」の復習を行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 c 組織 (上皮組織、支持組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 a 口腔の構造 (口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口 {腔} 底、唾液腺、頬、口唇、口峽、歯列) c 唾液の種類 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成 d 歯周組織の構造・組成 (根尖歯周組織、辺縁歯周組織)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *①上皮を形態的および機能的に分類できる。 *③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。 *⑦硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。</p>	岡田 裕之
2014/12/08 (月) 1時限 09:00~10:30	医療行動科学4 (医療心理学) 振替日:平成27年2月12日(木) 第1限 09:00-10:30	<p>【授業の一般目標】 科目のGI0に準ずる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる。</p> <p>【準備学習項目】 2年次で学んだ「医療心理学」の復習を行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	伊藤 孝訓 青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/08 (月) 1時限 09:00～10:30	医療行動科学4 (医療心理学) 振替日:平成27年2 月12日(木) 第1限 09:00-10:30	<p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 g 患者・家族の考え方・希望</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 ⑤患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 A-5-1) 安全性の確保 *①歯科医療における事故の特異性を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *⑩診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	伊藤 孝訓 青木 伸一郎
2014/12/15 (月) 1時限 09:00～10:30	微生物学 振替日:平成27年2 月12日(木) 第2限 10:40-12:10	<p>【授業の一般目標】 科目のGI0に準ずる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる。</p> <p>【準備学習項目】 2年次で学んだ「微生物学」の復習を行う。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 *③清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。 *④化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。 *⑤新興・再興感染症について説明できる。 *⑥院内感染について、原因、予防法について説明できる。</p>	續橋 治
2014/12/22 (月) 1時限 09:00～10:30	免疫学 振替日:平成27年2 月12日(木) 第3限 13:00-14:30	<p>【授業の一般目標】 科目のGI0に準ずる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる。</p> <p>【準備学習項目】 2年次で学んだ「免疫学」の復習を行う。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫(自然免疫、獲得免疫)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論III 人体の正常構造と機能 3 免疫 ア 免疫系臓器、免疫担当細胞 イ 免疫応答とその調節 ウ 自然免疫 エ 獲得免疫</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。</p>	落合 智子 瀧澤 智美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/22 (月) 1時限 09:00～10:30	免疫学 振替日:平成27年2月12日(木) 第3限 13:00-14:30	<p>*④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 *⑤アレルギーの分類を説明できる。【発症機序を含む。】 *⑥免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。 *⑦ワクチンの意義と問題点を説明できる。</p>	落合 智子 瀧澤 智美
2014/12/25 (木) 1時限 09:00～10:30	歯科材料学 振替日:平成27年2月13日(金) 第1限 09:00-10:30	<p>【授業の一般目標】 科目のGI0に準ずる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる。</p> <p>【準備学習項目】 2年次で学んだ「歯科材料学」の復習を行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 a 基本的性質</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p>	西山 典宏
2015/01/19 (月) 1時限 09:00～10:30	病理学 振替日:平成27年2月13日(金) 第2限 10:40-12:10	<p>【授業の一般目標】 科目のGI0に準ずる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる。</p> <p>【準備学習項目】 2年次で学んだ「病理学」の復習を行う。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 a 健康・疾病の概念</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常、発育異常 d 炎症 f 嚢胞 g 腫瘍 h 循環障害 i 代謝障害、萎縮、壊死、壊疽</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-1) 細胞傷害、組織傷害および萎縮 *①細胞傷害と組織傷害について説明できる。【変性を含む。】 C-4-2) 修復と再生 *③創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。 C-4-3) 循環障害 *①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 *⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。 C-4-4) 炎症 *①炎症の定義を説明できる。【発症機序を含む。】 *②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。</p>	久山 佳代
2015/01/26 (月) 1時限 09:00～10:30	薬理学 振替日:平成27年2月13日(金) 第3限 13:00-14:30	<p>【授業の一般目標】 科目のGI0に準ずる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる。</p> <p>【準備学習項目】 2年次で学んだ「薬理学」の復習を行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p>	三枝 禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/26 (月) 1時限 09:00~10:30	薬理学 振替日:平成27年2月13日(金)第3限 13:00-14:30	<p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 a 薬物作用の種類 (局所作用、全身作用、直接作用、間接作用)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ア 薬物療法の種類 ウ 薬物動態 エ 薬効に影響を及ぼす因子 オ 薬物の作用部位・作用機序 カ 用量と反応 キ 薬物の連用 ケ 薬物の副作用・有害作用・薬物相互作用 コ 薬物適用の注意</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *①医薬品の分類を説明できる。 C-5-2) 薬理作用 *①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 *②薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 *③薬物の作用機序を説明できる。 *④薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。 *⑤薬物の連用の影響(薬物耐性、蓄積および薬物依存)を説明できる。 *⑥薬物の併用(協力作用、拮抗作用、相互作用)を説明できる。 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。</p>	三枝 禎
2015/02/02 (月) 1時限 09:00~10:30	放射線学 振替日:平成27年2月16日(月)第1限 09:00-10:30	<p>【授業の一般目標】 科目のGI0に準ずる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる。</p> <p>【準備学習項目】 2年次で学んだ「放射線学」の範囲の復習を行う。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 オ 画像検査 a エックス線撮影(口内法、パノラマエックス線撮影、CT、歯科用コーンビームCT、造影検査)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 エ エックス線撮影装置・器材 総論X 治療 8 放射線治療 イ 口腔領域の放射線治療 総論IX 検査 2 画像検査 ケ 口内法エックス線検査 コ パノラマエックス線検査 シ CT セ MRI ソ シンチグラフィ タ 超音波検査 サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査 カ デジタル画像システム</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 *②放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。 *③放射線防護の基準と方法を説明できる。 *④エックス線画像の形成原理を説明できる。【画像不良の原因を含む。】 *⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 *⑥口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明</p>	金田 隆 小椋 一朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/02 (月) 1時限 09:00～10:30	放射線学 振替日:平成27年2月16日(月) 第1限 09:00-10:30	できる。 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。 *⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(CT)、磁気共鳴撮像法(MRI)および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	金田 隆 小椋 一朗
2015/02/05 (木) 1時限 09:00～10:30	解剖学(2回目) 振替日:平成27年2月16日(月) 第2限 10:40-12:10	<p>【授業の一般目標】 科目のGI0に準ずる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる。</p> <p>【準備学習項目】 2年次で学んだ「解剖学」の復習を行う。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系(骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ア 骨格・筋系<運動器系> イ 消化器系 ウ 呼吸器系 エ 循環器系<脈管系> オ 泌尿器系 カ 生殖器系 キ 神経系<中枢・末梢神経系> ク 感覚器系 ケ 内分泌系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 C-2-3)-(3) 循環器系 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 *⑥リンパの循環路とリンパ節の構造と機能を説明できる。 C-2-3)-(4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。 C-2-3)-(5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3)-(6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 C-2-3)-(7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。 C-2-3)-(9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造と機能を説明できる。 C-2-3)-(10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】</p>	近藤 信太郎 松野 昌展
2015/02/09 (月) 1時限 09:00～10:30	組織・発生学(2回目) 振替日:平成27年2月16日(月) 第3限 13:00-14:30	<p>【授業の一般目標】 科目のGI0に準ずる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 科目のSBOsに準ずる。</p> <p>【準備学習項目】 2年次で学んだ「組織・解剖学」の復習を行う。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 a 口腔の構造(口腔前庭、固有口腔、口蓋、舌、口{腔}底、唾液腺、頬、口唇、口峡、歯列)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 カ 歯の形成・萌出 キ 歯周組織の形成</p>	岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/09 (月) 1時限 09:00~10:30	組織・発生学 (2 回目) 振替日:平成27年2 月16日(月) 第3限 13:00-14:30	6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化 ア 形態的变化 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。	岡田 裕之

歯科材料学 1

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	西山 典宏 (歯科生体材料学)

学習目標 (G I O)	<p>歯科治療は、歯科生体材料・歯科材料および歯科用器械がなくては成り立たない。これらの材料は適切に使用されてこそ期待した性能を発揮するため、材料の正しい取り扱い方と性質を習得する必要がある。</p> <p>そこで、歯科材料学1講義では、金属材料、セラミック材料、高分子材料および複合材料についてそれぞれの材料の性質や特徴を学ぶとともに、化学的、物理的、機械的性質についても理解する。さらに、各論として印象材、模型材、ワックス、鑄造用金属材料、合着・接着用材料および成形修復材料について種類、組成、硬化機構、特徴などを理解する。</p> <p>また、歯科材料学1実習では、材料の取り扱い実習として印象材、ワックス、石膏について実習を行い、材料の使用法を習得する。つぎに、各論実習として成形修復材料、合着用セメント、接着、印象材のレオロジー、加工用金属、インレーワックスについて物性の測定を行い、各材料の性質および特徴を把握し、実際に材料を臨床に応用していく上で必要な知識を養う。</p>
担当教員	西山 典宏、谷本 安浩、内田 僚一郎、※野村 充、※上原 信録、※手島 英貴、※渋谷 功、※長塚 明久、※菊竹 一代、※伊藤 仁美、※吉田 浩輝、會田 雅啓
教科書	スタンダード歯科理工学 第5版 榎本貢三、中寫 裕、西山典宏、宮崎 隆、米山 隆之 学研書院 歯科材料学実習要項 歯科生体材料学講座 歯科生体材料学講座
実習器材	歯科用器具が必要である。
評価方法 (E V)	<p>歯科材料学1講義では、平常試験 (50%×2回) によって評価する。</p> <p>歯科材料学1実習では、成形修復材料、合着用セメント、接着、印象材のレオロジー、加工用金属およびインレーワックスについて、それぞれ筆記試験およびレポート提出を行う。平常試験 (20%×2回)、レポートの採点結果 (50%)、実習内容の理解度などの実習態度 (10%) によって評価する。最終的には講義と実習の評価を6 : 4の割合で集計し、総合評価として決定する。</p> <p>講義・実習それぞれ1 / 5以上を欠席した場合、評価点は0 - 60点とする。また、講義・実習のいずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。</p> <p>なお、講義・実習ともに平常試験に対する再試験は行わない。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	講義で得た材料に関する知識と、実際に材料を操作して体得した知識を統合させて勉強しよう。歯科材料学の授業で解らないこと、知りたいことなどがあれば、いつでも研究室に来てください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/30 (火) 2時限 10:40~12:10	歯科材料学1講義 概論 材料の歯科治療への応用	<p>【授業の一般目標】 歯科生体材料・歯科材料、器械が歯科医療に果たす役割と一般科学との関連性について理解する。 歯科材料を適切に使用するため、材料の臨床への応用例や臨床術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科生体材料・歯科材料、器械の種類および性質について説明できる。 2. 歯冠修復材料の種類、臨床での応用例および術式について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科生体材料、歯科材料の区分について説明できる。 歯科材料と臨床との係わり合いについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 a 基本的性質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 d 修復用材料 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 12 金属の成形技術・機器 ア 鑄造工程</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。 D-2 成形法と成形用材料</p>	西山 典宏 會田 雅啓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/30 (火) 2時限 10:40~12:10	歯科材料学1講義 概論 材料の歯科治療への応用	*①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】	西山 典宏 會田 雅啓
2014/10/02 (木) 3時限 13:00~14:30	歯科材料学1 実習 概論 器具配布	【授業の一般目標】 歯科材料および実習器具を適切に使用するために、各実習テーマの概要について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 実習テーマの概要について説明できる。 2. 実習器具の取り扱いについて説明できる。 【準備学習項目】 歯科材料学1 実習で学ぶ授業項目について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 a 基本的性質 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/10/02 (木) 4時限 14:40~16:10	材料取り扱い実習 (1)、(2)の 実習説明 印象材 ワックス、石膏	【授業の一般目標】 印象材、ワックスおよび石膏の実習を適切に行なうために、それぞれの実習の目的および内容について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. アルジネート印象材、シリコンゴム印象材の練和法、操作時間を説明できる。 2. 各種ワックスの性状、特徴を観察し、ワックスの操作法について説明できる。 3. 普通石膏、超硬石膏の練和法、硬化時間および硬化膨張について説明できる。 【準備学習項目】 印象材の用途について説明できる。 ワックス、石膏の用途について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス イ パラフィンワックス ウ シートワックス、レディキャストワックス、スティッキーワックス、ユーティリティーワックス 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。 *④歯科用石膏の種類と特性を説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/10/07 (火) 2時限 10:40~12:10	金属材料の性質 セラミック材料の 性質	【授業の一般目標】 歯科用合金を適切に使用するために、合金の状態図について理解する。 セラミック材料を適切に使用するために、その一般的性質について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 合金の種類および状態図について説明できる。 2. セラミック材料の種類および性質について説明できる。 【準備学習項目】 金属材料の一般的性質について説明できる。 セラミック材料の特徴について説明できる。	西山 典宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07 (火) 2時限 10:40~12:10	金属材料の性質 セラミック材料の性質	<p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 ウ 金属材料</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 イ セラミック材料</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p>	西山 典宏
2014/10/09 (木) 3時限 13:00~14:30	材料取り扱い実習 (1) 印象材	<p>【授業の一般目標】 アルジネート印象材を適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. アルジネート印象材の組成について説明できる。 2. アルジネート印象材の練和法、操作時間について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 アルジネート印象材について説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 4 印象用材料 オ アルジネート</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。</p>	西山 典宏 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/10/09 (木) 4時限 14:40~16:10	材料取り扱い実習 (1) 印象材	<p>【授業の一般目標】 シリコーンゴム印象材を適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. シリコーンゴム印象材の組成について説明できる。 2. シリコーンゴム印象材の練和法、操作時間について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 シリコーンゴム印象材について説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 4 印象用材料 キ シリコーンゴム</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。</p>	西山 典宏 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/10/14 (火) 2時限	高分子材料の性質 (1)	<p>【授業の一般目標】 歯科用レジンを通的に重合・硬化させるために、その重合機構について理解す</p>	内田 僚一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40～12:10	高分子材料の性質 (2)	<p>る。 高分子材料を適切に使用するために、高分子材料の基礎的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科用レジンの重合機構について説明できる。 2. 高分子の構造と物性との関係など、高分子材料の基礎的性質について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 高分子材料の一般的性質について説明できる。 高分子材料の特徴について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 ア 有機材料</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的ななものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p>	内田 僚一郎
2014/10/16 (木) 3時限 13:00～14:30	材料取り扱い実習 (2) ワックス、石膏	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスを適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科用ワックスの性状および特徴について説明できる。 2. 歯科用ワックスの操作法および用途について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科用ワックスについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス イ パラフィンワックス ウ シートワックス、レディキャストイングワックス、スティッキーワックス、ユーティリティーワックス</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。</p>	西山 典宏 山谷 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/10/16 (木) 4時限 14:40～16:10	材料取り扱い実習 (2) ワックス、石膏	<p>【授業の一般目標】 歯科用石膏を適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科用石膏の種類および組成について説明できる。 2. 歯科用石膏の混水比および練和法について説明できる。 3. 歯科用石膏の硬化時間および硬化膨脹について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科用石膏について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器</p>	西山 典宏 山谷 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/16 (木) 4時限 14:40~16:10	材料取り扱い実習 (2) ワックス、石膏	5 模型用材料 ア 歯科用石膏 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *④歯科用石膏の種類と特性を説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/10/21 (火) 2時限 10:40~12:10	複合材料の性質 化学的性質	【授業の一般目標】 複合材料を適切に使用するために、その一般的性質について理解する。 歯科材料を適切に使用するために、その化学的性質について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 複合材料の種類、組成および性質について説明できる。 2. 金属材料の腐食について説明できる。 【準備学習項目】 複合材料の特徴について説明できる。 歯科材料の化学的性質について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 エ 複合材料 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 キ 化学的性質 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。	西山 典宏
2014/10/23 (木) 3時限 13:00~14:30	各論実習 (1) の 実習説明 成形修復材料	【授業の一般目標】 成形修復材料の実習を適切に行なうために、それぞれの実習の目的および内容について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 化学重合型および光重合型コンポジットレジンの硬化挙動および機械的性質について説明できる。 2. 充填用ガラスイオノマーセメントの硬化挙動および機械的性質について説明できる。 【準備学習項目】 成形修復材料について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 102 教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 d 修復用材料 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 7 予防填塞・成形修復・歯内療法用材料 ア コンポジットレジン ウ グラスアイオノマーセメント 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/10/23 (木) 4時限 14:40~16:10	各論実習 (2)、 (3) の実習説明 合着用セメント 接着	【授業の一般目標】 合着用セメントおよび接着の実習を適切に行なうために、それぞれの実習の目的および内容について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. リン酸亜鉛セメントの練和法、硬化時間および硬化にともなう pH 変化について説明できる。 2. 合着用ガラスイオノマーセメントの練和法、硬化時間、硬化時の pH 変化について説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/23 (木) 4時限 14:40～16:10	各論実習(2)、 (3)の実習説明 合着用セメント 接着	<p>【準備学習項目】 合着セメントについて説明できる。 接着材料について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 e 合着・接着材</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 14 合着・接着・仮着用材料 エ リン酸亜鉛セメント イ グラスアイオノマーセメント ア レジンセメント、接着性モノマー</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。</p>	伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/10/28 (火) 2時限 10:40～12:10	物理的性質 機械的性質	<p>【授業の一般目標】 歯科材料を適切に使用するために、その物理的性質について理解する。 歯科材料を適切に使用するために、その機械的性質について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯科材料の物理的性質とその測定法について説明できる。 2. 歯科材料の機械的性質について説明できる。 3. 応力-ひずみ曲線について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科材料の物理的性質について説明できる。 歯科材料の機械的性質について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 オ 物理的性質</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 カ 機械的性質</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。</p>	谷本 安浩
2014/10/30 (木) 3時限 13:00～14:30	各論実習(1) 成形修復材料	<p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンを選択的に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 化学重合型コンポジットレジンの組成、硬化挙動および機械的性質について説明できる。 2. 光重合型コンポジットレジンの組成、硬化挙動および機械的性質について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 成形修復材料について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 d 修復用材料</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 7 予防充填・成形修復・歯内療法用材料 ア コンポジットレジン</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 藤 伊藤 仁美 吉田 浩輝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/30 (木) 3時限 13:00～14:30	各論実習 (1) 成形修復材料	<p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/10/30 (木) 4時限 14:40～16:10	各論実習 (1) 成形修復材料	<p>【授業の一般目標】 充填用グラスアイオノマーセメントを適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 充填用グラスアイオノマーセメントの組成、硬化挙動および機械的性質について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 成形修復材料について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 d 修復用材料</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 7 予防充填・成形修復・歯内療法用材料 ウ グラスアイオノマーセメント</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/11/04 (火) 2時限 10:40～12:10	物性とその測定 印象材 (1)	<p>【授業の一般目標】 歯科材料を適切に使用するために、その機械的な測定法について理解する。 ハイドロコロイド系印象材を適切に使用するために、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科材料の機械的性質とその測定法について説明できる。 2. ハイドロコロイド系印象材の種類、組成および硬化機構について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科材料の機械的な測定法について説明できる。 印象材の種類について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 カ 機械的性質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 4 印象用材料 オ アルジネート カ 寒天</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。</p>	谷本 安浩 内田 僚一郎
2014/11/06 (木) 3時限 13:00～14:30	各論実習 (2) 合着用セメント	<p>【授業の一般目標】 合着用セメントを適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. リン酸亜鉛セメントの組成、練和法、硬化時間について説明できる。 2. 合着用グラスアイオノマーセメントの組成、練和法、硬化時間について説明</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/06 (木) 3時限 13:00～14:30	各論実習 (2) 合着用セメント	<p>できる。</p> <p>【準備学習項目】 合着セメントについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 e 合着・接着材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 4 合着・接着・仮着用材料 エ リン酸亜鉛セメント イ グラスアイオノマーセメント</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。</p>	長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/11/06 (木) 4時限 14:40～16:10	各論実習 (2) 合着用セメント	<p>【授業の一般目標】 合着用セメントを適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. リン酸亜鉛セメントの硬化時におけるpH 変化について説明できる。 2. 合着用グラスアイオノマーセメントの硬化時におけるpH 変化について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 合着セメントについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 e 合着・接着材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 4 合着・接着・仮着用材料 エ リン酸亜鉛セメント イ グラスアイオノマーセメント</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。</p>	西山 典宏 山谷 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/11/11 (火) 2時限 10:40～12:10	印象材 (2) 印象材 (3)	<p>【授業の一般目標】 ゴム質印象材を適切に使用するために、その一般的性質について理解する。 精度の良い印象採得を印象採得を行なうため、印象材のレオロジーと変形について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ゴム質印象材の種類、組成および硬化機構について説明できる。 2. 印象採得時・撤去時の印象材のレオロジーおよび変形について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 各種印象材の特徴について説明できる。 印象材の取り扱い法について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 4 印象用材料 キ シリコンゴム</p>	内田 僚一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/11 (火) 2時限 10:40~12:10	印象材 (2) 印象材 (3)	ク ポリエーテルゴム ケ ポリサルファイドゴム コ 機能印象材 サ 印象用トレー 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。	内田 僚一郎
2014/11/13 (木) 3時限 13:00~14:30	各論実習 (3) 接 着	【授業の一般目標】 合着・接着セメントを使用して適切な接着が行なえるようになるため、その機構について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. リン酸亜鉛セメントおよびガラスイオノマーセメントの接着法について説明できる。 2. レジンセメントの接着法について説明できる。 【準備学習項目】 接着材料について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 e 合着・接着材 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 4 合着・接着・仮着用材料 エ リン酸亜鉛セメント イ グラスアイオノマーセメント ア レジンセメント、接着性モノマー 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/11/13 (木) 4時限 14:40~16:10	各論実習 (3) 接 着	【授業の一般目標】 合着・接着セメントを使用して適切な接着が行なえるようになるため、その機構について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 圧縮せん断接着強さの測定法について説明できる。 2. エナメル質接着における酸処理の意義について説明できる。 3. 合着・接着セメントの接着性について説明できる。 【準備学習項目】 接着材料の接着機構について説明できる。 エナメル質接着について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 e 合着・接着材 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 4 合着・接着・仮着用材料 エ リン酸亜鉛セメント イ グラスアイオノマーセメント ア レジンセメント、接着性モノマー 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/11/18 (火) 2時限 10:40~12:10	歯科材料学1 講義 平常試験 (1)	【準備学習項目】 これまでに学習してきた講義項目について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/20 (木) 3時限 13:00～14:30	歯科材料学1実習 平常試験(1)	<p>【準備学習項目】 材料取り扱いおよび各論実習(印象材、ワックス、石膏、成形修復材料、合着用セメント、接着)について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎
2014/11/20 (木) 4時限 14:40～16:10	歯科材料学1実習 平常試験(1)	<p>【準備学習項目】 材料取り扱いおよび各論実習(印象材、ワックス、石膏、成形修復材料、合着用セメント、接着)について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎
2014/11/25 (火) 2時限 10:40～12:10	模型材 パターン材	<p>【授業の一般目標】 模型材を適切に使用するために、その一般的性質について理解する。 ワックスを適切に使用するために、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 模型材の組成、硬化機構および特徴について説明できる。 2. ワックスの組成、特徴および用途について説明できる。 3. インレーワックスの技工操作およびワックスが変形する原因について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 模型材の種類、用途について説明できる。 ワックスの種類、用途について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 5 模型用材料 ア 歯科用石膏</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 5 模型用材料 イ レジン系模型材 6 歯科用ワックス ア インレーワックス イ パラフィンワックス ウ シートワックス、レディキャストイングワックス、スティッキーワックス、ユーティリティーワックス</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *④歯科用石膏の種類と特性を説明できる。 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。</p>	谷本 安浩
2014/11/27 (木) 3時限 13:00～14:30	歯科材料学1実習 ミーティング(1)	<p>【準備学習項目】 材料取り扱い実習(印象材、石膏およびワックス)および各論実習(成形修復材料、合着用セメントおよび接着)で得られた実習成果について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 その他</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室、101教室、102教室</p>	野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝 西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎
2014/11/27 (木) 4時限 14:40～16:10	歯科材料学1実習 ミーティング(1)	<p>【準備学習項目】 材料取り扱い実習(印象材、石膏およびワックス)および各論実習(成形修復材料、合着用セメントおよび接着)で得られた実習成果について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 その他</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室、101教室、102教室</p>	野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝 西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎
2014/12/02 (火) 2時限 10:40～12:10	鑄造用金属材料 (1) 鑄造用金属材料 (2)	<p>【授業の一般目標】 鑄造用合金を使用して適切な鑄造を行なうために、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 貴金属合金、非貴金属合金の種類、組成、物性および用途について説明できる。 2. 鑄造用合金の種類、組成、物性および用途について説明できる。</p>	西山 典宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/02 (火) 2時限 10:40~12:10	鑄造用金属材料 (1) 鑄造用金属材料 (2)	<p>【準備学習項目】 鑄造用貴金属合金、非金属合金の特徴について説明できる。 鑄造用合金の種類について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 a 基本的性質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 8 歯冠修復用材料 キ 金合金 ク 金銀パラジウム合金 ケ 銀合金 コ 陶材焼付用合金 サ チタン、チタン合金 9 義歯用材料 キ 金合金 ク 金銀パラジウム合金 ケ コバルトクロム合金 コ チタン、チタン合金</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑥レジン[®]の重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】</p>	西山 典宏
2014/12/04 (木) 3時限 13:00~14:30	各論実習 (4) の 実習説明 印象材のレオロジー	<p>【授業の一般目標】 印象材のレオロジーの実習を適切に行なうために、その実習の目的および内容について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 弾性印象材硬化物のレオロジー曲線について説明できる。 2. 印象材の弾性変形、弾性回復および永久変形について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 印象材のレオロジーについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 4 印象用材料 オ アルジネート キ シリコーンゴム</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 藤 仁美 吉田 浩輝
2014/12/04 (木) 4時限 14:40~16:10	各論実習 (5)、 (6) の実習説明 加工用金属 インレーワックス	<p>【授業の一般目標】 加工用金属およびインレーワックスの実習を適切に行なうために、それぞれの実習の目的および内容について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 合金線に荷重を加え、応力-ひずみ曲線を作成することができる。 2. 弾性変形および塑性変形について学ぶとともに、材料力学の基本的な理論について説明できる。 3. 成形したワックスの放置条件が残留ひずみの解放におよぼす影響について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 加工用金属について説明できる。 インレーワックスについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 藤 仁美 吉田 浩輝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/04 (木) 4時限 14:40～16:10	各論実習 (5)、 (6)の実習説明 加工用金属 インレーワックス	<p>総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 5 歯科矯正用材料 ア 線材料、ワイヤー</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。 D-2 成形法と成形用材料 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 塚竹 一 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/12/09 (火) 2時限 10:40～12:10	鋳造用金属材料 (3) 加工用金属材料	<p>【授業の一般目標】 鋳造用合金を使用して適切な鋳造を行なえるように、鋳造用合金の熱処理について理解する。 加工用金属を適切に使用するために、その加工法および熱処理について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 鋳造用合金の添加元素、軟化熱処理および硬化熱処理について説明できる。 2. 金属の加工および熱処理について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 鋳造用合金の熱処理について説明できる。 加工用金属材料の特徴について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 2 金属の成形技術・機器 ケ 軟化熱処理と硬化熱処理</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 2 金属の成形技術・機器 ク 塑性加工と焼きなまし 1 5 歯科矯正用材料 ア 線材料、ワイヤー</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑥レジン^①の重合、金属の鋳造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連つけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限定する。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p>	西山 典宏
2014/12/11 (木) 3時限 13:00～14:30	各論実習 (4) 印象材のレオロジー	<p>【授業の一般目標】 印象材を適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. アルジネート印象材およびシリコーン印象材のレオロジー曲線について説明できる。 2. アルジネート印象材、シリコーン印象材の弾性変形、弾性回復および永久変形について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 印象材のレオロジーについて説明できる。 印象材のレオロジー曲線について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 4 印象用材料 オ アルジネート キ シリコーンゴム</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 塚竹 一 伊藤 仁美 吉田 浩輝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/11 (木) 3時限 13:00~14:30	各論実習 (4) 印象材のレオロジー	D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 村野 充 原信 録 上島 英貴 手島 功 渋谷 明久 長塚 一代 菊竹 仁美 伊藤 浩輝 吉田
2014/12/11 (木) 4時限 14:40~16:10	各論実習 (4) 印象材のレオロジー	<p>【授業の一般目標】 印象材を適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 印象採得後の撤去速度が永久変形に及ぼす影響について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 印象材の変形について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 4 印象用材料 オ アルジネート キ シリコーンゴム</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 村野 充 原信 録 上島 英貴 手島 功 渋谷 明久 長塚 一代 菊竹 仁美 伊藤 浩輝 吉田
2014/12/16 (火) 2時限 10:40~12:10	合着・接着用材料 (1) 合着・接着用材料 (2)	<p>【授業の一般目標】 合着・接着用材料を適切に使用するために、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 合着用セメントの組成、硬化機構および物性について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 合着・接着用材料の種類および組成について説明できる。 合着・接着用材料の特徴について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 e 合着・接着材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 4 合着・接着・仮着用材料 イ グラスアイオノマーセメント ウ ポリカルボキシレートセメント エ リン酸亜鉛セメント オ 酸化亜鉛ユージノールセメント カ EBAセメント</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。</p>	谷本 安浩
2014/12/18 (木) 3時限 13:00~14:30	各論実習 (5) 加工用金属	<p>【授業の一般目標】 加工用金属を適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 合金線の応力-ひずみ曲線について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 加工用金属について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 村野 充 原信 録 上島 英貴 手島 功 渋谷 明久 長塚 一代 菊竹 仁美 伊藤 浩輝 吉田

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/18 (木) 3時限 13:00～14:30	各論実習 (5) 加工用金属	第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 5 歯科矯正用材料 ア 線材料、ワイヤー 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 手島 功 渋谷 明久 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2014/12/18 (木) 4時限 14:40～16:10	各論実習 (5) 加工用金属	【授業の一般目標】 加工用金属を適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 弾性変形および塑性変形について説明できる。 2. 材料力学の基本的な理論について説明できる。 【準備学習項目】 各種加工用金属の特徴について説明できる。 各種加工用金属の用途について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 5 歯科矯正用材料 ア 線材料、ワイヤー 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 手島 功 渋谷 明久 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2015/01/08 (木) 3時限 13:00～14:30	各論実習 (6) インレーワックス	【授業の一般目標】 インレーワックスを適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ワックス成形時の物性変化、特徴について説明できる。 【準備学習項目】 インレーワックスについて説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 手島 功 渋谷 明久 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2015/01/08 (木) 4時限 14:40～16:10	各論実習 (6) インレーワックス	【授業の一般目標】 加工用金属を適切に取り扱えるようになるため、その一般的性質について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 成形したワックスの放置条件が残留ひずみの解放におよぼす影響について説明できる。 2. 応力緩和について説明できる。 【準備学習項目】 インレーワックスについて説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 手島 功 渋谷 明久 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/08 (木) 4時限 14:40～16:10	各論実習 (6) インレーワックス	D-2 成形法と成形用材料 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2015/01/13 (火) 2時限 10:40～12:10	合着・接着用材料 (3) 成形修復材料 (1)	<p>【授業の一般目標】 接着性レジンセメントを適切に使用するために、その一般的性質について理解する。 コンポジットレジンを選択的に使用するために、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 接着性レジンセメントの組成、重合方法、機械的性質および接着術式について説明できる。 2. コンポジットレジンの組成、硬化機構について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 合着・接着用材料の特徴について説明できる。 成形修復材の適応症について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 e 合着・接着材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 14 合着・接着・仮着用材料 ア レジンセメント、接着性モノマー 7 予防填塞・成形修復・歯内療法用材料 ア コンポジットレジン</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。</p>	谷本 安浩 内田 僚一郎
2015/01/15 (木) 3時限 13:00～14:30	歯科材料学1実習 ミーティング (2)	<p>【準備学習項目】 各論実習 (印象材のレオロジー、加工用金属およびインレーワックス) で得られた実習成果について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室、101教室、102教室</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2015/01/15 (木) 4時限 14:40～16:10	歯科材料学1実習 ミーティング (2)	<p>【準備学習項目】 各論実習 (印象材のレオロジー、加工用金属およびインレーワックス) で得られた実習成果について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室、101教室、102教室</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎 野村 充 上原 信録 手島 英貴 渋谷 功 長塚 明久 菊竹 一代 伊藤 仁美 吉田 浩輝
2015/01/20 (火) 2時限 10:40～12:10	成形修復材料 (2) 成形修復材料 (3)	<p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンを選択的に使用するために、その接着機構について理解する。 グラスアイオノマーセメントおよびアマルガム合金を選択的に使用するために、それらの一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジンの接着機構および接着システムについて説明できる。 2. グラスアイオノマーセメントの組成、硬化機構および物性について説明できる。 3. アマルガム合金の組成、硬化機構および物性について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 コンポジットレジンの接着について説明できる。 グラスアイオノマーセメントおよびアマルガム合金について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p>	内田 僚一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/20 (火) 2時限 10:40~12:10	成形修復材料 (2) 成形修復材料 (3)	<p>【国家試験出題基準 (主)】</p> 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 7 予防填塞・成形修復・歯内療法用材料 イ 歯質接着処理材、接着性モノマー	内田 僚一郎
		<p>【国家試験出題基準 (副)】</p> 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 7 予防填塞・成形修復・歯内療法用材料 ウ グラスアイオノマーセメント エ 歯科用アマルガム	
		<p>【コアカリキュラム】</p> D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。	
2015/01/22 (木) 3時限 13:00~14:30	歯科材料学1 実習 平常試験 (2)	<p>【準備学習項目】</p> 各論実習 (印象材のレオロジー、加工用金属、インレーワックス) について説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎
		<p>【学習方略 (LS)】</p> 実習	
		<p>【場所 (教室/実習室)】</p> 102教室	
2015/01/22 (木) 4時限 14:40~16:10	歯科材料学1 実習 平常試験 (2)	<p>【準備学習項目】</p> 各論実習 (印象材のレオロジー、加工用金属、インレーワックス) について説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎
		<p>【学習方略 (LS)】</p> 実習	
		<p>【場所 (教室/実習室)】</p> 102教室	
2015/01/27 (火) 2時限 10:40~12:10	歯科材料学1 講義 平常試験 (2)	<p>【準備学習項目】</p> 平常試験 (1) 以降に学習してきた講義項目について説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎
		<p>【学習方略 (LS)】</p> 講義	
		<p>【場所 (教室/実習室)】</p> 102教室	
2015/01/29 (木) 3時限 13:00~14:30	歯科材料学1 実習 まとめ	<p>【準備学習項目】</p> 実習項目についての質疑応答を行ない、習得した実習内容について説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎
		<p>【学習方略 (LS)】</p> その他	
		<p>【場所 (教室/実習室)】</p> 102教室	
2015/01/29 (木) 4時限 14:40~16:10	歯科材料学1 実習 まとめ	<p>【準備学習項目】</p> 実習項目についての質疑応答を行ない、習得した実習内容について説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎
		<p>【学習方略 (LS)】</p> その他	
		<p>【場所 (教室/実習室)】</p> 102教室	
2015/02/03 (火) 2時限 10:40~12:10	歯科材料学1 講義 まとめ	<p>【準備学習項目】</p> 講義項目についての質疑応答を行ない、習得した講義内容について説明できる。	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎
		<p>【学習方略 (LS)】</p> その他	
		<p>【場所 (教室/実習室)】</p> 102教室	

微生物学・免疫学実習

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	續橋 治（口腔微生物学）、落合 智子（口腔免疫学）

学習目標 (G I O)	講義で学んだ微生物学、免疫学の知識すなわち、微生物の分類と同定、感染と免疫、化学療法のみカニズムおよび齶蝕と歯周病原性微生物などを理解する上で、実際に自分でそれら関連事項に関して実習を行うことにより、一層の理解を深める。そして項目にある実習を通して、肉眼では見ることの出来ない微生物を理解する。
担当教員	續橋 治、栞原 紀子、齋藤 真規、※平澤 正知、高田 和子、※廣井 隆親、※平田 亮太郎、落合 智子、瀧澤 智美、小林 良喜、※佐々木 美香、※桃井 文藝、萩原 美緒
教科書	微生物学・免疫学実習書 口腔微生物学、口腔免疫学講座編 口腔微生物学、口腔免疫学講座
参考図書	最新口腔微生物学 奥田克爾、石原和幸、加藤哲男 一世出版 戸田新細菌学 吉田眞一、柳雄介、吉開泰信 南山堂
評価方法 (E V)	微生物学: 平常試験(30%)、実技試験(10%)、5 分間テスト(10%)、レポート(50%)および実習態度により総合的に判断する。実習を1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。 免疫学: 小テスト(10%)、レポート(20%)、筆記試験(70%)、実習態度も実習評価に加味する。実習を1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。 最終評価は微生物学2/3および免疫学 1/3 の割合とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	微生物は肉眼では見えないものであるが、培養培地上における集落形成や各種染色による顕微鏡観察等を通して、実際に見えるものであるというイメージの基に、さらに抗原抗体反応の実習を通して微生物の実態をできるだけ把握し、微生物学の総合的理解に役立てればと考えている。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/03 (金) 3時限 13:00~14:30	微生物学実習: ガイダンス 単染色法	<p>【授業の一般目標】 実習用道具の点検。光学顕微鏡の点検及び使用方法を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細菌学において最も基本となる単染色法を習得する。</p> <p>【準備学習項目】 単染色法について予習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第1実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	續橋 治 栞原 紀子 齋藤 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/10/03 (金) 4時限 14:40~16:10	同上	<p>【授業の一般目標】 同上</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 同上</p> <p>【準備学習項目】 同上</p> <p>【学習場所・媒体等】 同上</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	續橋 治 栞原 紀子 齋藤 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/10/10 (金) 3時限 13:00~14:30	微生物学実習: グラム染色法 細菌の構造観察 (1)	<p>【授業の一般目標】 基本的かつ重要なグラム染色法と細胞内顆粒である異染小体を染色するNeisseria染色を学ぶ。</p>	續橋 治 栞原 紀子 齋藤 真規 平澤 正知

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/10 (金) 3時限 13:00~14:30	微生物学実習： グラム染色法 細菌の構造観察 (1)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的かつ重要なグラム染色法を習得する。 2. Neisser 染色を習得する。 3. 細菌のグラム染色性を説明できる。 4. 細菌の特殊構造である異染小体 (ポ リリン酸顆粒) について説明できる。 <p>【準備学習項目】 グラム染色および異染小体について予習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/10/10 (金) 4時限 14:40~16:10	同上	<p>【授業の一般目標】 同上</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 同上</p> <p>【準備学習項目】 同上</p> <p>【学習場所・媒体等】 同上</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	續橋 治 栞原 紀子 齋藤 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/10/17 (金) 3時限 13:00~14:30	微生物学実習： 細菌の構造観察 (2)	<p>【授業の一般目標】 細菌の特殊構造である莢膜を墨汁法により、抗酸性をZiehl-Neelsen法による染色を行い学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細菌の特殊構造である莢膜について説明できる。 2. Negative染色 (墨汁法) を習得する。 3. 抗酸性を示す細菌の染色法であるZiehl-Neelsen法を習得する。</p> <p>【準備学習項目】 莢膜および抗酸性について予習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	續橋 治 栞原 紀子 齋藤 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/10/17 (金) 4時限 14:40~16:10	同上	<p>【授業の一般目標】 同上</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 同上</p> <p>【準備学習項目】 同上</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	續橋 治 栞原 紀子 齋藤 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/17 (金) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	橋本 治 齋藤 紀子 藤原 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/10/31 (金) 3時限 13:00～14:30	微生物学実習： 真菌の形態観察 (1) 抗生物質感受性試験 (1) 細菌の生活環観察	<p>【授業の一般目標】 Candida albicansの形態学的特徴を理解するためスライド培養法を習得する。 細菌の耐久形態である芽胞をSchaeffer-Fultonの変法で染色し理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. Candida albicansの形態学的特徴を説明できる。 2. 抗生物質感受性について説明できる。 3. 芽胞について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 Candida albicansの形態学的特徴、抗生物質感受性および芽胞について予習する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	橋本 治 齋藤 紀子 藤原 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/10/31 (金) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>【授業の一般目標】 同上</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 同上</p> <p>【準備学習項目】 同上</p> <p>【学習場所・媒体等】 同上</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	橋本 治 齋藤 紀子 藤原 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/11/07 (金) 3時限 13:00～14:30	微生物学実習： 真菌の形態観察 (2) 抗生物質感受性試験 (2) 細菌の運動観察	<p>【授業の一般目標】 Candida albicansの形態学的特徴と細菌の特殊構造である鞭毛の有無を菌の運動検査法を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. Candida albicansの形態学的特徴を説明できる。 2. 抗生物質感受性について説明できる。 3. 菌の運動検査について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 Candida albicansの形態学的特徴とスライド培養法について、細菌の耐久形態である芽胞とSchaeffer-Fultonの変法について、抗生物質感受性試験について予習する。</p>	橋本 治 齋藤 紀子 藤原 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/07 (金) 3時限 13:00~14:30	微生物学実習： 真菌の形態観察 (2) 抗生物質感受性試験 (2) 細菌の運動観察	【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。	橋本 治 栞原 紀子 齋藤 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/11/07 (金) 4時限 14:40~16:10	同上	【授業の一般目標】 同上 【行動目標 (SBOs)】 1. 同上 【準備学習項目】 同上 【学習場所・媒体等】 同上 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。	橋本 治 栞原 紀子 齋藤 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/11/14 (金) 3時限 13:00~14:30	微生物学実習： 平常試験 1	【授業の一般目標】 染色の種類、抗生物質感受性およびC. albicansの形態学的特徴などについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 染色の種類について説明できる。 2. 異染小体、荚膜、抗酸性および芽胞について説明できる。 3. 細菌の特殊構造である鞭毛と運動検査法を説明できる。 4. 抗生物質感受性について説明できる。 5. C. albicansの形態学的特徴について説明できる。 【準備学習項目】 既に行った実習の内容を復習する。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。	橋本 治 栞原 紀子 齋藤 真規
2014/11/14 (金) 4時限 14:40~16:10	同上	【授業の一般目標】 同上 【行動目標 (SBOs)】 1. 同上 【準備学習項目】 同上 【学習場所・媒体等】 同上	橋本 治 栞原 紀子 齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/14 (金) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	橋本 治 齋藤 紀子 藤原 真規 齋藤 真規
2014/11/21 (金) 3時限 13:00～14:30	微生物学実習： 歯周病の細菌学	<p>【授業の一般目標】 主要歯周病原性細菌の集落およびグラム染色による形態的特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 主要歯周病原性細菌の集落について説明できる。 2. 主要歯周病原性細菌のグラム染色による形態的特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 主要歯周病関連菌の集落とグラム染色による形態的特徴について予習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	橋本 治 齋藤 紀子 藤原 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/11/21 (金) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>【授業の一般目標】 同上</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 同上</p> <p>【準備学習項目】 同上</p> <p>【学習場所・媒体等】 同上</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	橋本 治 齋藤 紀子 藤原 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/11/28 (金) 3時限 13:00～14:30	微生物学実習： 齶蝕の細菌学 (1)	<p>【授業の一般目標】 齶蝕原性細菌の分離・同定法ならびに齶蝕との相関について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕原性細菌の分離・同定法を説明できる。 2. 唾液分泌速度と唾液緩衝能について説明できる。 3. カリエスリスクの判定について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 齶蝕原性細菌の分離・同定ならびに齶蝕との相関について予習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p>	橋本 治 齋藤 紀子 藤原 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/28 (金) 3時限 13:00~14:30	微生物学実習： 齶蝕の細菌学 (1)	<p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	橋本 治 菜原 紀子 齶藤 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/11/28 (金) 4時限 14:40~16:10	同上	<p>【授業の一般目標】 同上</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 同上</p> <p>【準備学習項目】 同上</p> <p>【学習場所・媒体等】 同上</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	橋本 治 菜原 紀子 齶藤 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/12/05 (金) 3時限 13:00~14:30	微生物学実習： 齶蝕の細菌学 (2)	<p>【授業の一般目標】 齶蝕原性細菌の分離・同定法ならびに齶蝕との相関を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕原性細菌の分離・同定法を説明できる。 2. 菌数の算定を行うことができる。 3. カリエスリスクの判定を行うことができる。</p> <p>【準備学習項目】 齶蝕原性細菌の分離・同定ならびに齶蝕との相関を予習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	橋本 治 菜原 紀子 齶藤 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎
2014/12/05 (金) 4時限 14:40~16:10	同上	<p>【授業の一般目標】 同上</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 同上</p> <p>【準備学習項目】 同上</p> <p>【学習場所・媒体等】 同上</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論</p>	橋本 治 菜原 紀子 齶藤 真規 平澤 正知 高田 和子 廣井 隆親 平田 亮太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/05 (金) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	<p>橋 治 原 紀子 齋 真規 藤 正知 平 澤和子 高 田隆親 廣 井亮太郎 平 田</p>
2014/12/12 (金) 3時限 13:00～14:30	微生物学実習： 実技試験	<p>【授業の一般目標】 習得した実習知識に対しての実技試験を行い、基本的な技術と知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 実習で習得した技能を正しく行うことができる。 2. 習得した実習知識を説明することができる。</p> <p>【準備学習項目】 微生物学実習で行った講義、実習について復習する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	<p>橋 治 原 紀子 齋 真規 藤 正知 平 澤和子 高 田隆親 廣 井亮太郎 平 田</p>
2014/12/12 (金) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>【授業の一般目標】 同上</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 同上</p> <p>【準備学習項目】 同上</p> <p>【学習場所・媒体等】 同上</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。</p>	<p>橋 治 原 紀子 齋 真規 藤 正知 平 澤和子 高 田隆親 廣 井亮太郎 平 田</p>
2014/12/19 (金) 3時限 13:00～14:30	微生物学実習： 平常試験2および 解説	<p>【授業の一般目標】 微生物学実習で行った講義、実習について学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 微生物学実習で行った講義、実習について学習した内容を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 微生物学実習で行った講義、実習について復習する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学</p>	<p>橋 治 原 紀子 齋 真規</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/19 (金) 3時限 13:00~14:30	微生物学実習： 平常試験2および 解説	C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。	續橋 治 栗原 紀子 齋藤 真規
2014/12/19 (金) 4時限 14:40~16:10	免疫学実習： 実習説明	【授業の一般目標】 免疫学実習について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 実習の意義、原理、代表的方法を説明できる。 【準備学習項目】 免疫学実習の流れを理解する。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫 (自然免疫、獲得免疫) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 *④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 *⑤アレルギーの分類を説明できる。【発症機序を含む。】 *⑥免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。 *⑦ワクチンの意義と問題点を説明できる。	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜 桃井 文藝 佐々木 美香 萩原 美緒
2015/01/09 (金) 3時限 13:00~14:30	免疫学実習： フローサイトメトリーによるリンパ球サブセットの測定 (1)	【授業の一般目標】 フローサイトメトリーについて説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. マウスの末梢リンパ組織からリンパ球の分離を実施できる。 2. 蛍光色素標識法を用いたリンパ球の染色を実施できる。 【準備学習項目】 フローサイトメトリーの原理を理解する。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫 (自然免疫、獲得免疫) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜 桃井 文藝 佐々木 美香 萩原 美緒
2015/01/09 (金) 4時限 14:40~16:10	同上	【授業の一般目標】 同上 【行動目標 (SBOs)】 1. マウスの末梢リンパ組織からリンパ球の分離を実施できる。 2. 蛍光色素標識法を用いたリンパ球の染色を実施できる。 【準備学習項目】 フローサイトメトリーの原理を理解する。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫 (自然免疫、獲得免疫) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜 桃井 文藝 佐々木 美香 萩原 美緒

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/09 (金) 4時限 14:40～16:10	同上		落合 智子 瀧澤 美香 小林 良喜 桃井 文藝 佐々木 美香 萩原 美緒
2015/01/16 (金) 3時限 13:00～14:30	免疫学実習： フローサイトメトリーによるリンパ球サブセットの測定 (2) ABO 式血液型判定 ELISA 法 (1)	<p>【授業の一般目標】 フローサイトメトリーについて説明できる。 ABO 式血液型判定の目的及び原理を説明できる。 ELISA 法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. フローサイトメトリーのデータ解析を実施できる。 2. ABO 式血液型判定 (おもて試験) を実施できる。 3. ELISA 法 (サンドイッチ法) を実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 フローサイトメトリーの解析方法について理解する。 ABO式血液型判定の原理を理解する。 ELISA法の原理を理解する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 ア 免疫系臓器、免疫担当細胞</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】</p>	落合 智子 瀧澤 美香 小林 良喜 桃井 文藝 佐々木 美香 萩原 美緒
2015/01/16 (金) 4時限 14:40～16:10	同上	<p>【授業の一般目標】 同上</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. フローサイトメトリーのデータ解析を実施できる。 2. ABO式血液型判定 (おもて試験) を実施できる。 3. ELISA法 (サンドイッチ法) を実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 フローサイトメトリーの解析方法について理解する。 ABO式血液型判定の原理を理解する。 ELISA法の原理を理解する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 ア 免疫系臓器、免疫担当細胞</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。</p>	落合 智子 瀧澤 美香 小林 良喜 桃井 文藝 佐々木 美香 萩原 美緒
2015/01/23 (金) 3時限 13:00～14:30	麻疹ウイルス抗体価の測定 ELISA法 (2)	<p>【授業の一般目標】 ウイルスに対する免疫応答について説明できる。 ELISA法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 血清中の抗麻疹ウイルスIgG抗体を測定できる。 2. ELISA法 (サンドイッチ法) を実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 ウイルスに対する獲得免疫について理解する。 唾液中IgAについて理解する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能</p>	落合 智子 瀧澤 美香 小林 良喜 桃井 文藝 佐々木 美香 萩原 美緒

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/23 (金) 3時限 13:00～14:30	麻疹ウイルス抗体 価の測定 ELISA法 (2)	3 免疫 エ 獲得免疫 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。 】	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜 桃井 文藝 佐々木 美香 萩原 美緒
2015/01/23 (金) 4時限 14:40～16:10	同上	【授業の一般目標】 同上 【行動目標 (SBOs)】 1. 血清中の抗麻疹ウイルスIgG抗体を測定できる。 2. ELISA法(サンドイッチ法)を実施できる。 【準備学習項目】 ウイルスに対する獲得免疫について理解する。 唾液中IgAについて理解する。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 エ 獲得免疫 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。 】	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜 桃井 文藝 佐々木 美香 萩原 美緒
2015/01/30 (金) 3時限 13:00～14:30	ELISA 法 (3)	【授業の一般目標】 主な免疫実験法について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. ELISA法(サンドイッチ法)を実施できる。 【準備学習項目】 ELISA法のデータ解析方法について理解する。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫 (自然免疫、獲得免疫) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。 】	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜 桃井 文藝 佐々木 美香 萩原 美緒
2015/01/30 (金) 4時限 14:40～16:10	同上	【授業の一般目標】 同上 【行動目標 (SBOs)】 1. ELISA法(サンドイッチ法)を実施できる。 【準備学習項目】 ELISA法のデータ解析方法について理解する。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫 (自然免疫、獲得免疫) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜 桃井 文藝 佐々木 美香 萩原 美緒

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/30 (金) 4時限 14:40～16:10	同上	*②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜 桃井 文藝 佐々木 美香 萩原 美緒
2015/02/06 (金) 1時限 09:00～10:30	免疫学実習： 筆記試験 振替日：平成27 年2月3/5/6/9日 別紙にて時間割を 提示する	【授業の一般目標】 免疫学実習内容に対する筆記試験を実施する。 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜
2015/02/06 (金) 2時限 10:40～12:10	同上	【授業の一般目標】 同上 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜

免疫学(微生物学・免疫学)

年次	学期	学習ユニット責任者
2年次	後学期	落合 智子 (口腔免疫学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	免疫システムは自己・非自己の識別に基づく反応系であることを理解する。また、免疫系の機能的バランスが高次の生命機能システムを維持するために不可欠であり、免疫システムの破綻がアレルギーや自己免疫疾患、癌などのさまざまな疾患につながることを学ぶ。
担当教員	落合 智子、瀧澤 智美、小林 良喜、※藤橋 浩太郎
教科書	エッセンシャル免疫学 笹月健彦監訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル
参考図書	分子生物学・免疫学キーワード 医学書院 口腔微生物学 学健書院 最新口腔微生物学 一世出版 Janeway・Travers 免疫生物学 笹月健彦監訳 南光堂
実習器材	なし
評価方法 (EV)	平常試験1, 2 (各々50%) を評価点とする。平常試験の結果に応じて、レポート提出、補講などの措置を講じることがある。 授業時間数の1/5 以上を欠席した場合、成績評価は0~60 点とし再試験の受験資格を与えない。
学生への メッセージ オフィスアワー	免疫学はおもしろい。免疫システムの解明により齲蝕や歯周病のワクチン開発、歯科用金属やレジンに対するアレルギーの制御など、歯科医療が直面している数々の難問にどのように答えていくのか興味は尽きない。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/03 (金) 2時限 10:40~12:10	免疫系の構成要素	<p>【授業の一般目標】 免疫系の構成要素について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 免疫系の基本的な構成要素を説明できる。 2. 免疫担当細胞の種類を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 免疫系の基本的な構成要素を学習する。 免疫担当細胞の種類を学習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫 (自然免疫、獲得免疫)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 ア 免疫系臓器、免疫担当細胞</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。</p>	落合 智子
2014/10/10 (金) 2時限 10:40~12:10	自然免疫	<p>【授業の一般目標】 自然免疫と適応免疫の流れを説明できる。 自然免疫の概念を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 補体の活性化経路を説明できる。 2. 食細胞の殺菌作用を説明できる。 3. 自然免疫に関与する因子を説明できる。 4. 自然免疫に関与する細胞を説明できる。 5. Toll 様受容体を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 自然免疫に働く因子や細胞を学習する。 自然免疫の受容体を学習する。 自然免疫と適応免疫の関連性を学習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	落合 智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/10 (金) 2時限 10:40～12:10	自然免疫	102教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫(自然免疫、獲得免疫) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 ア 免疫系臓器、免疫担当細胞 ウ 自然免疫 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。	落合 智子
2014/10/17 (金) 2時限 10:40～12:10	適応免疫	【授業の一般目標】 適応免疫の概念を説明できる。 免疫グロブリンについて説明できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 免疫グロブリンの基本構造を説明できる。 2. 免疫グロブリンの生体防御機能について説明できる。 【準備学習項目】 適応免疫の流れを学習する。 免疫グロブリンの基本構造・機能を学習する。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫(自然免疫、獲得免疫) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 エ 獲得免疫 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。	落合 智子
2014/10/24 (金) 2時限 10:40～12:10	免疫グロブリン	【授業の一般目標】 免疫グロブリンについて説明できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 可変部と定常部の機能について説明できる。 2. 体液性免疫における多様性について説明できる。 【準備学習項目】 免疫グロブリンの構造と機能を学習する。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫(自然免疫、獲得免疫) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 エ 獲得免疫 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】	落合 智子
2014/10/31 (金) 2時限 10:40～12:10	B細胞の発生と分化	【授業の一般目標】 B細胞の分化について説明できる。	瀧澤 智美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	B細胞の発生と分化	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. B細胞の分化の過程を説明できる。 2. B細胞の活性化による機能発現を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>B細胞の分化を学習する。</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身の構造・機能</p> <p>f 免疫（自然免疫、獲得免疫）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅲ 人体の正常構造と機能</p> <p>3 免疫</p> <p>ア 免疫系臓器、免疫担当細胞</p> <p>イ 免疫応答とその調節</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 感染と免疫</p> <p>C-3-2) 免疫</p> <p>*①自然免疫と獲得免疫について説明できる。</p> <p>*③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。</p>	瀧澤 智美
2014/11/07（金） 2時限 10:40～12:10	T細胞の発生と分化	<p>【授業の一般目標】</p> <p>T細胞の分化について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. T細胞の分化の過程を説明できる。 2. T細胞の抗原認識機構を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>T細胞の分化を学習する。</p> <p>T細胞の抗原認識を学習する。</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身の構造・機能</p> <p>f 免疫（自然免疫、獲得免疫）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅲ 人体の正常構造と機能</p> <p>3 免疫</p> <p>ア 免疫系臓器、免疫担当細胞</p> <p>イ 免疫応答とその調節</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 感染と免疫</p> <p>C-3-2) 免疫</p> <p>*①自然免疫と獲得免疫について説明できる。</p> <p>*③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。</p> <p>*④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。</p>	瀧澤 智美
2014/11/14（金） 2時限 10:40～12:10	体液性免疫	<p>【授業の一般目標】</p> <p>体液性免疫について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 抗原提示細胞によるT細胞の活性化について説明できる。 2. 活性化T細胞の性状について説明できる。 3. 体液性免疫機構を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>体液性免疫の流れを勉強する。</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身の構造・機能</p> <p>f 免疫（自然免疫、獲得免疫）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論</p>	落合 智子 小林 良喜

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/14 (金) 2時限 10:40～12:10	体液性免疫	<p>総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 イ 免疫応答とその調節 エ 獲得免疫</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】</p>	落合 智子 小林 良喜
2014/11/21 (金) 2時限 10:40～12:10	平常試験 1	<p>【授業の一般目標】 免疫の構成要素、免疫グロブリン、B 細胞およびT 細胞の発生と分化、体液性免疫についての試験を行う。</p> <p>【準備学習項目】 免疫の構成要素、免疫グロブリン、B 細胞およびT 細胞の発生と分化、体液性免疫について学習する。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p>	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜
2014/11/28 (金) 2時限 10:40～12:10	細胞性免疫	<p>【授業の一般目標】 細胞性免疫について説明できる。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. T 細胞によるマクロファージ活性化機構を説明できる。 2. T 細胞による細胞傷害機構を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 細胞性免疫の流れを学習する。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫 (自然免疫、獲得免疫)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 ア 免疫系臓器、免疫担当細胞 イ 免疫応答とその調節 エ 獲得免疫</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。</p>	落合 智子 小林 良喜
2014/12/05 (金) 2時限 10:40～12:10	粘膜組織の免疫	<p>【授業の一般目標】 粘膜免疫について説明できる。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 粘膜組織の免疫機構を説明できる。 2. 分泌型IgA の誘導機序を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 粘膜免疫を学習する。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫 (自然免疫、獲得免疫)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 イ 免疫応答とその調節 エ 獲得免疫</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	藤橋 浩太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/05 (金) 2時限 10:40～12:10	粘膜組織の免疫	C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】	藤橋 浩太郎
2014/12/12 (金) 2時限 10:40～12:10	感染に対する宿主の防御機構	【授業の一般目標】 感染防御における自然、適応免疫の役割について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 感染に対する自然免疫機構について説明できる。 2. 感染に対する適応免疫機構について説明できる。 【準備学習項目】 感染に対する自然免疫と適応免疫の働きを学習する。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫 (自然免疫、獲得免疫) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 イ 免疫応答とその調節 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】	瀧澤 智美
2014/12/19 (金) 2時限 10:40～12:10	口腔の免疫	【授業の一般目標】 口腔免疫について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔の免疫システムの特徴を説明できる。 2. 粘膜ワクチンの意義を説明できる。 3. 経口免疫寛容について説明できる。 【準備学習項目】 口腔の免疫機構を学習する。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫 (自然免疫、獲得免疫) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 イ 免疫応答とその調節 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】 *④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 *⑦ワクチンの意義と問題点を説明できる。	落合 智子 小林 良喜
2015/01/09 (金) 2時限 10:40～12:10	アレルギー	【授業の一般目標】 アレルギーについて説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. アレルギーの分類を説明できる。 2. アレルギー疾患の発症機序を説明できる。 【準備学習項目】 アレルギーの分類、発症機序を学習する。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】	落合 智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/09 (金) 2時限 10:40~12:10	アレルギー	102教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫（自然免疫、獲得免疫） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 イ 免疫応答とその調節 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *⑤アレルギーの分類を説明できる。【発生機序を含む。】 *⑥免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。	落合 智子
2015/01/16 (金) 2時限 10:40~12:10	免疫不全症・自己免疫疾患	【授業の一般目標】 免疫不全について説明できる。 自己免疫疾患について説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 免疫不全の発症機序を説明できる。 2. 免疫不全症の種類を説明できる。 【準備学習項目】 免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序を学習する。 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫（自然免疫、獲得免疫） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 イ 免疫応答とその調節 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *⑥免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。	落合 智子
2015/01/23 (金) 2時限 10:40~12:10	ワクチンと感染予防	【授業の一般目標】 ワクチンについて説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. ワクチンの意義を説明できる。 2. ワクチンの種類について説明できる。 【準備学習項目】 ワクチンの意義、種類を学習する。 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫（自然免疫、獲得免疫） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 3 免疫 イ 免疫応答とその調節 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *⑦ワクチンの意義と問題点を説明できる。	落合 智子
2015/01/30 (金) 2時限 10:40~12:10	平常試験2 振替日：平成27 年2月3/5 /6/9日 別紙にて時間割を	【授業の一般目標】 細胞性免疫、粘膜免疫、感染に対する宿主の防御機構、口腔の免疫、アレルギー、免疫不全症、ワクチンについての試験を行う。 【準備学習項目】	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/30 (金) 2時限 10:40~12:10	提示する	<p>細胞性免疫、粘膜免疫、感染に対する宿主の防御機構、口腔の免疫、アレルギー、免疫不全症、ワクチンについて学習する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p>	落合 智子 瀧澤 智美 小林 良喜

病理学 1

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	久山 佳代 (口腔病理学)

学習目標 (GIO)	疾病は生体の機能や構造,あるいはその両者が正常範囲から逸脱した現象であり,その原因を「病因」,表出した状態を「病態」と称する。種々の疾病を総合的に理解するためには病因と病態ならびにそれらを結びつけている過程・経過における変化や現象(病変)を考究しなければならず,この理解なくしては医療・歯科医療が成立しない。さらに,疾病を理解することは基礎歯科医学から臨床歯科医学への橋渡しとなる。したがって,この科目は疾病の本態を理解するために,その成り立ちや理論を習得し,ひいては問題発見及び問題解決能力を身につけることを目標とする。
担当教員	久山 佳代、宇都宮 忠彦、木場 秀夫、齋藤 美雪、末光 正昌、※豊澤 悟、※田中 秀邦、※青木 俊明、※新崎 博文、※猪又 俊之、※大石 善也、※太田 泰人、※大村 光浩、※黒子 光雄、※小泉 歩、※小泉 康之、※齋藤 隆明、※茂田 里恵、※白川 誠二、※鈴木 彰、※鈴木 慶洋、※孫 燕、※田中 強、※玉城 吉夫、※中澤 啓介、※中島 十四夫、※中村 文彦、※西山 孝宏、※林 正人、※本多 豊彦、※松村 由香、※三宅 正純、※村守 樹理、※マルエイ マリア、※山本 浩嗣、※山本 雅博、※脇田 雅文
教科書	病理・口腔病理組織学実習提要 日本大学松戸歯学部口腔病理学教室編 日本大学松戸歯学部口腔病理学教室 スタンダード病理学 下野正基編 学建書院 スタンダード口腔病態病理学 賀来亨・槻木恵一編 学建書院
参考図書	歯学生のための一般病理アトラス 賀来亨・山本浩嗣編 永末書店 口腔病理アトラス 高木實監修 文光堂
評価方法 (EV)	1) 平常試験 1 (25%), 後半試験(25%), 平常試験 2 (40%), チェックテスト(5%) 及び実習帳(5%) を目安として算出し, 60 点以上を合格点とする。ただし, 受講態度を加味できる。 2) 合格点に達しなかったものには再試験を実施することがある。ただし, 欠席数(正当な理由のない)が全体の1/5 以上のものは再試験の受験資格がない。 3) 不合格者の評価は0 ~ 59 点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	病理学は歯科医師となるのに必要不可欠な知識と技能を学ぶ学問です。そして, 歯科医師として身につけておくべきマナーも重要な教育要素と考えています。真摯な努力と誠意, 熱意をもって学習してください。きっと良い歯科医師になることと信じます。学習の姿勢としては, 正常の人体の構造と機能の知識の復習とともに予習を必ず行ってください!!

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/01 (水) 1時限 09:00~10:30	病因論	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために, 疾病の成り立ちと病態との関連性について基礎的知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 疾病の原因と成り立ちとの関連性について説明できる。 2. 内因を列挙できる。 3. 内因の関与する代表的疾患の病態について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 ・疾患の内因と外因を列挙できる。 ・6 大病変を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 病因論 ア 染色体・遺伝子・発生の異常</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常、発育異常 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 h 先天異常、発育異常</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。</p>	久山 佳代
2014/10/01 (水)	病因論	【授業の一般目標】	宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:40～12:10	病因論	<p>病因・病態を理解するために、疾病の成り立ちと病態との関連性について基礎的知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外因を列挙できる。 2. 外因の関与する代表的疾患の病態について述べることができる。 <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾患の内因と外因を列挙できる。 ・6 大病変を列挙できる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 病因論 イ 環境と疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 a 健康・疾病の概念</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-4) 環境と健康 *①環境による健康への影響を説明できる。</p>	宇都宮 忠彦
2014/10/08（水） 1時限 09:00～10:30	細胞障害，組織障害及び萎縮 （退行性病変／代謝障害）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>退行性病変及び代謝障害を理解するために、細胞障害、組織障害及び萎縮の病因・病態と生物学的意義について学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 退行性病変の医学的意義について述べることができる。 2. 萎縮の原因，種類，形態学的特徴及び代表的疾患の病態について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変における萎縮，変性及び壊死の定義について述べることができる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>102 教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論VI 病因、病態 2 細胞組織の傷害 イ 萎縮</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論VI 病因、病態 2 細胞組織の傷害 イ 萎縮 ウ 細胞死 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 i 代謝障害、萎縮、壊死、壊疽</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-1) 細胞傷害、組織傷害および萎縮 *①細胞傷害と組織傷害について説明できる。【変性を含む。】 *②壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 *③アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。 *④萎縮と仮性肥大を説明できる。</p>	田中 秀邦 末光 正昌
2014/10/08（水） 2時限 10:40～12:10	細胞障害，組織障害及び萎縮 （退行性病変／代謝障害）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>退行性病変／代謝障害を理解するために細胞障害，組織障害及び萎縮の病因・病態と生物学的意義について学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 変性の定義を述べるができる。 2. 変性の原因，種類，形態学的特徴及び代表的疾患の病態について説明できる。 3. 壊死，壊疽，アポトーシスの成因，意義，多様性及び病態について解説できる。 	田中 秀邦 末光 正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/08 (水) 2時限 10:40～12:10	細胞障害, 組織障害及び萎縮 (退行性病変/代謝障害)	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変における萎縮, 変性及び壊死の定義について述べるができる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論VI 病因、病態 2 細胞組織の傷害 ア 代謝障害 (変性)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 i 代謝障害、萎縮、壊死、壊疽</p> <p>歯科医学総論 総論VI 病因、病態 2 細胞組織の傷害 イ 萎縮 ウ 細胞死</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-1) 細胞傷害、組織傷害および萎縮 *①細胞傷害と組織傷害について説明できる。【変性を含む。】 *②壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 *③アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。 *④萎縮と仮性肥大を説明できる。</p>	田中 秀邦 末光 正昌
2014/10/15 (水) 1時限 09:00～10:30	退行性病変の病理組織学	<p>【授業の一般目標】</p> <p>退行性病変及び代謝障害を理解するために、細胞傷害、組織傷害及び萎縮の病因・病態と生物学的意義について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 退行性病変に分類される疾患や病変の病理組織学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変における萎縮, 変性及び壊死の定義と病理学的特徴について述べるができる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>第2実習室、顕微鏡-テレビシステムの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第2実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 i 代謝障害、萎縮、壊死、壊疽</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 ア 炎症の概念 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞 エ 炎症の機序・病態 オ 急性炎症、慢性炎症 カ 肉芽腫性炎の種類・特徴</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-1) 細胞傷害、組織傷害および萎縮 *①細胞傷害と組織傷害について説明できる。【変性を含む。】 *②壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 *③アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。 *④萎縮と仮性肥大を説明できる。</p>	木場 秀夫 久山 佳代 宇都宮 忠彦 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 田中 秀邦 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 齋藤 隆明 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 ムコイ マリ 山本 浩嗣 山本 博文 脇田 雅文
2014/10/15 (水) 2時限 10:40～12:10	退行性病変の病理組織学	<p>【授業の一般目標】</p> <p>退行性病変及び代謝障害を理解するために、細胞傷害、組織傷害及び萎縮の病因・病態と生物学的意義を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 退行性病変に分類される疾患や病変の病理組織学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性病変における萎縮, 変性及び壊死の定義と病理学的特徴について述べるができる。 	木場 秀夫 久山 佳代 宇都宮 忠彦 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 田中 秀邦 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/15 (水) 2時限 10:40~12:10	退行性病変の病理組織学	<p>【学習場所・媒体等】 第2 実習室、顕微鏡-テレビシステムの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2 実習室、102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 i 代謝障害、萎縮、壊死、壊疽</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 2 細胞組織の傷害 ア 代謝障害 (変性) イ 萎縮 ウ 細胞死</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-1) 細胞傷害、組織傷害および萎縮 *①細胞傷害と組織傷害について説明できる。【変性を含む。】 *②壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 *③アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。 *④萎縮と仮性肥大を説明できる。</p>	大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 齋藤 隆明 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 ムルコイ マリア 山本 浩嗣 山本 雅博 脇田 雅文
2014/10/22 (水) 1時限 09:00~10:30	循環障害	<p>【授業の一般目標】 循環障害を理解するために、その分類、病因及び病態について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 虚血、充血、うっ血、出血の成り立ち、種類、病態及び転帰について説明できる。 2. 側副循環の異常の成因、種類及び関連する疾患について述べる事ができる。 3. ショックの成因、分類及び病態について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・血液及びリンパ液の循環 (経路) について説明できる。 ・循環血液量の異常の種類を列挙できる。 ・閉塞性の循環障害の種類を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 4 循環障害 イ 局所の血液分布異常</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 h 循環障害 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 4 循環障害 ア 全身の循環障害 イ 局所の血液分布異常 ウ 閉塞性の循環障害</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 *④塞栓の成因、種類および転帰を説明できる。 *⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。 *⑥浮腫の原因とその転帰を説明できる。 *⑦ショックの成因と種類を説明できる。</p>	末光 正昌 田中 秀邦
2014/10/22 (水) 2時限 10:40~12:10	循環障害	<p>【授業の一般目標】 循環障害を理解するために、その分類、病因、病態及び医学的意義について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 血栓、塞栓、梗塞の種類、成り立ち、病態及び転帰について説明できる。 2. 播種性血管内凝固症候群(DIC) の成因と病態について解説できる。 3. 浮腫の成り立ちや病態について説明できる。</p>	末光 正昌 田中 秀邦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/22 (水) 2時限 10:40～12:10	循環障害	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 血液及びリンパ液の循環（経路）について説明できる。 循環血液量の異常の種類を列挙できる。 閉塞性の循環障害の種類を列挙できる。 <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 4 循環障害 ウ 閉塞性の循環障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 h 循環障害 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 4 循環障害 ア 全身の循環障害 イ 局所の血液分布異常</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 *④塞栓の成因、種類および転帰を説明できる。 *⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。 *⑥浮腫の原因とその転帰を説明できる。 *⑦ショックの成因と種類を説明できる。</p>	末光 正昌 田中 秀邦
2014/10/29 (水) 1時限 09:00～10:30	循環障害の病理組織学	<p>【授業の一般目標】 循環障害を理解するために、その分類、病因、病態及び医学的意義について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 循環障害による主な疾患の病理組織学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 循環血液量の異常の種類を列挙し、病理学的特徴について説明できる。 閉塞性の循環障害の種類を列挙し、病理学的特徴について説明できる。 <p>【学習場所・媒体等】 第2実習室、顕微鏡-テレビシステムの併用</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 h 循環障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 4 循環障害 ア 全身の循環障害 イ 局所の血液分布異常 ウ 閉塞性の循環障害</p>	木場 秀夫 久山 佳代 宇都宮 忠彦 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 田中 秀邦 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 齋藤 隆明 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 ルニイ マリ 山本 浩嗣 山本 雅博 脇田 雅文
2014/10/29 (水) 2時限 10:40～12:10	循環障害の病理組織学	<p>【授業の一般目標】 循環障害を理解するために、その分類、病因、病態及び医学的意義について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 循環障害による主な疾患の病理組織学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 循環血液量の異常の種類を列挙し、病理学的特徴について説明できる。 閉塞性の循環障害の種類を列挙し、病理学的特徴について説明できる。 <p>【学習場所・媒体等】 第2実習室、顕微鏡-テレビシステムの併用</p>	木場 秀夫 久山 佳代 宇都宮 忠彦 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 田中 秀邦 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/29 (水) 2時限 10:40～12:10	循環障害の病理組織学	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 4 循環障害 ウ 閉塞性の循環障害</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 h 循環障害 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 4 循環障害 ア 全身の循環障害 イ 局所の血液分布異常</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 *④塞栓の成因、種類および転帰を説明できる。 *⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。 *⑥浮腫の原因とその転帰を説明できる。 *⑦ショックの成因と種類を説明できる。</p>	小泉 歩 小泉 康之 齋藤 隆明 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 マリ 村守 マリ 山本 浩嗣 山本 雅博 脇田 雅文
2014/11/05 (水) 1時限 09:00～10:30	修復と再生 (進行性病変)	<p>【授業の一般目標】 進行性病変を理解するために、組織・細胞の修復と再生に関する病因・病態及び生物学的意義について習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 増生 (過形成) と肥大について説明できる。 2. 修復と再生について解説できる。 3. 細胞・組織の再生能力について述べる事ができる。</p> <p>【準備学習項目】 ・細胞分裂周期について説明できる。 ・細胞分裂周期における形態学的特徴について解説できる。 ・幹細胞あるいは多分化能について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102 講堂, マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 3 修復と再生 イ 肥大、過形成 (増生)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 3 修復と再生 ウ 化生 エ 再生 オ 創傷治癒 カ 異物処理 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 h 循環障害</p>	宇都宮 忠彦
2014/11/05 (水) 2時限 10:40～12:10	修復と再生 (進行性病変)	<p>【授業の一般目標】 進行性病変を理解するために、組織・細胞の修復と再生に関する病因・病態及び生物学的意義について習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 化生について説明できる。 2. 創傷治癒に関与する細胞とその過程を解説できる。 3. 創傷治癒に関与する細胞とその過程を解説できる。 4. 異物処理機構について説明できる。 5. 細胞・組織の再生能力について述べる事ができる。</p> <p>【準備学習項目】 ・進行性病変の定義と種類について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p>	宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/05 (水) 2時限 10:40～12:10	修復と再生 (進行性病変)	102教室, マルチメディアの併用 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 3 修復と再生 オ 創傷治癒 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 c 損傷 j 病的増殖 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 3 修復と再生 イ 肥大、過形成 (増生) ウ 化生 エ 再生 カ 異物処理 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-2) 修復と再生 *①修復と再生について説明できる。 *②化生を説明できる。 *③創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。 *④器質化を説明できる。	宇都宮 忠彦
2014/11/12 (水) 1時限 09:00～10:30	進行性病変の病理組織学	【授業の一般目標】 進行性病変を理解するために、その病理学組織学的特徴について学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 進行性病変に含まれる代表的疾患の病理組織学的特徴について説明できる。 【準備学習項目】 ・進行性病変の定義と種類について説明できる。 【学習場所・媒体等】 第2実習室, 顕微鏡-テレビシステムの併用 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 3 修復と再生 イ 肥大、過形成 (増生) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 3 修復と再生 ウ 化生 エ 再生 オ 創傷治癒 カ 異物処理 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 c 損傷 j 病的増殖	木場 秀夫 久山 佳代 宇都宮 忠彦 齋藤 美雪 末光 正昌 澤田 悟 中村 秀邦 青木 俊明 新崎 博文 猪又 善也 大石 泰人 太田 光浩 大村 光雄 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 齋藤 隆明 茂田 里恵 白川 誠二 白川 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 村守 正純 村守 樹理 山本 ムコイ マリア 山本 浩嗣 山本 雅博 脇田 雅文
2014/11/12 (水) 2時限 10:40～12:10	進行性病変の病理組織学	【授業の一般目標】 進行性病変を理解するために、その病理学組織学的特徴について学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 進行性病変に分類される代表的疾患の病理組織学的特徴について説明できる。 【準備学習項目】 進行性病変の定義と種類について説明できる。 【学習場所・媒体等】 第2実習室, 顕微鏡-テレビシステムの併用 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態	木場 秀夫 久山 佳代 宇都宮 忠彦 齋藤 美雪 末光 正昌 澤田 悟 中村 秀邦 青木 俊明 新崎 博文 猪又 善也 大石 泰人 太田 光浩 大村 光雄 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 齋藤 隆明 茂田 里恵 白川 誠二 白川 彰 鈴木 慶洋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/12 (水) 2時限 10:40~12:10	進行性病変の病理組織学	<p>3 修復と再生 エ 再生</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 c 損傷 j 病的増殖 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 3 修復と再生 イ 肥大、過形成 (増生) ウ 化生 エ 再生 カ 異物処理</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-2) 修復と再生 *①修復と再生について説明できる。 *②化生を説明できる。 *③創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。 *④器質化を説明できる。</p>	孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 純 村守 樹理 ルニイ マリア 山本 浩嗣 山本 雅博 脇田 雅文
2014/11/19 (水) 1時限 09:00~10:30	病因・病態の包括(1)	<p>【授業の一般目標】 病因・病態についての理解の状況を知るために、病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変に関する病理学的知識を包括・整理する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変の病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変に関する病理学的知見について解説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室(第2実習室)</p> <p>【学習方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 2 細胞組織の傷害 ア 代謝障害(変性)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常、発育異常 i 代謝障害、萎縮、壊死、壊疽 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 2 細胞組織の傷害 ア 代謝障害(変性) イ 萎縮 ウ 細胞死 4 循環障害 ア 全身の循環障害 イ 局所の血液分布異常 ウ 閉塞性の循環障害</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 *④塞栓の成因、種類および転帰を説明できる。 *⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。 *⑥浮腫の原因とその転帰を説明できる。 *⑦ショックの成因と種類を説明できる。</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫
2014/11/19 (水) 2時限 10:40~12:10	病因・病態の包括(1)	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変の病理学的特徴を包括・整理する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変の病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変の病理学的知見について解説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室(第2実習室)</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/19 (水) 2時限 10:40~12:10	病因・病態の包括 (1)	<p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 4 循環障害 ウ 閉塞性の循環障害</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 c 損傷 j 病的増殖 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 病因論 ア 染色体・遺伝子・発生の異常 イ 環境と疾患 3 修復と再生 イ 肥大、過形成 (増生) ウ 化生 エ 再生 オ 創傷治癒 カ 異物処理</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-1) 細胞傷害、組織傷害および萎縮 *①細胞傷害と組織傷害について説明できる。【変性を含む。】 *②壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 *③アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。 *④萎縮と仮性肥大を説明できる。 C-4-2) 修復と再生 *①修復と再生について説明できる。 *②化生を説明できる。 *③創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。 *④器質化を説明できる。</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫
2014/11/26 (水) 1時限 09:00~10:30	炎症	<p>【授業の一般目標】 炎症を理解するために、その病因、経過、分類、病態及び医学的意義について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 炎症の定義と発生機序について解説できる。 2. 5つの臨床症状とその病理組織学的な裏付けについて説明できる。 3. 炎症の分類、病理組織学的特徴及び経時的变化について述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 ・炎症のケミカルメディエーターについて説明できる。 ・白血球, リンパ球, 形質細胞, マクロファージ, NK細胞等の炎症性細胞の機能について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 ア 炎症の概念</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 d 炎症 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞 エ 炎症の機序・病態 オ 急性炎症、慢性炎症 カ 肉芽腫性炎の種類・特徴 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 カ 自己免疫疾患 キ アレルギー反応 (過敏症)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-4) 炎症</p>	久山 佳代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/26 (水) 1時限 09:00～10:30	炎症	<p>*①炎症の定義を説明できる。【発症機序を含む。】</p> <p>*②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。</p> <p>*③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。</p> <p>*④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。</p>	久山 佳代
2014/11/26 (水) 2時限 10:40～12:10	炎症	<p>【授業の一般目標】 炎症を理解するために、その病因、経過、分類、病態及び医学的意義について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 変質性炎の病態と代表的疾患について説明できる。 2. 滲出性炎の成因、種類、形態学的特徴及び代表的疾患について解説できる。 3. 増殖性炎や肉芽腫性炎の成因、種類、形態学的特徴及び代表的疾患について説明できる。 4. 膠原病と自己免疫疾患を列挙することができる。 5. 膠原病と自己免疫疾患の成因及び病態について解説できる。 6. アレルギー性炎の成因、種類、形態学的特徴及び代表的疾患について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・炎症のケミカルメディエーターについて説明できる。 ・白血球, リンパ球, 形質細胞, マクロファージ, NK 細胞等の炎症性細胞の機能について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 エ 炎症の機序・病態</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 d 炎症 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 ア 炎症の概念 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞 オ 急性炎症、慢性炎症 カ 肉芽腫性炎の種類・特徴</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-4) 炎症 *①炎症の定義を説明できる。【発症機序を含む。】 *②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 *③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。 *④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。</p>	久山 佳代
2014/12/03 (水) 1時限 09:00～10:30	炎症の病理組織学	<p>【授業の一般目標】 炎症を理解するために、その病因、経過、分類、病態及び医学的意義について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な炎症性疾患の病理組織学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・炎症性細胞の役割について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第2実習室、顕微鏡-テレビシステムの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 d 炎症</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 ア 炎症の概念 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞 エ 炎症の機序・病態</p>	木場 秀夫 久山 佳代 宇都宮 忠彦 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 田中 秀邦 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 齋藤 康之 茂田 隆明 白川 里恵 鈴木 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/03 (水) 1時限 09:00～10:30	炎症の病理組織学	オ 急性炎症、慢性炎症 カ 肉芽腫性炎の種類・特徴 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-4) 炎症 *①炎症の定義を説明できる。【発症機序を含む。】 *②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 *③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。 *④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。	ルニエイ マリア 山本 浩嗣 山本 雅博 脇田 雅文
2014/12/03 (水) 2時限 10:40～12:10	炎症の病理組織学	【授業の一般目標】 炎症を理解するために、その病因、経過、分類、病態及び医学的意義について学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な炎症性疾患の病理組織学的特徴について説明できる。 【準備学習項目】 ・炎症性細胞の役割について説明できる。 【学習場所・媒体等】 第2実習室、顕微鏡-テレビシステムの併用 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 d 炎症 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 ア 炎症の概念 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞 エ 炎症の機序・病態 オ 急性炎症、慢性炎症 カ 肉芽腫性炎の種類・特徴 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-4) 炎症 *①炎症の定義を説明できる。【発症機序を含む。】 *②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 *③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。 *④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。	木場 秀夫 久山 佳代 宇都宮 忠彦 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 田中 秀邦 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 齋藤 隆明 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 ルニエイ マリア 山本 浩嗣 山本 雅博 脇田 雅文
2014/12/10 (水) 1時限 09:00～10:30	先天異常・奇形	【授業の一般目標】 先天異常・奇形を理解するために、その成り立ち、分類及び病態について学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 先天異常の成因について述べることができる。 2. 遺伝性疾患について説明できる。 3. 染色体異常について解説できる。 4. 奇形の定義について述べることができる。 5. 奇形の成因及び病態について解説できる。 6. 顎顔面口腔領域に部分症を現す症候群や系統疾患の成り立ち、分類及び病態 【準備学習項目】 ・先天異常の種類や代表的疾患を列挙できる。 【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常、発育異常 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ア 先天異常・後天異常 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患	久山 佳代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/10 (水) 1時限 09:00～10:30	先天異常・奇形	E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。	久山 佳代
2014/12/10 (水) 2時限 10:40～12:10	先天異常・奇形	<p>【授業の一般目標】 先天異常・奇形を理解するために、その成り立ち、分類及び病態について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 嚢胞の分類について説明できる。 2. 顎骨に発生する嚢胞の種類、成り立ち及び病理組織学的特徴について説明できる。 3. 軟組織に発生する嚢胞の種類、成り立ち及び病理組織学的特徴について説明できる。 4. 先天異常の成因について述べるができる。 5. 遺伝性疾患について説明できる。 6. 染色体異常について解説できる。 7. 奇形の定義について述べることができる。 8. 奇形の成因及び病態について解説できる。 9. 顎顔面口腔領域に部分症を現す症候群や系統疾患の成り立ち、分類及び病態について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・先天異常の種類や代表的疾患を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常、発育異常</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ア 先天異常・後天異常</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。</p>	久山 佳代
2014/12/17 (水) 1時限 09:00～10:30	嚢胞	<p>【授業の一般目標】 嚢胞を理解するために、その成り立ちと病態について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 嚢胞の定義を述べるができる。 2. 嚢胞の分類について説明できる。 3. 嚢胞の原因や成り立ちについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・嚢胞の定義を述べるができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 f 嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 カ 嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *②顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。</p>	山本 浩嗣 豊澤 悟
2014/12/17 (水)	嚢胞	【授業の一般目標】	山本 浩嗣

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:40～12:10	嚢胞	<p>嚢胞を理解するために、その成り立ち、分類及び病態について学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎骨に発生する嚢胞の種類、成り立ち及び病理組織学的特徴について説明できる。 2. 軟組織に発生する嚢胞の種類、成り立ち及び病理組織学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・嚢胞の定義について述べるができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 カ 嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 f 嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *②顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。</p>	豊澤 悟
2014/12/24 (水) 1時限 09:00～10:30	腫瘍	<p>【授業の一般目標】 腫瘍を理解するために、その病因、分類、病態及び生物学的意義について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 2. 腫瘍の定義を述べるができる。 3. 細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 4. 非歯原性腫瘍を列挙できる。 5. 腫瘍の発生原因と組織発生（多段階説）を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べるができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯原性腫瘍を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 7 腫瘍 ア 腫瘍の概念 イ 腫瘍発生の病因 ウ 腫瘍の疫学 エ 腫瘍の発育様式 オ 腫瘍の組織学的構造</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	宇都宮 忠彦
2014/12/24 (水)	腫瘍	【授業の一般目標】	宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:40～12:10	腫瘍	<p>腫瘍を理解するために、その病因、分類、病態及び生物学的意義について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 腫瘍の発生原因と組織発生（多段階説）を説明できる。 2. 腫瘍の分類について説明できる。 3. 良・悪性腫瘍の肉眼的及び病理組織学的鑑別点について述べるができる。 4. 上皮性及び非上皮性腫瘍の病理組織学的特徴について解説できる。 5. 非歯原性腫瘍の病理組織学的特徴について解説できる。 6. 異形成、退形成及び分化について説明できる。 7. 腫瘍の異型性と多形性について解説できる。 8. 腫瘍の浸潤、発育及び転移様式について説明できる。 9. 悪性腫瘍の進行度について解説できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べるができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯原性腫瘍を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室、マルチメディアの併用</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 7 腫瘍 カ 構造異型、細胞異型 キ 良性腫瘍、悪性腫瘍 ク 前癌状態、前癌病変 ケ 腫瘍と宿主の関係</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	宇都宮 忠彦
2015/01/14 (水) 1時限 09:00～10:30	腫瘍の病理組織学	<p>【授業の一般目標】 腫瘍を理解するために、その病因、分類、病態及び医学的意義について学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 代表的な腫瘍の病理組織学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べるができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯原性腫瘍を分類できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第2実習室、顕微鏡-テレビシステムの併用</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 7 腫瘍 ア 腫瘍の概念 イ 腫瘍発生の病因 ウ 腫瘍の疫学 エ 腫瘍の発育様式 オ 腫瘍の組織学的構造 カ 構造異型、細胞異型 キ 良性腫瘍、悪性腫瘍 ク 前癌状態、前癌病変 ケ 腫瘍と宿主の関係</p>	木場 秀夫 久山 佳代 宇都宮 忠彦 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 田中 秀邦 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 康之 齋藤 隆明 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 丸ニエ マリ 山本 浩嗣 山本 雅博 脇田 雅文

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/14 (水) 1時限 09:00~10:30	腫瘍の病理組織学	<p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	木場 秀夫 山久 佳代 宇都宮 忠彦 齋藤 美正 光澤 雪昌 末澤 悟 豊澤 邦明 田中 博文 青木 俊 新崎 文之 大石 善之 猪又 也人 石田 泰 太田 光浩 大村 光雄 黒子 光歩 小泉 康之 小泉 隆明 齋藤 里恵 茂田 誠二 白川 彰 鈴木 慶洋 鈴 燕 孫 強 田中 吉夫 玉城 啓四 澤 十夫 中島 文彦 中村 孝宏 西山 正人 林 豊彦 本多 由香 松村 純理 村守 樹 村 樹 山本 ムコイ マリア 山本 浩嗣 山本 雅博 脇田 雅文
2015/01/14 (水) 2時限 10:40~12:10	腫瘍の病理組織学	<p>【授業の一般目標】 腫瘍を理解するために、その病因、分類、病態及び医学的意義について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な腫瘍の病理組織学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べることができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 ・非歯原性腫瘍を分類できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第2実習室、顕微鏡-テレビシステムの併用</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 7 腫瘍 ア 腫瘍の概念 イ 腫瘍発生の病因 ウ 腫瘍の疫学</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	木場 秀夫 山久 佳代 宇都宮 忠彦 齋藤 美正 光澤 雪昌 末澤 悟 豊澤 邦明 田中 博文 青木 俊 新崎 文之 大石 善之 猪又 也人 石田 泰 太田 光浩 大村 光雄 黒子 光歩 小泉 康之 小泉 隆明 齋藤 里恵 茂田 誠二 白川 彰 鈴木 慶洋 鈴 燕 孫 強 田中 吉夫 玉城 啓四 澤 十夫 中島 文彦 中村 孝宏 西山 正人 林 豊彦 本多 由香 松村 純理 村守 樹 村 樹 山本 ムコイ マリア 山本 浩嗣 山本 雅博 脇田 雅文
2015/01/21 (水) 1時限 09:00~10:30	病因・病態の総括 (2)	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍の病理学的知識を包括・整理する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍の病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍の病理学的知見を整理する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室(第2実習室)</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美正 光澤 雪昌 末澤 悟 豊澤 邦明 山本 浩嗣

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/21 (水) 1時限 09:00～10:30	病因・病態の総括 (2)	<p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 d 炎症</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常、発育異常 d 炎症 f 嚢胞 g 腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-4) 炎症 *①炎症の定義を説明できる。【発症機序を含む。】 *②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 *③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。 *④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 山本 浩嗣
2015/01/21 (水) 2時限 10:40～12:10	病因・病態の包括 (2)	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍の病理学的知識を包括・整理する。</p> <p>【準備学習項目】 炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍の病理学的知識を整理する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室(第2実習室)</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常、発育異常 d 炎症 f 嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *②顎骨に発生する非歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *⑥非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 山本 浩嗣
2015/01/28 (水) 1時限 09:00～10:30	病因・病態の包括 (3)	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、これまで学習した病因論、退行性病変、循環障害、進行性病変、炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍に関する病理学的知識を包括・整理する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変に関する病理学的特徴を説明できる。 2. 炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍に関する病理学的特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 病因論、退行性病変、循環障害、進行性病変、炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍に関する病理学的知見を整理する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室(第2実習室)</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 田中 秀邦 山本 浩嗣

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/28 (水) 1時限 09:00～10:30	病因・病態の包括 (3)	<p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 i 代謝障害、萎縮、壊死、壊疽</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常、発育異常 c 損傷 d 炎症 f 嚢胞 g 腫瘍 h 循環障害 i 代謝障害、萎縮、壊死、壊疽 j 病的増殖</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-1) 細胞傷害、組織傷害および萎縮 *①細胞傷害と組織傷害について説明できる。【変性を含む。】 *②壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 *④萎縮と仮性肥大を説明できる。 C-4-2) 修復と再生 *①修復と再生について説明できる。 *②化生を説明できる。 *③創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。 *④器質化を説明できる。</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 田中 秀邦 山本 浩嗣
2015/01/28 (水) 2時限 10:40～12:10	病因・病態の包括 (3)	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、これまでに学習した病因論、退行性病変、循環障害、進行性病変、炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍に関する病理学的知識を包括・整理する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変に関する病理学的特徴を説明できる。 2. 炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍に関する病理学的特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 病因論、退行性病変、循環障害、進行性病変、炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍に関する病理学的知見を整理する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 102教室(第2実習室)</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 d 炎症</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常、発育異常 c 損傷 f 嚢胞 g 腫瘍 h 循環障害 i 代謝障害、萎縮、壊死、壊疽 j 病的増殖</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。 *⑥浮腫の原因とその転帰を説明できる。 C-4-4) 炎症 *③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。 *④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 田中 秀邦 山本 浩嗣

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/28 (水) 2時限 10:40~12:10	病因・病態の包括 (3)		久山佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 豊澤 悟 田中 秀邦 山本 浩嗣

放射線学 1

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	金田 隆 (放射線学)

学習目標 (G I O)	歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、各種撮影法の原理や特徴および読影を修得する。
担当教員	金田 隆、池島 厚、小椋 一朗、佐々木 悠介
教科書	Q&A で学ぶ歯科放射線学：SBOs 講義 金田 隆 学研書院 第2 版 歯科放射線診断 teaching file 金田 隆、倉林 亨、佐野 司 砂書房 画像でみる歯科放射線学 (CDR) 佐野 司、金田 隆、井出 吉信 わかば出版 必携 顎口腔領域画像解剖アトラス 金田 隆 砂書房
参考図書	一歩先のパノラマ診断力 金田 隆 砂書房 基本から学ぶインプラントの画像診断 金田 隆 砂書房 インプラントCT シミュレーションのすべて 金田 隆 砂書房
評価方法 (E V)	第1回平常試験(30%)と第2回平常試験(70%)によって評価点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	エックス線は直接眼に見えないため馴染みにくいものだと思います。しかしながら、みなさんが将来歯科医師となって患者さんに適切な治療を行えるようになるために、画像診断は極めて重要となります。どうか興味をもって取り組んでもらいたいと思います。E-mail による質問も受け付けます。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/03 (金) 1時限 09:00~10:30	放射線の歴史と画像検査の意義	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、放射線の歴史と画像検査の意義を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 放射線がいつ誰によって発見されたか説明できる。 2. 放射線の医療利用について列挙できる。 3. 画像検査の目的と意義を説明できる。 4. 放射線の種類について説明できる。 5. 電離放射線について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科における画像検査の意義を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ア 電離放射線</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。</p>	金田 隆
2014/10/10 (金) 1時限 09:00~10:30	エックス線の発生と歯科用エックス線撮影装置	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、エックス線の発生と歯科用エックス線撮影装置を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. エックス線の発生について説明できる。 2. エックス線と物質の相互作用について説明できる。 3. エックス線の減弱について説明できる。 4. 歯科用エックス線撮影装置の原理や構造を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エックス線の性質について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査</p>	金田 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/10 (金) 1時限 09:00～10:30	エックス線の発生と歯科用エックス線撮影装置	エ エックス線撮影装置・器材 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。	金田 隆
2014/10/17 (金) 1時限 09:00～10:30	エックス線フィルムと現像処理・エックス線画像の幾何学的関係	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、エックス線フィルムと現像処理・エックス線画像の幾何学的関係を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. エックス線フィルムについて説明できる。 2. 現像処理について説明できる。 3. エックス線画像の幾何学的関係を列挙できる。 4. 鮮鋭度について説明できる。 5. 黒化度曲線について説明できる。 【準備学習項目】 エックス線画像の特徴を説明できる。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 オ エックス線画像の形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *④エックス線画像の形成原理を説明できる。【画像不良の原因を含む。】	小椋 一郎
2014/10/24 (金) 1時限 09:00～10:30	デジタル画像システム・検査における医療情報	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、デジタル画像システム・検査における医療情報を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. デジタルエックス線撮影法の原理を説明できる。 2. デジタルエックス線撮影法の利点、欠点を説明できる。 3. DICOM およびPACS の臨床応用について説明できる。 4. HIS およびRIS について説明できる。 5. 医用画像の通信について利点および欠点を説明できる。 【準備学習項目】 デジタルエックス線検査とは何かを説明できる。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 カ デジタル画像システム 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。	池島 厚
2014/10/31 (金) 1時限 09:00～10:30	放射線の影響・放射線の防護と管理	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、放射線の影響・放射線の防護と管理を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 放射線の影響について説明できる。 2. 放射線に関する単位について説明できる。 3. 放射線防護の3原則を説明できる。 4. ICRP 勧告を説明できる。 5. 職業被曝と管理区域について説明できる。 6. 放射線の測定について説明する。 7. 被曝に関する歯科医師法を説明する。 【準備学習項目】 放射線防護の種類を列挙できる。 【学習場所・媒体等】	小椋 一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/31 (金) 1時限 09:00～10:30	放射線の影響・放射線の防護と管理	<p>マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 キ 放射線の防護・管理</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *③放射線防護の基準と方法を説明できる。</p>	小椋 一朗
2014/11/07 (金) 1時限 09:00～10:30	放射線の生物学的作用・放射線治療	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な治療および管理ができるようになるために、放射線の生物学的作用・放射線治療を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. Bergonie-Tribondeau の法則を説明できる。 2. 放射線感受性について説明できる。 3. LET とRBE について説明できる。 4. 外部照射と組織内照射を説明できる。 5. 放射線治療による障害を説明できる。 6. 陽子線治療と強度変調放射線治療 (IMRT) を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 放射線治療の適応となる疾患を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 8 放射線治療 イ 口腔領域の放射線治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑩口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。</p>	小椋 一朗
2014/11/14 (金) 1時限 09:00～10:30	口内法エックス線検査	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、口内法エックス線検査を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口内法の種類を列挙できる。 2. 口内法の撮影法を説明できる。 3. 口内法の利点および欠点を説明できる。 4. 口内法エックス線画像の正常解剖および病的所見が読影できる。</p> <p>【準備学習項目】 口内法エックス線検査とは何かを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ケ 口内法エックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑥口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。</p>	金田 隆
2014/11/21 (金) 1時限 09:00～10:30	平常試験 1 (11/21予定)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、放射線を理解する。</p>	金田 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	平常試験1 (11/21予定)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1.放射線について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>ここまでの講義内容についての試験。遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ア 電離放射線</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。</p>	金田 隆
2014/11/28 (金) 1時限 09:00~10:30	パノラマエックス線検査	<p>【授業の一般目標】</p> <p>将来歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、パノラマエックス線検査を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1.パノラマエックス線検査の撮影原理が説明できる。 2.パノラマエックス線検査の利点および欠点が説明できる。 3.パノラマエックス線画像の正常解剖および病的所見が読影できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>パノラマエックス線検査とは何かを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 コ パノラマエックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑥口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。</p>	金田 隆
2014/12/05 (金) 1時限 09:00~10:30	口外法エックス線検査	<p>【授業の一般目標】</p> <p>将来歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、口外法エックス線検査を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1.口外法の種類を列挙できる。 2.口外法の撮影法を説明できる。 3.口外法の利点および欠点を説明できる。 4.口外法エックス線画像の正常解剖および病的所見が読影できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>口外法エックス線検査とは何かを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。</p>	金田 隆
2014/12/12 (金)	CT	<p>【授業の一般目標】</p>	金田 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	CT	<p>将来歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、CTを理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CT の原理を説明できる。 2. CT の障害陰影を列挙し、説明できる。 3. CT の利点および欠点を説明できる。 4. CT 画像の正常解剖および病的所見が読像できる。 <p>【準備学習項目】 CT とは何かを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 シ CT</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法（CT）、磁気共鳴撮像法（MRI）および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆
2014/12/19（金） 1時限 09:00～10:30	歯科用コーンビームCT・デジタル画像処理法	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、歯科用コーンビームCT・デジタル画像処理法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コーンビームCT の原理を説明できる。 2. コーンビームCT の利点、欠点を説明できる。 3. コーンビームCT 画像を読像できる。 <p>【準備学習項目】 歯科用コーンビームCT とは何かを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ス 歯科用コーンビームCT</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法（CT）、磁気共鳴撮像法（MRI）および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	佐々木 悠介
2015/01/09（金） 1時限 09:00～10:30	MRI	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、MRIを理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MRI の原理を説明できる。 2. MRI の障害陰影を列挙し、説明できる。 3. MRI の利点、欠点を説明できる。 4. MR 画像の正常解剖および病的所見が読像できる。 <p>【準備学習項目】 MRI とは何かを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 セ MRI</p>	金田 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/09 (金) 1時限 09:00～10:30	MRI	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆
2015/01/16 (金) 1時限 09:00～10:30	超音波検査・核医学検査	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、超音波検査・核医学検査を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 超音波検査の原理を説明できる。 2. 超音波検査の利点、欠点を説明できる。 3. 核医学検査の原理を説明できる。 4. シンチグラフィおよびSPECT の利点、欠点を説明できる。 5. PET-CT の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 超音波検査とは何かを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 タ 超音波検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	小椋 一朗
2015/01/23 (金) 1時限 09:00～10:30	効果的な画像検査法の選択・マルチモダリティによる画像診断の臨床応用	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、マルチモダリティによる画像診断の臨床応用を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 診断に効果的な画像検査法を選択できる。 2. マルチモダリティによる画像診断の特徴を説明できる。 3. マルチモダリティによる鑑別診断について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 各種画像検査法の特徴を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ク 検査における医療情報</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆
2015/01/30 (金) 1時限 09:00～10:30	平常試験2 (2/6 予定)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や機器の管理ができるようになるために、放射線を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 ここまでの講義内容についての試験。 遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査</p>	金田 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/30 (金) 1時限 09:00～10:30	平常試験 2 (2/6 予定)	ア 電離放射線 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。	金田 隆

薬理学 1

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	三枝 禎 (薬理学)

学習目標 (G I O)	歯科医師として必要な薬理学の知識を身につける。
担当教員	三枝 禎、山根 潤一、松本 裕子、竹内 麗理、※久保山 昇
教科書	現代歯科薬理学 第5版 加藤有三、篠田 壽 監修 医歯薬出版
参考図書	NEW薬理学 田中千賀子、加藤隆一 編 南山堂 歯科薬理学 第5版 石田甫ほか編 医歯薬出版
評価方法 (E V)	平常試験1、2 (各45%)、小試験 (10% : 10回程度を予定) の成績によって評価する。 平常試験、小試験の結果に基づき、再試験やレポート提出を課すことがある。 総授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は60点以下とする。また、再試験の受験資格は与えない。 追試験は、正当な理由がない限り行わない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	授業はプリントを用いて行うが、教科書が理解の助けになるのであるべく持参すること。 授業内容や学習方法について不明の点は、遠慮なく質問して下さい。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/30 (火) 1時限 09:00~10:30	薬理学とは・薬理作用	<p>【授業の一般目標】 薬理学の歴史と領域について学ぶ。また薬理学における歯科薬理学の位置づけについて知る。 薬理作用の定義と種類について知る。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 薬理作用の種類を説明できる。 2. 薬物療法の基本概念を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬理学の歴史と領域、薬理作用、薬物療法についてそれぞれ説明できる。(教科書: p2-9)</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 a 薬物作用の種類 (局所作用、全身作用、直接作用、間接作用)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ア 薬物療法の種類</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *①薬物療法 (原因療法、対症療法) を説明できる。【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 *②薬理作用の基本形式と分類を説明できる。</p>	三枝 禎
2014/10/07 (火) 1時限 09:00~10:30	薬理作用に影響を与える因子 (用量)	<p>【授業の一般目標】 用量は薬理作用に影響する最も基本的な因子であることを知る。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 用量と反応について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬物の用量と生体反応について説明できる。(教科書: p10-13)</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 g 用量と薬理作用 (LD50、ED50、治療係数 <安全域>、TDM <therapeutic drug monitoring><薬物の血中濃度モニタリング>)</p>	三枝 禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07 (火) 1時限 09:00～10:30	薬理作用に影響を与える因子(用量)	<p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 カ 用量と反応</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *④薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。</p>	三枝 禎
2014/10/14 (火) 1時限 09:00～10:30	薬理作用に影響を与える因子(用量以外)	<p>【授業の一般目標】 生体の薬物への感受性が薬理作用に影響を与えることを知る。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.薬物側の因子を説明できる。 2.生体側の因子を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 生体の薬物への感受性について説明できる。(教科書:p71-75)</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 d 薬物の効果に影響する因子(年齢、個体差、種差、性差、プラセボ効果)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 エ 薬効に影響を及ぼす因子</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *④薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。</p>	松本 裕子
2014/10/21 (火) 1時限 09:00～10:30	薬理作用の機序(受容体を介した作用)	<p>【授業の一般目標】 受容体を介した薬理作用の発現機構について理解する。また、受容体を介して作用を発揮する薬物について知る。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.薬物受容体の種類を説明できる。 2.受容体の型と代表的受容体の組合せを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 受容体を介して薬理作用が起こる仕組みについて説明できる。(教科書:p14-19)</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	三枝 禎
2014/10/28 (火) 1時限 09:00～10:30	薬理作用の機序(受容体以外を介した作用)	<p>【授業の一般目標】 受容体以外を介した薬理作用の発現機構について理解する。また、受容体以外を介して作用を発揮する薬物について知る。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.膜輸送タンパク質に作用する薬物を説明できる。 2.酵素に作用する薬物を説明できる。 3.核酸に作用する薬物を説明できる。 4.細胞膜・脂質に作用する薬物を説明できる。 5.代謝拮抗物質として作用する薬物を説明できる。 6.化学的・物理化学的な機序で作用する薬物を説明できる。</p>	松本 裕子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/28 (火) 1時限 09:00～10:30	薬理作用の機序 (受容体以外を介した作用)	<p>【準備学習項目】 受容体を介さない薬理作用について説明できる。(教科書:p19-29)</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 エ 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	松本 裕子
2014/11/04 (火) 1時限 09:00～10:30	薬物と医薬品 1	<p>【授業の一般目標】 薬物の法的な位置づけについて知る。また、医薬品の開発の流れについて理解を深める。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 薬事法と日本薬局方の概要を説明できる。 2. 薬物と医薬品の違いを説明できる。 3. 臨床試験を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 医薬品とその開発の流れについて説明できる。(教科書:p98-110)</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 テ 臨床試験</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 エ 臨床試験・治験と倫理 a GCP <医薬品の臨床試験の実施の基準> b 臨床研究、疫学研究の倫理指針</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *③日本薬局方を説明できる。</p>	山根 潤一
2014/11/11 (火) 1時限 09:00～10:30	薬理学まとめ 1	<p>【授業の一般目標】 薬理学の定義・領域、薬理作用と薬理作用に影響を与える因子、薬理作用の機序、薬物と医薬品についてそれぞれ理解を深める。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 薬物療法と薬理作用について説明できる。 2. 用量と反応について説明できる。 3. 薬理作用に影響する因子について説明できる。 4. 薬物の作用機序について説明できる。 5. 薬物と医薬品について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬理学の定義・領域、薬理作用と薬理作用に影響を与える因子、薬理作用の機序、薬物と医薬品についてそれぞれ説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 a 薬物作用の種類 (局所作用、全身作用、直接作用、間接作用)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 d 薬物の効果に影響する因子 (年齢、個体差、種差、性差、プラセボ効果)</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/11 (火) 1時限 09:00~10:30	薬理学まとめ1	<p>e 薬物の作用部位 g 用量と薬理作用 (LD50、ED50、治療係数 <安全域>、TDM <therapeutic drug monitoring><薬物の血中濃度モニタリング>) 2 社会と歯科医療 エ 臨床試験・治験と倫理 a GCP <医薬品の臨床試験の実施の基準> b 臨床研究、疫学研究の倫理指針</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *③日本薬局方を説明できる。 C-5-2) 薬理作用 *①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 *②薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 *③薬物の作用機序を説明できる。 *④薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子
2014/11/18 (火) 1時限 09:00~10:30	平常試験1	<p>【授業の一般目標】 薬理学の定義・領域、薬理作用と薬理作用に影響を与える因子、薬理作用の機序、薬物と医薬品について基本的な知識を身につける。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 薬物療法と薬理作用について説明できる。 2. 用量と反応について説明できる。 3. 薬理作用に影響する因子について説明できる。 4. 薬物の作用機序について説明できる。 5. 薬物と医薬品について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬理学の定義・領域、薬理作用と薬理作用に影響を与える因子、薬理作用の機序、薬物と医薬品について基本的な知識を身につけて、それぞれ説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 a 薬物作用の種類 (局所作用、全身作用、直接作用、間接作用)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 d 薬物の効果に影響する因子 (年齢、個体差、種差、性差、プラセボ効果) e 薬物の作用部位 g 用量と薬理作用 (LD50、ED50、治療係数 <安全域>、TDM <therapeutic drug monitoring><薬物の血中濃度モニタリング>) 2 社会と歯科医療 エ 臨床試験・治験と倫理 a GCP <医薬品の臨床試験の実施の基準> b 臨床研究、疫学研究の倫理指針</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *③日本薬局方を説明できる。 C-5-2) 薬理作用 *①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 *②薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 *③薬物の作用機序を説明できる。 *④薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子
2014/11/25 (火) 1時限 09:00~10:30	薬物と医薬品2	<p>【授業の一般目標】 医薬品の適用と管理について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 医薬品の種類を説明できる。 2. 医薬品の種類、名称、投与法の分類を説明できる。 3. 毒薬、劇薬、麻薬の表示と保管方法および医薬品の保管方法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 医薬品の種類、医薬品の適用と処方箋、管理について説明できる。(教科書:p98-110)</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法</p>	山根 潤一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/25 (火) 1時限 09:00～10:30	薬物と医薬品 2	<p>k 薬物の保管・管理</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 ツ 薬物の保管・管理</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *①医薬品の分類を説明できる。 *②毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。</p>	山根 潤一
2014/12/02 (火) 1時限 09:00～10:30	薬物の生体内運命 (薬物動態 1: 吸収・分布)	<p>【授業の一般目標】 薬物動態について吸収および分布の過程を知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物の吸収について説明できる。 2. 薬物の分布について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬物動態のうち、吸収過程・分布過程について説明できる。(教科書: p50-62)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 c 薬物の体内動態 (吸収、分布、代謝、排泄)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 ウ 薬物動態</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。</p>	松本 裕子
2014/12/09 (火) 1時限 09:00～10:30	薬物の生体内運命 (薬物動態 2: 代謝・排泄)	<p>【授業の一般目標】 薬物動態について代謝および排泄の過程を知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物の代謝について説明できる。 2. 薬物の排泄について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬物動態のうち、代謝過程・排泄過程について説明できる。(教科書: p62-70)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 c 薬物の体内動態 (吸収、分布、代謝、排泄)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 ウ 薬物動態</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。</p>	松本 裕子
2014/12/16 (火) 1時限 09:00～10:30	薬物の連用・薬物依存	<p>【授業の一般目標】 薬物の連用が起こす生体現象を知る。また、薬物依存について理解を深める。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物連用による蓄積と耐性を説明できる。 2. 薬物連用による薬物依存を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	三枝 禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/16 (火) 1時限 09:00～10:30	薬物の連用・薬物依存	<p>薬物の連用が起こす生体現象、および薬物依存について説明できる。(教科書:p76-79)</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 f 薬物の反復投与</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 キ 薬物の連用</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *⑤薬物の連用の影響(薬物耐性、蓄積および薬物依存)を説明できる。</p>	三枝 禎
2015/01/13 (火) 1時限 09:00～10:30	薬物の副作用と有害作用	<p>【授業の一般目標】 薬物の副作用と有害作用について知る。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 薬物の一般的副作用を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬物の副作用と有害作用について説明できる。(教科書:p80-88)</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 i 薬物の副作用・有害作用(薬物アレルギー(アナフィラキシーショック)、皮膚障害、血液障害、消化器障害、肝障害、腎障害、呼吸器障害、中央神経障害)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ケ 薬物の副作用・有害作用・薬物相互作用</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-4) 薬物の副作用と有害作用 *①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。</p>	山根 潤一
2015/01/20 (火) 1時限 09:00～10:30	薬物の併用・相互作用	<p>【授業の一般目標】 薬物を併用投与する目的を知る。薬物の併用投与が起こす生体現象について知り、その発現機序を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 協力作用・拮抗作用を説明できる。 2. 薬物相互作用を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬物併用投与の目的、薬物の併用投与が起こす生体現象とその発現機序について説明できる。(教科書:p88-92)</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 h 薬物の併用(協力作用、拮抗作用)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ケ 薬物の副作用・有害作用・薬物相互作用</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	山根 潤一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/20 (火) 1時限 09:00~10:30	薬物の併用・相互作用	C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *⑥薬物の併用(協力作用、拮抗作用、相互作用)を説明できる。	山根 潤一
2015/01/27 (火) 1時限 09:00~10:30	薬理学まとめ2	<p>【授業の一般目標】 薬物動態、薬物の副作用と有害作用、薬物の連用・併用が起こす生体現象についてそれぞれ理解を深める。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物の副作用と有害作用について説明できる。 2. 薬物と医薬品について説明できる。 3. 薬物の体内動態について説明できる。 4. 薬物の連用・薬物依存について説明できる。 5. 薬物の副作用・有害作用について説明できる。 6. 薬物の併用・相互作用について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬物動態、薬物の副作用と有害作用、薬物の連用・併用が起こす生体現象について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 k 薬物の保管・管理</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 b 薬物の適用方法 c 薬物の体内動態 (吸収、分布、代謝、排泄) f 薬物の反復投与 h 薬物の併用 (協力作用、拮抗作用) i 薬物の副作用・有害作用 (薬物アレルギー (アナフィラキシーショック)、皮膚障害、血液障害、消化器障害、肝障害、腎障害、呼吸器障害、中央神経障害) k 薬物の保管・管理</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *①医薬品の分類を説明できる。 *②毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。 *③日本薬局方を説明できる。 C-5-2) 薬理作用 *⑤薬物の連用の影響(薬物耐性、蓄積および薬物依存)を説明できる。 *⑥薬物の併用(協力作用、拮抗作用、相互作用)を説明できる。 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。 C-5-4) 薬物の副作用と有害作用 *①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子
2015/02/03 (火) 1時限 09:00~10:30	平常試験2	<p>【授業の一般目標】 薬物動態、薬物の副作用と有害作用、薬物の連用・併用が起こす生体現象に関する基礎知識を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物の副作用と有害作用について説明できる。 2. 薬物と医薬品について説明できる。 3. 薬物の体内動態について説明できる。 4. 薬物の連用・薬物依存について説明できる。 5. 薬物の副作用・有害作用について説明できる。 6. 薬物の併用・相互作用について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬物動態、薬物の副作用と有害作用、薬物の連用・併用が起こす生体現象について基本的な知識を身につけて、それぞれ説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 k 薬物の保管・管理</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 b 薬物の適用方法</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/03 (火) 1時限 09:00~10:30	平常試験 2	c 薬物の体内動態 (吸収、分布、代謝、排泄) f 薬物の反復投与 h 薬物の併用 (協力作用、拮抗作用) i 薬物の副作用・有害作用 (薬物アレルギー (アナフィラキシーショック)、皮膚障害、血液障害、消化器障害、肝障害、腎障害、呼吸器障害、中央神経障害) k 薬物の保管・管理 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *①医薬品の分類を説明できる。 *②毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。 *③日本薬局方を説明できる。 C-5-2) 薬理作用 *⑤薬物の連用の影響 (薬物耐性、蓄積および薬物依存) を説明できる。 *⑥薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。 C-5-4) 薬物の副作用と有害作用 *①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理